

ふ 1-1

ふ① 【府】《名》①行政上の1つのまとまり。都・道・県と同等の地方公

共団体。大阪府と京都府。㊦府。日本地方政府机关之一。「府知事は、府の

福祉向上を約束した」②ものごとの中心となる所。㊦中心机关。领导部门。

「立法の府//学問の府」

ふ 1-2

ふ① 【負】《名》①数学で、0より小さいこと。マイナス。記号は「-」。㊦

（数学）小于零。負。「3-5の答えは負になる//負数//負号」正②よく

ないこと。㊦负面的。不好的。「環境破壊は、子孫に負の遺産を残す」

ふ 1-3

ふ 【不-】《接頭》（名詞、形容動詞の語幹について）①～しない。㊦不…。

「不参加//不登校」②～でない。㊦不是…。「不幸せ//不明瞭」③～がない。

㊦不…。没有…。「不自由//不人気」④～がよくない。㊦…不好。「不景気//

不出来」

ふ 1-4

ぶ I ①② 【部】《名》①全体をある基準で分けたものの1つ。㊦部分。「コ

ンサートは昼の部と夜の部に分かれている//頭部//南部」②官庁や会社など

の組織の分け方の1つで、ふつうは課の上。㊥部。「営業を担当する部に属し

ている//総務部//社会部」③学校・職場・団体などにつくられた趣味や活動

の区分。㊥部。社団。「山岳部//演劇部」Ⅱ【-部】《接尾》①新聞や本などを

数えることば。㊥部。冊。份。「10万部発行の雑誌//朝刊は1部130円だ」類

冊 ㊥部分。㊥部分。「山間部//都市部」

ふ 1-5

ぶ I ㊥【分】《名》①うまくいく度合い。㊥(事態好坏的)程度。「この勝負

は、経験豊富な名人に分がある」②利益の割合。㊥分。収益的比率。「短時間で

給料が高い、分のいいアルバイトを見つけた」Ⅱ【-分】《接尾》①全体を10

等分したときの単位。㊥将全体分成十等份时的单位。成。「英語の講演も、7

分くらいは理解できた//収入を6分4分で分ける」②割合の単位。1分は1割

の10分の1。㊥比例的単位。一分是一成的十分之一。百分之一。「1000円の品物

を5分引いて、950円で売る//2分の利息」③体温の単位。1分は1度の10分の

1。㊥体温的単位。一分是一度的十分之一。「38度5分の熱がある」

【分が悪い】不利だ。㊥吃亏。不利。「バスケットボールは、背の低い選手は

ぶ わる
分が悪い」

ふ 1-7

ぶ I ㊦【歩】《名》^{がんきん たい りそく わりあい ぶあい てすりょう}元金に対する利息の割合。歩合。手数料。㊦厘。百分
之一。「^{ぶ ちよきん ぶ と}歩のいい貯金//歩を取る」II【-歩】《接尾》^{とち めんせき たんい ぶ}土地の面積の単位。1歩は
3.3平方メートルで1坪の広さ。㊦^{へいほう ひとつぼ ひろ}面积单位。3.3平方米。「50歩の^{ぶ はたけ}畑」

ふ 1-8

ぶ 【不-】《接頭》^{めいし けいようどうし ごかん}(名詞・形容動詞の語幹について) ①～でない。㊦不…。
「^{ぶ きよう ぶ ちようほう}不器用//不調法」②～がよくない。㊦…不好。「^{ぶ かっこう ぶ さいく ひてい}不格好//不細工」③否定の
接頭語「不」の意味を強めて言う。㊦^{せつとうご ぶ いみ つよ い}加强语气。不…。「^{ぶ あんない ぶ ようじん}不案内//不用心」

ふ 1-9

ぶ 【無-】《接頭》～がない。㊦^{ぶ あいそ ぶ えんりょ ぶ さほう}没有…。不…。「無愛想//無遠慮//無作法」

ふ 1-10

ファースト㊦ 《名》(first) ①^{だい さいしよ}第1。最初。㊦^{だい さいしよ}第一。最初の。「ファースト
クラス」②^{や きゅう るい るいしゅ}野球の1塁。1塁手。㊦(棒球)一垒。一垒手。

ふ 1-11

ファーストフード㊦ 《名》(fast food) ^{ちゅうもん}注文するとすぐできる^{かんたん た}簡単な食べ

もの
物。㊤**快餐**。

ふ 1-12

ファーストレディー**㊥** 《名》(first lady) ^{だいてうりょう ふじん} 大統領夫人。また、その**くに**の

トップの**ちい**地位にある**ひと**人の**ふじん**夫人。さらに、ある**ぶんや**分野で**しどうてきちい**指導的地位にある**じょせい**女性。

㊤**总统夫人**。元首夫人。

ふ 1-13

ぶあい**㊦** 【歩合】《名》①ある**かず**数に対する**たい**他の**た**数の**かず**比率。㊤**比率**。率。比例。

「**ちじん**知人から**ぶあい**歩合**ぶ**3分で、**まんえん**100万円借りた」**りつ**率。比率 ②**と**取り引きするときの**て**手

すうりょう数料・**ほうしゅう**報酬。㊤**わり**回扣。佣金。手**てい**续费。「**ていか**定価の1割の**わり**歩合が**はい**入る//**ぶあいせい**歩合制」

ふ 1-14

ぶあいそう**㊧** 【無愛想・不愛想】《名・形動》**ひと**人**わる**づき**あい**が**わる**悪く、**そっけな**

いこと。また、その**よう**す。ぶあいそ。㊤**てんいん**簡慢。不和**あいきょう**気。「**てんいん**店員は**ぶあいせい**無愛想に、

つ釣り**せん**銭を**な**投げてよこした」**たい**対**あいそう**愛想 **りつ**類**ぶつきらぼう**ぶつきらぼう。無愛嬌

ふ 1-15

ファイト**㊨** (fight) I 《名》①**たたか**闘**いし**おうとする**とうし**意志。闘志。㊤**せん**战斗精神。

しあい斗志。②ボクシングの**しあい**試合。㊤**けんき**拳击**たいそう**比赛。「ファイトマネー」II 《感》「がん

ばれ」「がんばろう」というかけ声。^{ごえ}㊥**加油**。「あと一息だ、^{ひといき}ファイト！」

ふ 1-16

ファイル^① 《名・他動～する》(file) ①書類などを整理して入れておく物、
また、入れておくこと。㊥**文件夹**。**放入文件夹**。②情報処理の用語で、ひと
まとまりのデータ・^{ぶんしよ}文書。㊥**文件**。「添付^{てんぷ}ファイル」

ふ 1-17

ファインダー^① 《名》(finder) カメラの小さなのぞき窓。写すものの^{こうず}構図
を決めたり、^{しょうてん}焦点を合わせたりするのに使う。㊥**取景器**。**寻象器**。

ふ 1-18

ファクシミリ^{③①} 《名》(facsimile) 電話回線を通じて、^{でんしてき}電子的に文字や図
^{けい}形を送信・^{じゅしん}受信する装置。^{そうち}ファックス。㊥**传真**。**传真通信**。

ふ 1-19

ファシズム^② 《名》(fascism) ^{どくさいてき}独裁的な^{ぜんたいしゆぎ}全体主義。㊥**法西斯主义**。**独裁主
义**。

ふ 1-20

ファスナー^① 《名》(fastener) 衣服や袋の口に取りつけ、^{あし}開け閉めに使う

と止め具。ジッパー。チャック。㊦拉鎖。拉链。

ふ 1-21

ぶあつ・い㊦㊧ 【分厚い・部厚い】《形》かなり厚みがあるようす。㊦厚厚的。「分厚い教科書//分厚い壁」 ㊦分厚さ ㊦対薄っぺら

ふ 1-22

ファックス㊦ 《名》(fax) ⇒ファクシミリ 「原稿をファックスで送る」

ふ 1-23

ファッション㊦ 《名》(fashion) 衣服などの流行。型。スタイル。服装。㊦时尚。(衣服等)流行。「ファッションモデル//ファッションショー」

ふ 1-24

ファミリー㊦ 《名》(family) ㊦家族。㊦家族。家庭。「ファミリーカー」

㊦家族と親類・同族。㊦家属。家族成員。一家人。「ファミリー企業」

ふ 1-25

ファミリーレストラン㊦ 《名》(和製英語family+restaurant) 家族で食事をするのに適したメニューがそろっている、手ごろな値段のレストラン。ファミレス。㊦家庭餐厅。

ふ 1-26

ふあん④ 【不安】《名・形動》^{しんぱい お}心配で落ちつかないこと。また、そのようす。

④不安。担心。^{ごうかく}「合格できるかどうか^{ふあん}不安だ//^{けんこう}健康に^{ふあん}不安がある」^{あんしん}対安心

ふ 1-27

ファン① 《名》(fan) ①^{かぜ お}風を起こすもの。^{せんぷうき}扇風機・^{そうふうき}送風機・^{かんきせん}換気扇など。

また、その^{はね}羽根。④^{ふうせん}风扇。^{こふうき}鼓风机。^{かんきせん}换气扇。②^{えいが}映画・^{えんげき}演劇・スポーツなど、

また、その^{はいゆう}俳優や^{せんしゅ}選手を^す好きになって^{むちゅう}夢中になっている人。ファン。④^{めい}…迷。

发烧友。

ふ 1-28

ファンクション① 《名》(function) ^{きのう}機能や^{はたら}働き。作用。④^{きこう}机能。作用。「ファンクションキー」

ふ 1-29

ファンタジー① 《名》(fantasy) ①^{くうそう}空想。^{むそう}夢想。^{げんそう}幻想。④^{くうそう}空想。幻想。「フ

ァンタジー小説」②^{しやうせつ}作者の^{げんそう}幻想のままに^{さつきよく}作曲された^{じゆう}自由な^{けいしき}形式の^{おんがく}音楽。

^{げんそうきよく}幻想曲。④^{げんそうきよく}幻想曲。

ふ 1-30

ファンタスティック⑤ 《形動》(fantastic) ^{くうそうてき}空想的・^{げんそうてき}幻想的なようす。フ

アンタスチック。㊦幻想 (的)。空想 (的)。

ふ 1-31

ふあんてい ㊦ 【不安定】《名・形動》^{あんてい}安定していないようす。^お落ちつかないようす。㊦不安定。不^{せい}穩定。「^{せいしゃいん}正社員になれなくて、いつ^{かいこ}解雇されるかもしれず、^{ふ あんてい}不安定な生活だ// ^{じょうちょ ふ あんてい}情緒不安定」対^{あんてい}安定

ふ 1-32

ファンド ㊦ 《名》(fund) ^{ききん}基金。^{しきん}資金。^{しんたくざいさん}信託財産。㊦基金。资金。

ふ 1-33

ふあんない ㊦ 【不案内】《名・形動》①そのことの^{ちしき}知識があまりないこと。

㊦^{せいもん}生疏。^{かがく}不^{ほうりつ}了解。「わたしの^{せんもん}専門は^{かがく}化学なので、^{ほうりつ}法律のことは^{ふ あんない}不案内です」②

^{ちり}地理や^{みちじゆん}道^し順をよく知らないこと。㊦^{とうきょう}不^{きょう}熟悉。^{とうきょう}陌生。「^{とうきょう}東京生まれだから、^{きょう}京

^と都は^{ふ あんない}不案内だ」△^{ふ あんない}ぶあんない

ふ 1-34

ふい ㊦ 【不意】《名・形動》^{よき}予期できない^{じょうたい}状態。㊦^{でんしゃ}没想到。突然。「^{でんしゃ}電車が

^{ふい}不意に^と止まって、^{たお}倒れそうになった//^{ふい}不意を^つ突く」類^{とつぜん}だしぬけ。突然

ふ 1-35

ブイ① 《名》(buoy) ①航路を示したり、船をつないだりするために、水面に浮かべておくもの。浮標。㊥浮標。②救命用の浮き袋。㊥救生圈。

ふ 1-36

ブイアイピー⑤ 【VIP】《名》「very important person」の略。国家・組織にとって重要な人物。要人。ビップ。㊥贵宾。要人。要员。

ふ 1-37

フィアンセ② 《名》(⑦fiancé(e)) 婚約者。㊥订婚的对象。未婚夫。未婚妻。

ふ 1-38

フィート① 《名・接尾》(feet) ヤード・ポンド法による長さの単位。1フィートは約30.48cm。記号は「ft」。㊥英尺。

ふ 1-39

フィードバック④ 《名・他動～する》(feedback) ①入力と出力のあるシステムで、出力の変化に応じて入力を調整すること。㊥反馈。②受け手からの情報を、送り手の方針・処理などに反映させること。㊥反馈。返回。

ふ 1-40

フィーバー① 《名・自動～する》(fever) おおぜいの人^{ひと}が熱^{ねつきょう}狂^{ひと}し、興奮^{こうふん}すること。㊥**狂热。兴奋。**

ふ 1-41

フィーリング② 《名》(feeling) 感覚^{かんかく}。気分^{きぶん}。雰^{ふん}囲^い気^き。㊥**感觉。情绪。**「フィーリングが合^あう人^{ひと}」

ふ 1-42

フィールド③ 《名》(field) ①研究^{けんきゅう}などの分野^{ぶんや}・領域^{りょういき}。㊥**领域。分野。**
②陸上^{りくじょう}競^{きょう}技^ぎ場の^{ぎじょう}、競^{きょう}走^{そう}などに使^{つか}われるトラックにかこまれた内側^{うちがわ}の部分^{ぶぶん}。
㊥**田赛^{てんさい}运动^{うんどう}场^{じょう}。**「フィールド競^{きょう}技^ぎ」 対^{たい}トラック 数^{かず}1面^{めん} ③研究^{けんきゅう}室外^{しつがい}の現^{げん}地^ち、現場^{げんば}。㊥**实地。现场。**「フィールドワーク/**实地^じ调查^{ちやうさ}**」

ふ 1-43

ふいうち④ 【不意^{ふい}打ち^{うち}・不意^{ふい}討^{うち}ち】《名》予告^{よこく}しないで、突然^{とつぜん}何か^{なに}をすること。㊥**突然^{とつぜん}袭击^{げき}。突^{とつ}如^{ぜん}其^な来^に。**「不意^{ふい}打ち^{うち}のテストをするなんて、先生^{せんせい}も意^い地^じがわる悪い」 類^{るい}抜^ぬき打^{うち}ち

ふ 1-44

フィギュア① 《名》(figure) ①「フィギュアスケーティング」の略^{りやく}。氷^{ひょう}上^{じょう}

で、音楽おんがくに合わせて、跳あんだり、回と転かいてんしたりして美うつくしさを競きそうスケート競きょうぎ技。

㊥花ひと样どうぶつ滑にんぎょう冰。㊥人ひとや動どうぶつ物にんぎょうをかたどった人形。㊥娃娃。

ふ 1-45

フィクション ㊥ 《名》(fiction) 虚きょこう構つく。作ばなしり話。㊥小说。虚きょこう構つく。㊥ノン
フィクション

ふ 1-46

ブイサイン ㊥ 【Vサイン】《名》(V sign) 中なか指ゆびと人ひとさし指ゆびをV字形に広じがたげて

勝しょうり利たを他にん人しめに示ほこし誇ほこること。㊥做V字手勢。「トッそうしやプの走そうしや者はVサインをし

ながらゴールに入はいった」 ㊥ VはVictoryの頭かしら文字もじ。

ふ 1-47

ふいちょう ㊥ 【ふいちょう [吹聴]】《名・他動～する》多おおくの人ひとに自じ分ぶんの

自じ慢まん話ばなしや、他た人にんのうわさ話ばなしをして歩あるくこと。㊥吹嘘。宣かちょう揚。「課長は、600

万まん円えんもする車くるまを買かったと、社しゃ内ないに吹聴ふいちょうしてまわった」

ふ 1-48

フィット ㊥ 《名・自動～する》(fit) ㊥体からだにぴったり合あうこと。㊥合身。

適合。㊥人ひとの五ご感かんが対たい象しょう物ぶつに共きょう感かんすること。㊥引起同感。

ふ 1-49

フィットネス① 《名》(fitness) 健康維持や体力づくりのための運動。㊦
増進健康的运动。「フィットネスクラブ」

ふ 1-50

ふいと①① 《副》急に機嫌を悪くして、無愛想に行動するようす。㊦突然
一沉。「タバコをやめなさいと言われて、ふいと横を向いた」

ふ 1-51

フィナーレ② 《名》(①finale) ①音楽の最後の楽章。終楽章。㊦终曲。
最后乐章。②オペラ・演劇・行事などの最終の場面。㊦最后一场。最后一幕。

ふ 1-52

フィフティーフィフティー⑤ 《名》(fifty-fifty) 半分半分。五分五分。
㊦不相上下。平局。

ふ 1-53

フィヨルド②② 《名》(①fjord) 海水が陸地の奥深く入り込んでいて、両
岸が絶壁になっているところ。㊦峡湾。類 峡湾

ふ 1-54

フィルター①① 《名》(filter) 光・音・液体の中のじゃまなものを取り除くための装置。㊤过滤器。

ふ 1-55

フィルム① 《名》(film) ①写真などに使う光を感じさせる膜。フィルム。

㊤胶卷。软片。数①1本.1枚 ②ポリエチレンでできた薄くて透明な膜。㊤薄膜。保鲜膜。

ふ 1-56

ふう① 【封】《名》書類や手紙などを入れて閉じること。㊤(文件、书信等)

封上。「手紙を封筒に入れて、封をする//封を切る」

ふ 1-57

ふう I ① 【風】《名》①やり方やならわし。㊤做法。风格。习惯。「都会の

ふうに染まる//こんなふうにする」②ようす。態度。趣。㊤様子。态度。「何

げ気ないふうを装って近づく」類ふり II 【-風】《接尾》本当にそれらしい

ようす。㊤有…风范。有…风格。「今風の考え方//東洋風//学者風」注他

のことばと結合して使われたときは漢字、単独のときはひらがなで書くこと

が多い。

ふ 1-58

ふうあい① 【風合い】《名》^{おりもの かみ}織物・紙などの、^て手でさわったり^み見たりしたときの^{かん}感じ。④^{きぬ}纺织品、^{ふうあ}紙等给人的^す感觉。手感。「^{きぬ}絹のふんわりした^{ふうあ}風合いが好^すきだ」^{かんしよく}類感觸

ふ 1-59

ふういん① 【封印】《名・自動～する》^{たいせつ}大切なものを^い入れて^{ふう}封をして、^と閉じた^{ところ}所に^{いん}印を^お押すこと。また、その^{いん}印。④^き封印。封条。「^き貴重品を^{ふうとう}封筒に^い入れ、^{ふういん}封印をして^{きんこ}金庫に^{ふういん}しまし//^{やぶ}封印を破る」

ふ 1-60

ブーイング① 《名》(boeing) ^{かんきやく}観客が^{おおごえ}ブーブーと^{ふまん}大声で^{いし}不満の^{あらわ}意志を表すこと。また、その^{こえ}声。④^{こえ}嘘声。喝倒彩。

ふ 1-61

ふうう① 【風雨】《名》①^{かぜ}風と^{あめ}雨。④^{かぜ}风雨。「^{ごご}午後から^{ふうう}風雨が^{つよ}強くなる」②^{つよ}強い^{かぜ}風をと^{あめ}もなった^{あめ}雨。④^{ふうう}暴风雨。「^{ふうう}風雨について^{とざん}登山を^{きょうこう}強行する」^{ほうふうう}類暴风雨

ふ 1-62

ふううん-きゅうをつげる 【風雲急を告げる】^{だいへんどう}大^お変動が^{きんちょう}起こる^{じょう}緊張した^{じょう}状

態がせまっている。㊦**风云告急。形势紧急。**「双方が領空侵犯を繰り返し、国

境付近は、風雲急を告げている」

ふ 1-63

ふうか ㊦ 【風化】《名・自動～する》①岩石が、風・雨などのためにしだいにくずれて、土や砂になること。㊦**风化。**「岩が風化してだんだんまるく、小さくなる//風化作用」②記憶や印象が、時間がたつにつれて、しだいに薄れていくこと。㊦**(記憶、印象) 变淡薄。淡化。**「広島・長崎の悲劇を風化させてはいけない」

ふ 1-64

ふうかく ㊦ 【風格】《名》その人の人格や態度から感じられる独特のよさ。㊦**风格。**「古典文学は文章に風格があり、読者の心にしみこむ」 類品格

ふ 1-65

ふうがわり ㊦ 【風変わり】《形動》性格・格好・考え方・行動などが、ふつうと違ってようす。㊦**奇特。古怪。与众不同。**「風変わりな服装の若者たちが、踊っている」 類奇妙・奇異

ふ 1-66

ふうき① 【風紀】《名》秩序ある社会生活に必要な、おもに男女の間の規律。

㊥風紀。「寮の建物を男女別にして、風紀を守る//風紀が乱れる」

ふ 1-67

ふうきり② 【封切り】《名・他動〜する》①封をしてある物を切って開ける

こと。㊥拆封。开封。「封切りしていないコーヒー缶」②新作映画を初めて上

映すること。㊥初次放映。头轮放映。「この映画は正月に封切りされる」△

ふうぎり

ふ 1-68

ふうけい ㊦ 【風景】《名》①目の前め まえ みに見える自然しぜんの眺め。㊦自然风景。风光。

「夕焼けゆうやに染まるそ富士山ふじさんの風景ふうけいはすばらしい//風景写真ふうけいしゃしん」②その場ばのよ

うす。㊦情景。祭りまつでにぎわう町まちの風景ふうけいを、テレビつたが伝えている」△類景色けしき

⇒ひ比較欄かくらん

ふ 1-69

ふうさ ㊦ 【封鎖】《名・他動～する》出入り・流通りゅうつうなどができないように

閉ざすこと。㊦封锁。冻结。「道路どうろを封鎖ふうさして、車くるまの進入しんにゅうを防ぐ//経済封鎖けいざいふうさ」

類閉鎖へいさ

ふ 1-70

ふうさい ㊦ 【風采】《名》服装ふくそう・体からだつき・顔かおつきなどを総合そうごうして見た、そ

の人の印象ひと いんしょう。㊦风采。相貌。「学長がくちょうは立派りっぱな風采ふうさいで、キャンパスなかの中なかでも

めだっている」類風体ふうてい・風姿ふうし

【風采ふうさいが上あがらない】服装ふくそうや態度たいどなどが貧弱ひんじやくで、他人たにんにはっきりした印象いんしょうを

与あたえない。㊦其貌不扬ふうさい あ。「風采ふうさいが上あがらない社長しゃちょうは、平社員ひらしゃいんとまちがえら
れる」

ふ 1-72

ふうし⑩ 【風刺〔諷刺〕】《名・他動～する》^{しゃかい}社会・^{せいじ}政治・^{にんげん}人間などの悪い

ところや弱点^{じゃくてん}を、遠まわしに^{とお}、おもしろおかしく^{ひひょう}批評すること。㊦諷刺。

諷諭。「イソップ^{どうわ}童話の中の動物は、人間社会^{にんげんしゃかい}を風刺^{ふうし}している//風刺漫画^{ふうしまんが}」類

ひにく
皮肉.あてこすり

ふ 1-73

ふうじこ・める⑤ 【封じ込める】《他動一》①中^{なか}に入れて、出^でられないよ

うにする。㊦封入。封锁。「珍^{めずら}しい魚^{さかな}を、ホルマリン^いを入れた瓶^{びん}に封じこ

めた」②相^{あいて}手の動^{うご}きを予測^{よそく}して、動^{うご}けないようにする。㊦封堵。「ピッチャ

ーは何度^{なんど}も1塁^{るい}に球^{たま}を投^なげて、ランナー^{るい}を1塁^{るい}に封じこめた」名封じ込め

ふ 1-74

ふうしゃ①⑩ 【風車】《名》^{かぜ}風^{ちから}の力^{りよう}を利用して、^{はね}羽根^{くるま}のついた車^{まわ}を回^{そう}す装

置^ち。その力^{ちから}で、発^{はつでん}電^{こな}や粉^{こな}をひいたりする。㊦风车。「丘^{おか}の上^{うえ}に風車^{ふうしゃ}を立^たてて、

ふうりよくはつでん
風力発電をする//風車小屋^{ふうしゃごや}」

ふ 1-75

ふうしゅう① 【風習】《名》その土地に昔から伝わっている習慣・行事。

ふうぞくしゅうかん 風俗習慣。㊤風習。习俗。「子どもが生まれると、近所に餅を配る風習が

ある//郷土に伝わる珍しい風習を調べる」 類慣習.しきたり⇒比較欄

ふ 1-76

ふうしょ① 【封書】《名》封がしてある手紙。㊤封口的书信。「役所から

ぶあつい封書が届いた」 数1通

ふ 1-77

ふう・じる①③ 【封じる】《他動一》①出入口口を閉じる。㊤封闭(出入

口等)。「大統領の車が通るので、高速道路の入り口を封じる」②自由に発

言や行動ができないようにする。㊤禁止。阻止(活动等)。「秘密がもれな

いように、口を封じる」 △封ずる

ふ 1-78

ブース① 《名》(booth) 小さく区切られた空間。㊤小隔间。(展銷会的) 摊位。

ふ 1-79

ふうせつ ㊦ 【風雪】《名》①風と雪。㊦风和雪。暴风雪。「大岩の陰で風雪をよける」②人生の苦勞。㊦风霜。艰苦。「母は戦争や地震など、風雪に耐えて生きてきた」 △書

ふ 1-80

ふうぜん-の-ともしび 【風前の灯”】 《連語》危険が近づいてきて、今にもだめになりそうなようす。㊦風前之烛。命悬一线。「ライオンにねらわれたシカの命は風前のともしびだ」

ふ 1-81

ふうそく ㊦ 【風速】《名》風の速さ。1秒間に空気が進む距離で表す。㊦风速。「風速25メートルの暴風」 類風力

ふ 1-82

ふうぞく ㊦ 【風俗】《名》その時代・地域・集団の特徴を表す、服装や食べ物、生活のしかたなどのこと。㊦风俗。「室町時代の風俗を描いた絵巻物 //風俗小説」 類風習・習俗

ふ 1-83

ふうぞくえいぎょう⑤ 【風俗営業】《名》①客に飲食や娯楽を提供する

しょうばい りょうりてん きっさてん てん てん
商売。料理店・喫茶店・バー・パチンコ店・ゲーム店など。㊤**游乐行业**。

ふうぞくえいぎょう みせ せい えいぎょう
「風俗営業の店でアルバイトする」②性にかかわるいろいろな営業。フー

ゾク。㊤**色情行业**。「生活に窮して、風俗営業の店で性を売って働く」

ふ 1-84

ふうたい①② 【風袋】《名》品物の包装や容器など。また、それらを含め

しなもの じゅうりょう ふうたい い にく
た品物の重量。㊤**包装**。**容器**。**带皮重量**。「風袋を入れて500グラムの肉」

ふ 1-85

ふうち① 【風致】《名》魅力的で味わいのある自然の趣。㊤**风趣**。**雅致**

(的自然风景)。「緑豊かな町の風致を守る//風致地区」 書 類 風趣.景趣

ふ 1-86

ふうちょう② 【風潮】《名》その時代の世の中の傾向。㊤**风潮**。**倾向**。「強い

ものが正しいという風潮は、正しくない」

ふ 1-87

ブーツ① 《名》(boots) おもに、革製の長靴。㊤**长筒皮靴**。

ふ 1-88

ふうてい① 【風体】《名》体^{からだ}つき・髪型^{かみがた}・洋服^{ようふく}・靴^{くつ}などから判断^{はんだん}した総合^{そうごうてき}的

な印象^{いんしょう}。ふうたい。㊥风采。打扮。 「あやしい風体^{ふうてい}の男^{おとこ}がうろついている」

類^{ふうし ふうさい}風姿. 风采

ふ 1-89

ふうてん② 【ふうてん〔瘋癲〕】《名》まじめに働^{はたら}くことをせず、ふらふ

らと時^{とき}を過^すごすこと。また、その人^{ひと}。㊥二流子。街流子。 「フーテンの寅^{とら}さ

ん」 注 「フーテン」とカタカナで表^{ひょうき}記^{おお}することが多い。

ふ 1-90

ふうど① 【風土】《名》その土地^{とち}に住^すんでいる人々^{ひとびと}に影^{えいきょう}響^{あた}を与える、気^き候^{こう}や

地^ち形^{けい}などの自然^{しぜん}環^{かん}境^{きょう}。㊥风土。水土。 「土地^{とち}の風土^{ふうど}にあ^あった野^や菜^{さい}を栽^{さい}培^{ばい}する」

ふ 1-91

フード① 《名》(food) 食^たべ物^{もの}。食^{しょく}品^{ひん}。㊥食物。粮食。 「ペットフード」

ふ 1-92

フード① 《名》 (hood) ①帽子の一種。顔の部分を除いて、頭全体をおお
うような形のもの。㊤兜頭帽。風帽。②機械などを保護するために機械にか
ぶせるおおい。㊤机罩。「レンズフード」

ふ 1-93

ふうとう① 【封筒】《名》手紙や書類を入れる紙の袋。㊤信封。封套。封
皮。「封筒に宛名を書いて、ポストに入れる」 数1枚

ふ 1-94

ふうどびょう① 【風土病】《名》その地方特有の風土から発生する病気。
㊤地方病。「マラリアは熱帯地方の風土病だ」

ふ 1-95

ふうび① 【ふうび〔風靡〕】《名・他動～する》おおぜいの人々を、ある方向
にしたがわせること。㊤风靡。「かつて、ビートルズの曲が世界を風靡した
//一世を風靡する」 書

ふ 1-96

ふうひょう① 【風評】《名》世間に広まっているうわさ。㊤谣传。传闻。
「放射能に汚染された野菜という風評が伝わった」 書 類風説.風聞

ふ 1-97

ふうひょうひがい⑤【風評被害】《名》科学的に根拠のないうわさや、デマ

によって受ける被害。㊦有害的谣言。「農産物が、風評被害にあって売れなくなった」

ふ 1-98

ふうふ①【夫婦】《名》結婚している1組の男女。夫と妻。㊦夫妇。夫妻。

「幼友達と結婚して夫婦になった//夫婦共働き//老夫婦」 類夫妻

比較 ふうふ・ふさい
夫婦・夫妻

2語とも1組の夫と妻のことだが、夫婦は自分や身近な人々についていうのに対して、夫妻は夫婦よりも改まった言い方で他人についていう。

◆夫婦で農業をやっています/妹夫婦が遊びに来た

◆転居した山田夫妻から挨拶状がとどいた/社長ご夫妻が出席されます

ふ 1-99

ふうふう (と) ① 《副》①口をとがらせて息を吹きかけるようす。㊦噗噗

地。「熱いスープを、ふうふうと吹きながら飲む」②苦しそうに息をはくよ

うす。㊦呼哧呼哧(地喘气)。「けわしい山道を、ふうふう息をはきながら登

る」③仕事などに追われて、苦しんでいるようす。㊦忙得喘不过气儿。「五郎

は勉強とアルバイトで、ふうふう言っている」

ふ 1-100

ふうふう（と）① 《副》①自動車じどうしゃのクラクションやラッパなどの音おとを表す。

㊥（汽车喇叭）嘟嘟。「後ろうしの車くるまにふうふう鳴ならされる」②不平ふへいや不満ふまんを言う

ようす。㊥发牢骚。唠叨。「給料きゅうりょうが安やすい、仕事しごとがつかいとふうふう言う」

ふ 2-1

ふうふげんかは-いぬもくわない 【夫婦喧嘩けんかは犬も食くわない】夫婦ふうふのけんか

は一時的いちじてきなものだから、他人たにんが入はいって止とめようとするのは愚おろかなことだ。㊥

夫妻吵架、狗亦不理（别人不用管）。

ふ 2-2

ふうぶつ① 【風物】《名》景色けしきとして目めに入はいるもの。特に、その土地とく・季節とちに

しか見みられないもの。㊥风景。风物。「雪国特有ゆきぐにとくゆうの風物ふうぶつ//初夏しょかの風物ふうぶつ」 書

ふ 2-3

ふうぶつし④ 【風物詩】《名》その季節きせつの情趣じょうしゆを表あらわす物・慣習もの・慣習かんしゆう・行事ぎょうじ。

㊥风景诗。景物。「打ち上げ花火う あ はなびは、夏なつの夜空よぞらを飾かざる風物詩ふうぶつしだ」 書

ふ 2-4

ふうみ①③ 【風味】《名》その食^たべ物^{もの}の持^もっている独特^{どくとく}の味^{あじ}や香^{かお}り。㊥風

味。味道。「掘^ほりたてのタケノコの風味^{ふうみ}を味^{あじ}わう//風味^{ふうみ}が落^おちた果物^{くだもの}」

ふ 2-5

ブーム① 【名】(boom) ある時^じ期^きだけ流^り行^{ゆう}したり、人^{にん}気^きが出^でたりすること。

㊥流行。…熱。

ふ 2-6

ふうらいぼう③ 【風来坊】《名》風^{かぜ}のよう^きに、ど^きこ^きからともなくや^きって来^きた

人^{ひと}。㊥流浪^{いちろう}漢^{まいたしふゆ}。来^き去^き不^ふ明^{めい}的^{てき}人^{にん}。「一^{いち}郎^{ろう}は、毎^{まい}年^{ねん}冬^{とう}にな^なるとや^やって来^きて、暖^{あた}か

く^{かえ}なると帰^{かえ}ってい^いく風^{ふう}来^{らい}坊^{ぼう}だ」

ふ 2-7

ふうりゅう① 【風流】《名・形動》上^{じょう}品^{ひん}で、日^{にち}常^{じょう}の生^{せい}活^{かつ}を忘^{わす}れさせ^せてく

れるよ^{ふん}うな雰^い囲^き気^き。また、そ^あうい^あうもの^あを^あ与^あえてく^あれる詩^{しい}歌^かや趣^{しゆ}味^みの世^せ界^{かい}。

㊥風^{ふう}流^{りゅう}。有^{しや}雅^{ちやう}趣^{ふう}。「社^{しや}長^{ちやう}は風^{ふう}流^{りゅう}な人^{ひと}で、茶^さ道^{どう}もこ^こな^なすし、短^{たん}歌^かも詠^よむ」 ㊥

不^ふ風^{ふう}流^{りゅう} ㊥風^{ふう}雅^が

ふ 2-8

ふうりよく① 【風力】《名》風^{かぜ}の速^{はや}さ・強^{つよ}さ。「毎^{まい}秒^{びやう}何^{なん}メ^めートル」^{あらわ}で表^{あらわ}す。

㊥風^{ふう}力^{りよく}。風^{ふう}速^{そく}。「風^{ふう}力^{りよく}発^{はつ}電^{でん}//風^{ふう}力^{りよく}計^{けい}」 ㊥風^{ふう}速^{そく}

ふ 2-9

ふうりん① 【風鈴】《名》^{なつ のきした}夏、^{おと たの}軒下などにつるして音を楽しむもの。^{すず てら}鈴や寺の^{つ がね かたち}釣り鐘の形をしている。Ⓜ^{ふうりん おと き}風鈴。「^{ゆうすず}風鈴の音を聞きながら、夕涼みをする」

ふ 2-10

プール① (pool) I 《名》①^{じんこう すいえいじょう}コンクリートなどでつくった人工の水泳場。

Ⓜ^お人工游泳池。②^{お ばしょ}置いておく場所。Ⓜ^お停车场。堆放场。「^おモータープール」数

^{いちめん}1面 II 《名・他動～する》^{たくわ}蓄えること。Ⓜ^{かいひ}储备。「^{かいひ}あまった会費は、^{じかい}次回のためにプールしておく」

ふ 2-11

ふうん① 【不運】《名・形動》^{うん わる}運が悪いこと。Ⓜ^{うん}运气不好。不走运。「^{うん}けがをしたり、^{とうなん}盗難にあつたりと^{ふうん つづ}不運が続いた//^み身の^{ふうん}不運をなげく」対^{こううん}幸運類

^{ふぐう ひうん}不遇.悲運

ふ 2-12

ふうん①① 《感》^{かる どうい}軽く同意するとき、また、^{かんしん}ちょっと感心したときに^{はっ}発することば。Ⓜ^{かる}（^{どうい}轻微同意、^{かんしん}佩服等时发出）^{はっ}嗯。哦。「ふうん、わかった//ふうん、すごいね」

ふ 2-13

ふえ① 【笛】《名》①管楽器の一種。木・竹・金属などの長い管に穴を開けて、息を吹きこんで音を出す。縦笛と横笛がある。㊦笛子。「美しい笛の音に、聴衆は耳を傾けた」②合図のために吹いて鳴らすもの。㊦哨子。「審判の笛で試合が始まった」

【笛吹けど踊らず】積極的に誘っても、それにこたえて行動を起こさないことのとたとえ。㊦百呼不应。怎么诱导也无人响应。「環境保護で住民に協力をもとめても、笛吹けど踊らずだ」

ふ 2-15

フェア① (fair) I 《形動》判断・行動が公平なようす。㊦公平。正大光明。II 《名》商品の宣伝や販売のための催し。㊦商品展览会。展销会。「ブックフェア」

ふ 2-16

フェイス① 《名》(face) 顔。フェース。㊦脸。面孔。长相。「フェイスタオル//フェイスブック」

ふ 2-17

ふえいせい② 【不衛生】《名・形動》不潔で衛生状態がよくないこと。㊥

不衛生。不讲卫生。「このレストランは、ゴキブリが走りまわって不衛生だ

//不衛生な病院」 対衛生的 類非衛生

ふ 2-18

フェーンげんしょう④ 【フェーン現象】《名》風が山脈を越えるときに、

乾いた熱風となって平地に吹き下りて、気温が上がる現象。㊥焚风现象。「福

井は、フェーン現象で39度まで気温が上昇した」

ふ 2-19

フェスティバル① 《名》(festival) 祭り。祭典。㊥节日。庆典。「フラ
ワーフェスティバル」

ふ 2-20

ふえて②① 【不得手】《名・形動》①得意でないこと。㊥不擅长。不拿手。

「絵を見るのは好きだが、描くのは不得手だ//不得手な科目」 対得手.得意 類

苦手 ②好きではないこと。㊥不爱好。不喜欢。「甘い物は不得手だ」 類苦手。

嫌い

ふ 2-21

フェニックス②① 《名》 (⑦phoenix) ①不死鳥。④火凤凰。不死鸟。②熱帯

産のヤシ類の総称。細かく裂けた葉が幹の頂上から出る。④海枣。热带植物的总称。

ふ 2-22

フェミニスト③ 《名》 (feminist) ①女性差別をなくすために、また、女性

の解放をはばむ人や制度と闘う人。④女权论者。妇女解放论者。②女性に必要な

以上に甘く、やさしい男性。④过分对女性痴情的男性。尊重女性的人。「課

長はフェミニストだから、女子社員の要求に理解がある」

ふ 2-23

フェミニズム③ 《名》 (feminism) 女性差別をなくし、女性が本来の能力を

発揮できるように、人間として解放しようとする考え。④男女平权主义。争

取女权运动。

ふ 2-24

フェリー① 《名》 (ferry) 人や荷物を車ごと運ぶ連絡船。フェリーボート。

④渡轮。渡船。

ふ 2-25

ふ・える② 【殖える】《自動一》^{ざいさん どう しょくぶつ おお}財産や、動・植物が多くなる。㊥(財産)

増加。(动植物)繁殖。「無人の島に野生のヤギがふえた」^{むじん しま やせい}他動^ふ殖やす 対^へ減る

ふ 2-26

ふ・える② 【増える】《自動一》^{かず りょう おお}数や量が多くなる。㊥数量增多。増加。

「雨の日が続いて、川の水が増えた」^{あめ ひ つづ かわ みず ふ}他動^ふ増やす 対^へ減る 類^ま増す

比較 増える・増す

2語とも数や量が多くなる、また、多くすることだが、増えるは具体的な数や量だけに使うのに対して、増すは抽象的な程度にも使う。

◆交通量が増える/人口が増える/体重が増える

◆川の水かさが増す/勢いが増す/厳しさを増す

ふ 2-27

ふえん① 【敷衍〔敷衍〕】《名・他動～する》^いわかりやすく言いかえたり、

ことば・例を加えたりして意味を広げること。また、くわしく説明すること。

㊥^{せい き れき し げんだい ふえん かんが}详述。细说。「18世紀の歴史を、現代に敷衍して考える」^書類^{しょうせつ しょう}詳説. 詳

じゆつ
述

ふ 2-28

フェンス① 《名》(fence) ^{へい}塀。さく。㊥垣墙。栅栏。「転落防止用フェンス」

ふ 2-29

ぶえんりよ② 【無遠慮】《名・形動》^{えんりよ}遠慮をしないこと。㊥不客气。不礼

貌。^{あいて からだ あたま うえ あし さき}「相手の体を、頭の上から足の先まで^{ぶえんりよ}無遠慮に眺めた」^{ぶさほう}類無作法.ぶし
つけ

ふ 2-30

フォーカス① 《名》(focus) ^{しょうてん}焦点。ピント。㊥焦点。

ふ 2-31

フォーク① 《名》(fork) ^{せいようりょうり}西洋料理で、^{にく やさい}肉や野菜などを^さ刺して^た食べる^{どうぐ}道具。

㊥叉子。餐叉。数^{いっぽん}1本

ふ 2-32

フォークソング④ 《名》(folk song) ①^{おうべい}欧米で^{はっせい}発生した^{みんようふう}民謡風の^{かきょく}歌曲。

フォーク。㊥^{みんやう}民謡。民歌。②ギターをひきながら、^{じぶん}自分の^{しゅぎ}主義・^{しゅちよう}主張、^{かんじよう}感情な
どを^{うた}歌うもの。㊥自弾自唱。

ふ 2-33

フォークダンス④ 《名》 (folk dance) 世界の各地方に伝わる民族舞踊。特にレクリエーションとしておおぜいで楽しむ踊り。㊥民族舞蹈。民間舞。集体舞。

ふ 2-34

フォーマット① (format) I 《名》パンフレット・書類などの大きさ。形式。体裁。㊥格式。格局。II 《名・他動～する》フロッピーディスクなどの磁気記憶媒体にデータを書き込める状態にすること。初期化。㊥格式化。

ふ 2-35

フォーマル① 《名・形動》 (formal) 公式。正式。儀礼的。㊥形式的。正式的。「フォーマルウェア」 対インフォーマル.カジュアル

ふ 2-36

フォーム① 《名》 (form) ①形式。様式。㊥形式。样式。②スポーツを行うときの一連の動作。㊥姿勢。「投球フォーム」

ふ 2-37

フォロー① 《名・他動～する》 (follow) ①後あとにつづ続くこと。追跡。㊥ついせき跟随。

继续。②支え、助たすけること。㊥ささ弥补。庇护。「うまく表ひょうげん現できなかつたが、

司しかいしゃ会者がフォローしてくれた」

ふ 2-38

ふおん② 【不穩】《形動》よくないことが起おこりそうな、穩おだやかでないよ

うす。㊥ないらん不穩。險惡。「内乱おが起ふおんこりそうな不穩じょうせいな情勢だ」対平穩へいおん

ふ 2-39

フォント②① 《名》 (font) パソコンなどで、書しょたい体。字じたい体。㊥ (計算机的) 字体。「フォントサイズ」

ふ 2-40

ふおんとう② 【不穩当】《形動》適てきせつ切でなく、問もんだい題をしょう生しょうじるおそれがある

ようす。㊥はつげん不適當。不穩妥。「発言ふおんとうが不穩当いだと言とわれて取けり消おんとうした」対穩当

ふ 2-41

ふか②① 【不可】《名》①よくないこと。できないこと。㊥ふか不好。不行。

「特別割引とくべつわりびきのチケットは、キャンセルふか不可か//可ふかもなく不可じんせいもない人生」書対

か せいせき ひょうか さいかい ふごうかく あらわ
可 ②成績の評価の最下位で、不合格を表す。㊥(考试成绩)不及格。「不可

かもく さいりしゅう
の科目は再履修だ」 関連 優.良.可.一

ふ 2-42

ふか ②① 【ふ化〔孵化〕】 《名・自他動～する》 たまご から ひな や こ が う ま れ
ること。また、生ませること。㊥孵化。「トキの孵化に成功した//人工孵化」

書

ふ 2-43

ふか ②① 【付加・附加】 《名・他動～する》 つけ 加 える こと。㊥附加。添

加。「装飾品に実用性を付加する//付加税//付加価値」 書 類加味⇒比較欄

ふ 2-44

ふか ① 【負荷】 《名・他動～する》 ①せきにん にんむ お
責任・任務を負うこと。㊥承担责任。

加重負担。「大任の負荷に耐えられず、ノイローゼになった」 書 ②でんき
電気や

きかい
機械のエネルギーがする仕事の量。㊥(机器的)負荷。载荷。「負荷をかけ

しさくひん しら
て試作品を調べる//負荷量」

ふ 2-45

ぶか① 【部下】《名》組織の中で、ある人ひとの下したに所属して、命令めいれいを受けて行動こうどうする人。㊥部下。下屬。「部下ぶかに書類しよるいの書き方かを教える」対上司じょうし

ふ 2-46

ふかい② 【不快】《形動》いやな気分きぶんだ。㊥不高兴。不舒つ服。「梅雨つゆどきは蒸むし暑あつくて不快ふかいな季節きせつだ//店員てんいんの応対おうたいを不快ふかいに思おもう//不快ふかい指数しすう」対快かい 類不愉ふゆ

快

ふ 2-47

ふか・い② 【深い】《形》①底そこや奥おくまでの距離きょりが長ながい。㊥深かい的。「海底かいてい深ふかくもぐる//深ふかい森もりの奥おくで迷まよった//雪ゆきが深ふかい」②經驗・知識・理解・感かんじ方・程ち度しきなどが十分じゅうぶんで、底そこ知しれないようす。㊥(經驗、知識等)深かい厚こう的。深かい長ちやう的。「教きやう授じゆは古代哲学の学識こだいてつがくが深ふかい//深ふかい感かん動どうを覚おぼえる//欲よくが深ふかい」③色いろなどが濃こいようす。㊥(顔色)濃ちゆう的。「夏なつの山やまは緑みどりが深ふかい//霧きりが深ふかい」△名ふか深ふかさ。深ふかみ 対浅あさい

ふ 2-48

ぶがい① 【部外】《名》その部ぶや組織そしきに關係かんけいない立場たちば。㊥外部。外部的人。
「部外ぶがいの人ひとには、部内ぶないの事情じじやうはわからない//部外者ぶがいしや//部外秘ぶがいひ」対部内ぶない

ふ 2-49

ふかいしすう ⑤④ 【不快指数】《名》気温と湿度の上昇によって人体が不

快に感じる程度を、指数によって表したもの。㊦不快指数。「気温も湿度も

高くて不快指数が80だ」 ㊧指数が70以上はやや不快、75以上は半数が不

快、80以上は全員不快に感じる。

ふ 2-50

ふがいな・い ④ 【ふがいない〔腑伊斐ない〕】《形》意気地がなかったり、力

が足りなかったりして、情けない。㊦没志气的。不中用的。「ふがいないこと

に、今年も受験に失敗した」 ㊧ふがいなさ

ふ 2-51

ふかいり ①④ 【深入り】《名・自動～する》ものごとに必要以上に深く関係

すること。㊦过分干預。过分介入。「自分と関係のないことには、深入りし
ない」

ふ 2-52

ふかおい ① 【深追い】《名・他動～する》必要以上に深く、しつこく追い

かけること。㊦穷追。深究。「冷たくなった恋人を、深追いしてもむだだ」

ふ 2-53

ふかかい② 【不可解】《名・形動》^{ふくざつ}複雑だったり、^{おお}なぞが多かったりして
どうにもよくわからないこと。また、そのようす。㊥**难以理解。无法理解。**

「世の中には、^{よ なか}科学で^{かがく}説明できない^{せつめい}不可解な^{ふ か かい}現象^{げんしょう}がいっぱいある」類不可

^{しぎ}思議.^{ふしぎ}不思議

ふ 2-54

ふかかち③ 【付加価値】《名》^{せいさんかつどう}生産活動の中で^{なか}新たに^{あらた}つくりだした^{か ち}価値。

^{げんざい}現在あるものの上に^{うえ}付け^つ加えた^{くわ}価値^{か ち}。㊥**附加价值。**「^{のうさんぶつ}農産物を^{つけもの}漬物にして、^{ふ か}付加

^{か ち}価値をつける」

ふ 2-55

ふかく① 【不覚】《名・形動》①^{ゆ だん}油断したり、^{あま}甘く^{かんが}考えたりしたために^{しっぱい}失敗
すること。また、そのようす。㊥**(因大意而) 失败。过失。**「^{やま}山の^{てんき}天気を^{あま}甘く

^み見て、^{ふ か く}不覚を^と取った」②^{い し き}意識しないでそうなること。㊥**不知不觉地。不由得。**

「^{こうえん}講演を^き聞いているうちに^{ふ か く}不覚にも^{ねむ}眠ってしまった」③^{い し き}意識がないこと。㊥

无意识。失去知觉。「^{ぜんご}前後^{ふ か く}不覚」

ふ 2-56

ふかけつ② 【不可欠】《名・形動》絶対欠くことのできないようす。㊥不

可缺少。必需。「国際交流を進めるには、協調の精神が不可欠だ」 類必要。

ひつす
必須

ふ 2-57

ふかこうりょく③ 【不可抗力】《名》人の力ではどうすることもできない

こと。㊥不可抗力。「地震や津波のような不可抗力の天災の前に、人間は無

りょく
力だ」

ふ 2-58

ふかざけ①② 【深酒】《名・自動～する》ふだん飲んでいるより、かなり多い

りょう さけ の
量の酒を飲むこと。㊥过量饮酒。「ゆうべは、気が晴れなくて深酒をした」

ふ 2-59

ふかしぎ② 【不可思議】《名・形動》人間の知識や理性では理解できないこ

と。また、そのようす。不思議。㊥不可思议。奇怪。「不可思議なことに、今年

さくら あと ゆき ふ
は桜の後に雪がよく降る」 書 類不可解

ふ 2-60

ふかしんじょうやく⑤ 【不可侵条約】《名》武力やおどしによって他国の

主権や権利をおかさないという条約。㊤互不侵犯条約。「2国間で不可侵条

約を結んで、武力衝突を避けた」

ふ 2-61

ふか・す② 【吹かす】《他動五》(ふかして)①吸ったタバコの煙を吐き

だす。㊤噴(煙)。吸烟。「おいしそうにタバコを吹かす」②エンジンの回転を

速くする。㊤快转(引擎)。加速。「バイクはエンジンを吹かして、急発進し

た」③(「～風を吹かす」の形で)わざとそれらしいようすをする。㊤故意

摆架子。炫示。「半年早く入っただけで、先輩風を吹かす//役人風を吹かす」

△自動吹く

ふ 2-62

ふか・す② 【ふかす〔蒸かす〕】《他動五》(ふかして)蒸気で加熱して、

柔らかくする。㊤蒸。「肉まんをふかして食べる//サツマイモをふかす」

ふ 2-63

ぶかつ① 【部活】《名》「部活動」の略。学校などです、運動部や文化部などのクラブ活動。㊥課外集体活动。「部活の早朝練習で、早く登校する」

ふ 2-64

ぶかつこう② 【不格好〔不恰好〕】《名・形動》姿や形が、見た目によくないこと。また、そのようす。㊥不好看。不像样子。「大きすぎて不格好なシャツ」 類ぶざま

ふ 2-65

ふかづめ① 【深爪】《名・自動～する》つめを深く切りすぎる事。㊥指甲剪得过了。「深づめをして指が痛い」

ふ 2-66

ふかで① 【深手】《名》①深い傷。大きなけが。㊥重伤。「突然ナイフで切りつけられて深手を負った」 対浅手.薄手 類重傷.痛手.大けが ②大きな損害。㊥重大损害。重创。「事業に失敗して深手を負った」 類痛手

ふ 2-67

ふかなさけ③ 【深情け】《名》男女の間で、一方の愛情が強すぎる事。㊥深情。深厚的爱情。「彼の深情けが重荷になって、別れた」

ふ 2-68

ふかのう ② 【不可能】《名・形動》したくてもできないこと。㊦不可能。

办不到。 ひとばん さつほん よお 「1晩で5冊の本を読み終えるのは、ふかのう 不可能だ」 対 かのう 可能 類 ふのう 不能

ふ 2-69

ふかひ ② 【不可避】《名・形動》どうしても避けることができないこと。

また、そのようす。㊦不可避。きょうぎ か 「競技に勝つには、たいりょく ぞうきょう 体力の増強が不可避

だ」 書 類 ひっし 必至

ふ 2-70

ふかふか 《形動・副・自動～する》やわ 柔らかく、ふくらんでいるようす。㊦

松软。蓬松。 ひ ほ 「ふとんを日に干したら、ふかふかになった/晒过太阳后，被子

变得松软」 参 けいようどうし アクセントは形容動詞は①、ふくし 副詞・どうし する動詞は①②。

ふ 2-71

ふかぶかと ③ 【深深と・深々と】《副》いかにもふか 深くかん 感じられるようす。

㊦深深地。 ふかぶか ぼうし 「深々と帽子をかぶる//ていねい 丁寧にふかぶか 深々とおじぎをする」

ふ 2-72

ぶかぶか 《形動・副・自動～する》おお 大きすぎて、からだ あ 体に合わないようす。㊦

衣帽等过大不合体。 いま 「やせて、今までの服がぶかぶかになった//ぶかぶかし

て歩きにくい靴」^{ある} 類だぶだぶ ^{くつ} 参アクセントは形容動詞は①、副詞・する動詞は①。

ふ 2-73

ふかふか (と) ①② 《副》①軽い物が、空や水に浮かんでいるようす。④

飄浮。飄飄。「クラゲが海中にふかふかと浮いている」②盛んにタバコを吸うようす。④吧嗒吧嗒地。「タバコをふかふかと吸う」

ふ 2-74

ふかま・る ③ 【深まる】《自動五》(ふかまって) 度合いが進む。深くなる。④深起来。変深。「長年一緒に暮らすうちに、夫婦の愛情が深まった//

秋が深まる」 他動深める

ふ 2-75

ふかみ ③④ 【深み】《名》①深いこと。奥深いこと。④深意。深度。「こ
とばに深みがあって、何度読んでも感動する」②水の深いところ。④(水的)
深处。「川の深みにはまって、溺れた」③関係が深くなって出られない状態。

④深陷的状态。「カラオケの深みにはまって、毎晩通っている」

ふ 2-76

ふか・める③ 【深める】《他動一》^{ていど}程度を^{すす}進める。深くする。㊤加^{ふか}深。加

強。「1週間の合宿で、友情を深めた//教養を深める」自動深まる

ふ 2-77

ふかん① 【俯瞰】《名・他動～する》^{たか}高い^{ところ}所から^{ひろ}広い^{ぶぶん}部分^みを見ること。㊤

俯瞰。「高い塔の上から町を俯瞰する//俯瞰図」書 対仰視 類鳥瞰

ふ 2-78

ふかんしょう①② 【不感症】《名》①^{せいこう}性交の際に、^{さい}女性が^{じよせい}快^{こころよ}く^{かん}感じない

こと。また、その^{しょうじょう}症状。㊤(女性的)性冷淡。性感缺乏症。「不感症を治療

する」②慣れてしまつて、ふつうは感じるものごとに対する^な感覚がなくなる

こと。㊤^{まいにちおこ}感觉迟钝。熟视无睹。「毎日怒られていると、怒られることに不感症

になる」類鈍感

ふ 2-79

ふかんぜんねんしょう⑥ 【不完全燃烧】《名》①^{さんそ}酸素が^{ふそく}不足したまま燃え

ること。㊤^{ふかんぜんねんしょう}不完全燃烧。「ガスの不完全燃^{ゆうどく}焼で、有毒ガスが^{はっせい}発生した」②^{かつき}活気

がなく、^{せい か}成果があがらないこと。㊥**没有活力。没有成果。**「^{じかん ぶそく}時間不足で^{じゅうぶん}十分な

^{ぎろん}議論ができず、^{ふ かんぜんねんしょう}不完全燃焼で終わった」 △^{かんぜんねんしょう}対**完全燃焼**

ふ 2-80

ふき①② 【付記・附記】《名・他動～する》すでに^か書かれている^{ぶんしょう}文章の^{あと}後

に、^{ないよう}内容を^{おぎな}補うために^{くわ}つけ加えること。㊥**附注。备注。**「^{しゅざいきょうりょくしゃ}取材協^{たい}力者に対す

る^{かんしゃ}感謝のことばを^{ふ き}付記する」 書 類別記

ふ 2-81

ぶき① 【武器】《名》① ^{たたか}戦うための^{どうぐ}道具。ピストル・^{かたな}刀など。㊥**武器。**

「^{ぶ き}武器を取って^と戦う//^{たたか}武器弾薬」② ^{ゆうりょく}有力な^{しゅだん}手段や^{ほうほう}方法。㊥**有力的手段或方**

法。武器。「^{ねん}5年の^{りゅうがく}留学で^み身につけた^{ちゅうごくご}中国語を^{ぶ き}武器にして^{はたら}働く」

ふ 2-82

ふきあ・げる④⑥ 【吹き上げる】《他動一》^{かぜ}風が、^{もの}物を^{うへ}上に^{たか}高くあげる。

㊥(風)吹起。扬起。「^{たつまき}竜巻が^ふテントを^あ吹き上げた」 名吹き上げ

ふ 2-

ふ 2-84

ふきおろ・す④① 【吹き下ろす】《自動五》(ふきおろして) 風が、高い所から低い所へ吹く。㊦(風从高处) 向下刮。刮下来。「山から北風が吹き下ろす」 名吹き下ろし

ふ 2-85

ふきかえ① 【吹き替え】《名》外国映画で、外国語のせりふを日本語にかえて吹きこむこと。㊦(电影) 配音。「吹き替えがうまいので、アメリカ人が日本語を話しているように見える」 △他動吹き替える

ふ 2-86

ふきかえ・す③① 【吹き返す】(ふきかえして) I 《自動五》風が反対の方向に吹く。㊦风向倒转。「台風が過ぎて、強い風が吹き返してきた」 II 《他動五》①風が、物を裏返す。㊦(風把东西) 吹翻。吹得翻转起来。「掃き集めた落ち葉を、風が吹き返してしまう」 ②再び呼吸を始める。㊦恢复呼吸。苏生。「溺れた少年は、心臓マッサージで息を吹き返した」 △名吹き返し

ふ 2-87

ふきか・ける④① 【吹きかける・吹き掛ける】《他動一》①液体を霧のようにして、そそぎかける。㊦有力地刮到…上。噴到…上。「スプレーを吹き

かけて髪をととのえる」②しかける。ふっかける。㊥找碴儿。挑衅。「隣の

客は、目が合ったと言ってけんかをふきかけてきた」㊦ ㊦③不当に高い値段

で売ろうとする。ふっかける。㊥抬高价钱。「明代のつぼだから100万円でも

安いと、ふきかける」㊦

ふ 2-88

ふきけ・す㊦㊦ 【吹き消す】《他動五》(ふきけして)息を吹きかけて、火を

消す。㊥吹灭。「ろうそくの火を吹き消す」

ふ 2-89

ふきげん㊦ 【不機嫌】《名・形動》気に入らないことがあって、楽しくな

いようす。㊥不高兴。不愉快。「父はゴルフの成績が悪くて、不機嫌だ//30分

も待たされると、だれでも不機嫌になる」㊦上機嫌

ふ 2-90

ふきこぼ・れる㊦㊦ 【噴きこぼれる・吹きこぼれる】《自動一》湯や汁な

どが、沸騰してこぼれる。㊥沸騰溢出。「テレビを見ながら、料理をしてい

たら、汁が吹きこぼれてしまった」

ふ 2-91

ふきこ・む③④ 【吹き込む】（ふきこんで）Ⅰ《自動五》風や雪などが入りこむ。㊤吹入。刮进。「窓のすきまから、冷たい風が吹きこんでくる」Ⅱ《他動五》①吹いて中に入れる。㊤吹进。注入。「口から空気を吹きこんで、人工呼吸をする」②考えを押しつける。㊤教唆。唆使。「ナショナリズムを吹きこんで、敵対心をあおる」③ディスクや録音テープに、音声を録音する。㊤灌制（唱片、磁帯等）。录音。「教材をテープに吹きこむ」△名吹き込み

ふ 2-92

ふきさらし① 【吹きさらし】《名》さえぎるものがなく、強い風や雨が直接入って来ること。また、その場所。㊤任风吹雨打（的地方）。「村の駅のホームは屋根もなく、吹きさらしだ」□自動吹きさらす

ふ 2-93

ふきすさ・ぶ④④ 【吹きすさぶ】《自動五》（ふきすすんで）風が激しく吹いて荒れる。㊤（大风）呼啸。猛刮。「北風が吹きすさぶ中を、バス停に急ぐ」

ふ 2-94

ふきそ② 【不起訴】《名》犯罪の確かな証拠が得られず、検察が起訴しないこと。㊥不起訴。「容疑者は、証拠不十分で不起訴になった//不起訴処分」

対起訴

ふ 2-95

ふきそく②③ 【不規則】《名・形動》規則正しくないこと。㊥不規則。没有规律。「朝食は食べたり、食べなかったりと不規則だ」対規則的

ふ 2-96

ふきだし① 【吹き出し】《名》漫画で、人物が話すことばをかこんでいる枠。㊥(漫画中人物的)对话框。「吹き出しのことばで、人物の性格を書き分ける」

ふ 2-97

ふきだ・す③④ 【吹き出す】(ふきだして) I 《他動五》吹いて外へ出す。

㊥吹到外面。吹出。「たまったほこりを、窓から吹き出した」II 《自動五》

①風などが吹きはじめる。㊥开始刮(風)。「秋も半ばを過ぎると、木枯ら

しが吹きだす」②芽が勢いよく出る。㊥(嫩芽迅速)萌出。发芽。「春にな

って、いっせいに木の芽が吹きだした」自動吹き出る

ふ 2-98

ふきだ・す③ 【噴き出す】（ふきだして） I 《自動五》①^{きたい}気体・^{えきたい}液体・^{こな}粉な

どが、^{いきお}勢いよく^{そと}外へ^で出る。Ⓜ^{はきだ}噴出。^{いりだ}冒出。「パイプの^さ裂け目から^{じょうき}蒸気が^ふ噴き

だした」②おかしいのをがまんができなくて、ふっと^{いき}息を^だ出すように^{わら}笑う。

Ⓜ^{にんき}忍不住^{きげきはゆう}笑出来。「^{ひと}人気の^{みち}喜劇俳優^きそっくりの^{おも}人に^ふ道を聞かれて、^ふ思わず^ふ噴き

だした」△^ふ名^だ噴き出し II 《他動五》^{きたい}気体・^{えきたい}液体・^{こな}粉などを、^{いきお}勢いよく^{そと}外へ

^だ出す。Ⓜ^{はきだ}噴出。「^{じょうき}蒸気^{きかんしゃ}機関車は^{じょうき}蒸気を^ふ噴きだしながら^{はし}走る」^ふ名^だ噴き出し

ふ 2-99

ふきつ④ 【不吉】《名・形動》^{わる}悪いことが^お起こり^おそうなこと。また、その

ようす。Ⓜ^{あさ}不吉利。^な不吉祥。「^{あさ}朝から^なカラスが^ふ鳴いて、^ふ不吉な^{よかん}予感がする」

ふ 2-100

ふきつ・ける④④ 【吹きつける・吹き付ける】 I 《自動一》^{かぜ}風が^{つよ}強く^ふ吹い

て、ぶつかる。Ⓜ^{きたかぜ}（風）^ふ猛吹。「^{きたかぜ}北風が^ふ吹きつけて、^{はたけ}畑の^{やさい}野菜を^あ荒らした」

名^ふ吹きつけ II 《他動一》①^ふ吹いて^ふ付^{ちやく}着させる。Ⓜ^{はきだ}噴上。^{はきだ}噴涂上。「^{いぬごや}犬小屋に

^{しろ}白いペンキを^ふ吹きつける」②^{いき}息を^{つよ}強く^ふ吹きかける。Ⓜ^{こご}用力^あ呵気。「^{こご}凍えた^て手に、

^{いき}息を^ふ吹きつけて^{あたた}温める」△^ふ名^ふ吹きつけ

ふ 3-1

ぶきっちょ② 《名・形動》「不器用」のくだけた言い方。㊥笨手笨脚。笨

拙。「ぶきっちょで、料理も日曜大工もできない」

ふ 3-2

ふきでもの① 【吹き出物】《名》皮膚にできた小さい粒のような異物。㊥

小脓疱。小疙瘩。「顔に吹き出物ができてかゆい」

ふ 3-3

ふきとば・す④① 【吹き飛ばす】《他動五》（ふきとばして）①風が吹い

たり、息を吹きかけたりして物を飛ばす。㊥刮跑。吹飞。「強風が洗濯物を

吹き飛ばした」②いやな気分をなくすようにする。㊥消除。清除。「飲み明か

して、晴れない気持ちを吹き飛ばした」△自動吹き飛ばす

ふ 3-4

ふきと・る③ 【拭き取る】《他動五》（ふきとって）水・汗・汚れなどを、

ぬの かがみ
布や紙でこすって取り去る。㊥擦掉。抹去。「テーブルにこぼしたお茶をふ

き取る//タオルで汗をふき取る」

ふ 3-5

ふきぬ・ける ㊤㊤ 【吹き抜ける】《自動一》風が通^{かぜ}つて抜^{とお}ける。㊤（風）

吹过。穿过。「窓^{まど}が^{おお}多くて風^{かぜ}が吹^ふき抜^ぬけるから、夏^{なつ}は涼^{すず}しい」 名^ふ吹き抜^ぬけ

ふ 3-6

ぶきみ ㊦㊧ 【不気味・無気味】《形動》^{き み わる} 気味が悪いようす。㊦可怕的。令人

毛骨悚然的。^{おおじしん あと よしん つづ} 「大地震の後にも余震が続いて、^{ぶきみ} 不気味だ」^{ぶきみ} 名 不気味さ

ふ 3-7

ぶきゅう ㊦ 【不朽】《名》^{か ち} 価値があって、いつまでも^{ほろ} 滅びないこと。^{のち よ} 後の世ま

で伝わること。㊦不朽。^{ぶきゅう めいひん} 「不朽の名品とされる^{ぶつぞう はいかん} 仏像を拝観する」^書

ふ 3-8

ぶきゅう ㊦ 【普及】《名・自動～する》^{ひろ} 広くゆきわたること。㊦普及。^{けいたい} 「携帯

^{でんわ} 電話が^{ふきゅう} 普及して、^{こうしゅうでんわ} 公衆電話が^へ 減った」

ふ 3-9

ぶきょう ㊦ 【不況】《名》^{しゃかい けいざい じょうきょう わる} 社会の経済の状況が悪いこと。㊦不景气。萧

条。^{ぶきょう} 「不況で物が^う 売れなくなり、^{とうさん} 倒産した//^{ぶきょう} 不況を^の 乗りきる」^{こうきょう} 対好況 ^ふ 類不

^{けいき} 景気

ふ 3-10

ぶきょう ㊦ 【不興】《名》①^{ふ ゆかい} 不愉快なこと。おもしろくないこと。㊦扫兴。

无趣。^{ていねんたいしょくご たず} 「定年退職後、訪ねてくれる人もいなくなり、^{ひと} 不興をかこっている」^{ぶきょう}

②^{きげん} ^{わる} 機嫌が悪いこと。④^{しんじょう} ^{ふこう} 心情不悦。不高兴。「^{ろんぶん} ^{ひはん} 論文を批判して、^{きょうじゆ} ^{ふきょう} 教授の不興を

^{まね} ^{ふきょう} ^か 招いた//不興を買う/惹人不高兴」 △書

ふ 3-11

ふきょう ① 【布教】《名・他動～する》^{しゅうきょう} ^{ひろ} 宗教を広めること。④^{でんきょう} 传教。布

^{ふきょうかつどう} 道。「布教活動」 類^{でんどう} ^{せんきょう} 伝道.宣教

ふ 3-12

ぶきょう ② 【不器用・無器用】《名・形動》①^{てさき} ^{つか} 手先などを使ってすること

が下手なこと。また、そのようす。ぶきつちよ。④^{ふきょう} 不灵巧。笨手笨脚。「不器用

で、^{りょうり} ^{さいほう} ^{にがて} 料理も裁縫も苦手だ」 対^{きよう} 器用 類^{へた} 下手 ②することや、やることがうま

くないこと。また、そのようす。④^{せつ} (处事方法) 笨拙。不擅长。「^{ひと} ^{せつ} 人との接し

^{かた} ^{ぶきよう} 方が不器用で、なかなか^{ともだち} 友達ができない」

ふ 3-13

ふきょうわおん ④ 【不協和音】《名》①^{どうじ} ^な ^{ふた} ^{いじょう} ^{おと} ^{ちょうわ} 同時に鳴らす2つ以上の音が調和

しないで、^{ふあんてい} ^き ^{わおん} 不安定に聞こえる和音。④^{ふきょう} 不谐和音。「^{バイオリン} をひきまちが

えて、^{みみ} ^{ふきょうわおん} ^で 耳ざわりな不協和音が出た」 対^{きょうわおん} 協和音 ②^{ふた} ^{もの} ^{かんけい} 2つの物の関係が、うま

くいかないこと。㊦不和谐。齟齬。「本社と支社の間に、人事をめぐる不協和音が生じた」

ふ3-14

ふざり①③② 【不義理】《名・形動》①つきあいのうえで、当然しなければいけないことをしないこと。また、そのようす。㊦不合情理。偏离情义。

「手紙をもらったのに、返事を書かずに不義理をした」
対義理 ②借金や借りた物を返さないこと。また、そのようす。㊦欠債不还。「借金が返せなくて、いろいろな人に不義理を重ねている」

ふ3-15

ぶきりょう② 【不器量】《名・形動》顔かたちが美しくないこと。また、そのようす。㊦相貌不美。长得难看。「不器量だが、とても個性的な顔だ」

対器量よし

ふ3-16

ふきん② 【布巾】《名》食器などをふくための布。㊦洗碗布。抹布。「真っ白なふきんで皿をふく//台ぶきん」

ふ3-17

ふきん②① 【付近】《名》ある場所ぼしよ ちかの近く。㊥附近。近处。「大学の付近に
は、本屋ほんやがたくさんある」類近所きんじよ

ふ 3-18

ふきんこう② 【不均衡】《名・形動》2つ以上ふた いじょう ものの物の関係かんけいがつりあっていないこと。㊥不平衡。不均衡。「収入しゅうにゆうと支出ししゅつが不均衡で、赤字ふきんこうが出た//不
均衡な貿易収支」対均衡きんこう 類不釣り合い。アンバランスふつりあ

ふ 3-19

ふきんしん② 【不謹慎】《名・形動》その場所・時ばしよ ときにふさわしくない言動げんどうを
すること。また、そのようす。㊥不认真。不慎重。「お葬式そうしきで大声おおごえで話すの
は、不謹慎だ//不謹慎な行い」ふきんしん ふうきんしん おこな

ふ 3-20

ふく② 【服】《名》体からだにつける洋風ようふうの衣類いるい。㊥(西式)衣服。「紳士服//
ベビー服」類洋服ようふく

ふ 3-21

ふく I ② 【副】《名》あるものに対して補助たいたい ほじよとなるものや、つけ加えるも
の。㊥副。辅助。「契約書けいやくしょの正せいと副ふくの書類しよるいにサインをする」II 【副-】《接頭》

①主となるものの助けとなる。㊦副手。副（本）。「副社長 // 副読本」②中心

となるものにともなう。㊦附加的。伴随的。「副作用 // 副産物」

ふ 3-22

ふく ㊦ 【福】《名》お金や物に恵まれること。運のいいこと。㊦福。幸福。

「正月には、家族に福が来るように神社で拝む // 福の神」 ㊦ 災い ㊦ 類しあわせ

【福は内、鬼は外】節分のとき、豆をまきながら言うことば。しあわせは家の

中に入れ、災いは家から出ていけということ。㊦（立春前夕撒豆时的念词）

福进来，鬼滚开。

ふ 3-24

ふ・く ㊦ ㊦ 【吹く】（ふいて）Ⅰ《自動五》①風が通っていく。㊦（風）

吹。（風）刮。「さわやかに初夏の風が吹く」②かびや粉などが、表面に見え

はじめる。㊦发霉。长黴。「正月休みを過ぎると、餅にかびがふく」Ⅱ《他

動五》①息を出して、楽器を鳴らす。㊦吹奏（乐器）。「合図の笛を吹く」

②大げさなことを言う。㊦说大话。吹牛。「いつもほらを吹く三郎は、信用で
きない」

ふ 3-25

ふ・く ①② 【噴く】 (ふいて) I 《自動五》 気^き体^{たい}・液^{えき}体^{たい}・粉^{こな}などが、勢^{いきお}いよく外^{そと}へとび出^でる。㊦噴^{なべ}出^ふ。冒^ひ出^ひ。「鍋^{なべ}が噴^ふいたら火^ひをとめる」 II 《他動五》気^き体^{たい}・液^{えき}体^{たい}・粉^{こな}などを、勢^{いきお}いよく外^{そと}へ出^だす。㊦噴^{なべ}出^ふ。冒^ひ出^ひ。「火^か山^{ざん}がもくもくと煙^{けむり}を噴^ふいている」

ふ 3-26

ふ・く ③ 【拭く】 《他動五》 (ふいて) 布^{ぬの}や紙^{かみ}などで、水^{みず}や汗^{あせ}や汚^{よご}れなどをこす^とって取^とり去^さる。㊦擦^{あせ}。抹^{ゆか}。「ハンカチで汗^{あせ}をふく//ぞうきんで床^{ゆか}をふく」 類^{るい}ぬぐう

ふ 3-27

ふくあん ④ 【腹案】 《名》まだ公^{こう}表^{ひょう}していない、心^{こころ}の中^{なか}にだけ持^もっている案^{あん}。㊦腹^{あん}稿^{こう}。「次^{つぎ}の研^{けん}究^{きゅう}テマの腹^{ふく}案^{あん}をねっている」

ふ 3-28

ふくいく ⑤ 【ふくいく [馥郁]】 《～たる連^{れん}体^{たい}・～と副^{ふく}》 よい香^{かお}りがただよ^ようようす。㊦馥^{ふく}郁^{いく}。芬^う芳^め。「馥^{ふく}郁^{いく}たる梅^{うめ}の香^{かお}りが、春^{はる}を告^つげる」 書^{しよ}

ふ 3-29

ふぐう① 【不遇】《名・形動》能力のうりよくがあるのに運うんが悪く、世間せけんに認められ
ないこと。㊥不遇。不得志。「ゴッホはまれにみる天才てんさいだが、生存中せいぞんちゆうは薬代くすりだい
にも困こまるほど不遇ふぐうだった//不遇ふぐうな生涯しょうがい」 類ふうん不運

ふ 3-30

ふくえき① 【服役】《名・自動～する》罪つみを犯おかした人ひとが刑罰けいばつを受けたり、兵へい
士しが軍隊ぐんたいの任務にんむについたりすること。㊥（军人）服兵役。（罪犯）服刑。「懲ちよう
役5年えき ねんの刑けいを受けて服役うした」

ふ 3-31

ふくがく① 【復学】《名・自動～する》休学きゅうがく・停学ていがく・退学たいがくした学生がくせいが、同じ
学校がっこうにもどること。㊥复学。「病びよう気きで1年間ねんかん休学きゅうがくしたが、4月がつから復学ふくがくした」

ふ 3-32

ふくがん① 【複眼】《名》①昆虫こんちゆうや、エビ・カニなどの甲殻類こうかくるいが持つてい
る、多数たすうの小さな目ちいが集めまっている眼め。㊥复眼。「トンボの目めは複眼ふくがんだ」 対
単眼たんがん ②いろいろな角度かくどからものを見みること。㊥全面看待事物。「社会現象しゃかいげんしょう
を複眼ふくがんで見みる//複眼的ふくがんできな見方みかた」

ふ 3-33

ふくげん④ 【復元】《名・自他動～する》壊れたり、なくなったりしたものを、もとの状態にもどすこと。㊤复原。恢复原状。「残された図面を見ながら、江戸時代の城を復元する」 書

ふ 3-34

ふくごう④ 【複合】《名・自他動～する》2種類以上のものが集まって1つになること。また、1つにすること。㊤复合。合成。「いろいろな有害物質が複合して、環境に悪影響をもたらす//複合汚染」 類合成.合体

ふ 3-35

ふくごうご④ 【複合語】《名》2つ以上の語が結合して、新しい意味のことばになったもの。「夜明け」「専門学校」のような語。㊤复合词。合成词。 類単純語 類合成語.熟語

ふ 3-36

ふくごうどうし⑤ 【複合動詞】《名》2つの動詞が結合してできた新しい動詞。「書き残す」「見落とす」のような語。㊤复合动词。

ふ 3-37

ふくごうめいし⑤ 【複合名詞】《名》^{ふた}2つの名詞が結合してできた^{あた}新しい
名詞。「山道」^{やまみち}「秋祭り」^{あきまつ}のような語。Ⓜ**复合名词**。

ふ 3-38

ふくざつ⑥ 【複雑】《名・形動》いろいろからみあっていて、^{かんたん}簡単ではな
いこと。また、そのようす。Ⓜ**复杂**。「パソコンの^{そうさ}操作は^{ふくざつ}複雑で、なかなか^{おぼ}覚
えられない//^{ふくざつ}複雑な^{かんけい}関係」対^{たんじゆん}単純.^{かんたん}簡単

ふ 3-39

ふくさよう③ 【副作用】《名》ある^{くすり}薬を使^{つか}った^{けっか}結果、^き効き^め目のほかに^で出
くる^{ゆうがい}有害な^{さよう}作用。Ⓜ**副作用**。「^{こう}抗がん^{ざい}剤を^の飲んだら、^{ふくさよう}副作用で^{かみ}髪が^ぬ抜けた」

ふ 3-40

ふくさんぶつ③ 【副産物】《名》①^{もの}物を^{せいさん}生産する^{とちゆう}途中にできる、^{べつ}別の^{せいしつ}性質を
持^もったもの。Ⓜ**副产品**。**伴随产品**。「この^{ひりょう}肥料は、^{せきゆ}石油から^{かがくせんい}化学繊維をつく
るときにできた^{ふくさんぶつ}副産物だ」対^{しゅさんぶつ}主産物 ②^{なに}何かをするときに^{かんれん}関連してできる^{ほか}他
のもの。Ⓜ**附带的收获**。「^{しんぶんはいたつ}新聞配達の仕事^{しごと}を^{つづ}続けた^{ふくさんぶつ}副産物で、^{からだ}体が^{じょうぶ}丈夫に
なった」

ふ 3-41

ふくし① 【副詞】《名》^{ぶんぽう たんご わ かた ひと どうし けいようし けいようどう}文法で、単語の分け方の1つ。動詞・形容詞・形容動

詞などを^{し しゅうしょく}修飾して、ものごとのようす・^{せいしつ ていど}性質・程度などをくわしく^{せつめい}説明す

ることば。「ぴかぴか」「^{もっと}最も」「ちょっと」「さっぱり」など。㊦副詞。

ふ 3-42

ふくし②③ 【福祉】《名》^{せいかつ うえ こうふく}生活する上での幸福。㊦福祉。福利。「福祉に力

を入れて、だれもが^{あんしん す しゃかい}安心して住める社会をめざす//^{ふくし こっか しゃかいふくし}福祉国家//社会福祉」 書

ふ 3-43

ふくじ① 【服地】《名》^{ようふく つかぬのじ}洋服をつくるのに使う布地。㊦西服料子。衣料。

「柄のいい^{がら ふくじ か}服地を買って、スカートをつくる」 類^{きじ}生地

ふ 3-44

ふくしき② 【複式】《名》^{ふた いじょう}①2つ以上のものからできている^{けいしき}形式。㊦複式。

「^{ふくしき かざん ふくしがつきゅう}複式火山//複式学級」②「^{ふくしき ぼき}複式簿記」の^{りやく}略。㊦複式簿記。複式记账。「複式

では、すべての^{しゅうし と ひ}収支・取り引きを^{かしかた かりかた りょうほう きにゆう}貸方、借方の両方から記入する」 △^{たんしき}対単式

ふ 3-45

ふくじてき① 【副次的】《形動》^{しゅ}主となること^{かんけい}がらにしたがう関係にあるよ

うす。㊦^{りょうこくかん せいじてきかんけい かいぜん}第二位的。次要的。「^{ふくじてき けいざい}両国間の政治的關係が改善され、副次的に経済

かんけい こうてん
関係も好転した」 書 類 二次的. 二義的. 付随的

ふ 3-46

ふくしゃ ㊦ 【複写】《名・他動～する》①同じものを2枚以上写してつくること。コピー。㊦复印。拷贝。「資料を複写する//複写機」②絵や書などの複製をつくること。㊦复制。仿制。「カメラで絵を複写する」

ふ 3-47

ふくしゃ ㊦ 【輻射】《名・他動～する》光・熱などが、物体から四方へ放射される現象。放射。㊦辐射。放射。「電球は光を輻射する//輻射熱」

ふ 3-48

ふくしゅう ㊦ 【復習】《名・他動～する》一度勉強したところを、もう一度すること。㊦复习。「学校で勉強したところを、家で復習する」 ㊦对予習

ふ 3-49

ふくしゅう ㊦ 【復讐】《名・自動～する》相手にひどい目にあわされた人が、その相手に同じようにひどいことをすること。㊦复仇。报仇。「父を殺された武士は、3年後にその敵を殺して復讐した」 ㊦仕返し. 報復⇒比較欄

ふ 3-50

ふくじゅう ㊦ 【服従】《名・自動～する》人の言ったことや、命令のとおりにすること。㊦**服从**。顺从。「監督の命令に服従する」 ㊦**対反抗**。抵抗

ふ 3-51

ふくしょう ㊦ 【副賞】《名》正式の賞にそえて贈られる賞。㊦**副奖**。附加奖。「優勝者には優勝杯と、副賞として賞金50万円が贈られる」

ふ 3-52

ふくしょう ㊦ 【復唱】《名・他動～する》受けた命令などを確認するために、もう一度繰り返して言うこと。㊦**复述**。「確認のため重要部分を復唱する」 ㊦

ふ 3-53

ふくしょく ㊦ 【服飾】《名》衣服と装飾品。㊦**服饰**。衣服和饰品。「洋服・装飾品などを扱う服飾の店で働く//服飾デザイナー」 ㊦

ふ 3-54

ふくしょく ㊦ 【復職】《名・自動～する》退職・休職・停職になった人が、またもとの職場にもどること。㊦**复职**。恢复原职。「病気で3か月休職したが、今月から復職する」

ふ 3-55

ふくしょく ㊦ 【副食】《名》ご飯などの主食とともに食べる物。副食物。

㊦副食。副食品。「夕食の副食は、焼き魚と野菜の煮物だ」 対主食 類

おかず

ふ 3-56

ふくじょし ㊦ 【副助詞】《名》助詞の1つ。他の語について、下にくる用言

の意味を限定するもの。㊦副助詞。「1日だけ休む」「犬にまで服を着せる」

「同じことばかり言う」の「だけ」「まで」「ばかり」など。

ふ 3-57

ふくしん ㊦ 【腹心】《名》心の底から信頼できる、同等か目下の人。㊦心

腹。亲信。「社長は、腹心の秘書に日程をすべて任せている」

ふ 3-58

ふくすい-ぼんにかえらず 【覆水盆に返らず】いったんしてしまったことは、

しない前の状態にもうもどらないことのとえ。㊦覆水难收。

ふ 3-59

ふくすう ㊦ 【複数】《名》2つ以上の数。㊦复数。「複数の人の意見を聞く」

対単数

ふ 3-60

ふく・する③ 【服する】 I 《自動する》受け入れて、したがう。㊤服从。

从事。「2年間兵役に服した//喪に服する」II 《他動する》薬や茶などを飲む。

㊤服用。「薬は食後30分以内に服すること」 △服す 書

ふ 3-61

ふく・する③ 【復する】《自動する》もとの状態にもどる。復す。㊤恢复。

复原。「部長は健康を取りもどして、もとの職に復した」 書

ふ 3-62

ふくせい① 【複製】《名・他動～する》絵・彫刻・写真・書物などで、本物と

まったく同じものをつくること、また、つくったもの。㊤复制。「この複製は、

本物と区別がつかない//不許複製」 類模造

ふ 3-63

ふくせん① 【複線】《名》上りと下りが別々に敷いてある鉄道の線路。㊤

双軌。复线。「複線になって、列車の運行数が増えた」 関連単線.一.複々線

ふ 3-64

ふくせん④ 【伏線】《名》小説などで、後に起こることがらを納得させる

ために、前に用意された部分。㊤伏線。伏筆。「あちこちに伏線を張った推理

小説」

ふ 3-65

ふくそう④ 【服装】《名》衣服や装飾品を身につけた状態。みなり。㊤

服装。服飾。「出る場にふさわしい服装を心がける//服装をととのえる」 類

装い。ファッション

ふ 3-66

ふくぞうな・い⑤ 【腹藏ない】《形》心の中に、何も隠していない。㊤坦白

的。直言不讳的。「受賞作の選考で、腹藏ない意見を出し合った」 書

ふ 3-67

ふくだい④ 【副題】《名》書物や論文などの表題にそえられた、内容など

を短く紹介した題。㊤副标题。「書名は『魯迅』として、『その生き方と歴史

的評価』という副題をつけた」 類サブタイトル

ふ 3-68

ふぐたいてん① 【不俱'戴天】《名》この世に同時に生きていることができ

ないほど憎みあっている仲。^{なか}㊥不共戴天。「物質主義と精神主義という信念の

ちが 違いから、^{ふぐたいてん}不俱戴天の間柄になった//^{ふぐたいてん}不俱戴天の敵」書

ふ 3-69

ふくつ[㊦] 【不屈】《名・形動》どんな^{こんなん}困難にも^ま負けないで^{さいご}最後までやり^{とお}通す

こと。また、そのようす。^{ふくつ}㊥不屈。^{いし}坚韧不拔。「不屈の意志//^{ふとうふくつ}不撓不屈」書

ふ 3-70

ふくどく[㊧] 【服毒】《名・自動～する》^{どく}毒を^の飲むこと。[㊥]服毒。「^{けんし}検視の^{けつ}結

か 果、^{ふくどく}服毒による^{じさつ}自殺と^{はんめい}判明した」

ふ 3-71

ふくどくほん[㊨] 【副読本】《名》^{しゅ}主になる^{きょうかしょ}教科書のほかに、^{ほじよてき}補助的に^{つか}使う

がくしゅうよう ほん 学習用の本。サイドリーダー。[㊥]補助教材。課外读物。「^{えいご}英語の^{じゅぎょう}授業で、^{ぶんぼう}文法

の^{ふくどくほん}副読本を使う」対^{きょうかしょ}教科書.メインテキスト

ふ 3-72

ふくとしん[㊩] 【副都心】《名》^{いぜん}以前からの^{としん}都心とは別に、^{べつ}新しく^{あた}できた^{ちゅう}中

しんち 心地。[㊥]副都心。^{ふくとしん}大城市的^{しんじゆく}次中心地帯。「^{ふくとしん}副都心の^{しんじゆく}新宿には^{みっしゅう}ビルが^{みっしゅう}密集し

ている」

ふ 3-73

ふくびき ㊦ 【福引き】《名》くじを引かせて、当たった人に景品を与える

こと。また、そのくじ。㊦**有奖抽签。抽彩。**「商店街の福引きで、テレビが
当たった」

ふ 3-74

ぶくぶく（と） ㊦ 《副》①盛んに泡などが立っているようす。また、その

ときの音を表す。㊦**冒泡。咕嘟咕嘟地。**「温泉がぶくぶくとわき出ている」

②体がしまりなく太っているようす。㊦**松弛肥胖。胖墩墩。**「運動せず食べ

てばかりいたら、ぶくぶく太った」 話

ふ 3-75

ぷくぷく ㊦① 《～（と）副》①小さな泡などが盛んに出ているようす。㊦**冒**

泡。噗噗地。「豆を煮ていたたら、ぷくぷくと泡が出てきた/在煮着豆，一个接

一个地冒泡」②柔らかそうにふくれているようす。㊦**柔软膨胀。**「ぷくぷく

と太った赤ちゃん/胖乎乎的娃娃」

ふ 3-76

ふくふくせん① 【複複線・複々線】《名》複線が2つ平行して敷かれてい

る鉄道の線路。④双復線。「複々線では、普通列車と並んで特急列車が走る

こともある」関連単線.複線.一.

ふ 3-77

ふくぶん① 【複文】《名》1つの文の中に主語、述語の関係が2回以上あ

る文。「父が書いた詩を母が読んだ」のような文。④復句。関連単文.一.重文

ふ 3-78

ふくへい① 【伏兵】《名》①敵を不意におそうために姿を隠している兵。

④伏兵。「伏兵に驚いた敵は、散り散りに逃げた」②不意に現れて、もの

ごとの進行を、さまたげる人物や障害物。④意想不到的障碍。「停電という

おも 思わぬ伏兵で、試合が中止になった」

ふ 3-79

ふくみ③ 【含み】《名》全部言わず、言わなかった部分を聞く人に感じ取ら

せる内容や意味。④含义。言外之意。「含みのある返事で、あまり賛成でな

いことが感じられる//含みを持たせる」他動含む

ふ 3-80

ふく・む② 【含む】《他動五》（ふくんで）①内に包み持つ。中に入れて
いる。㊥含有。包含。「レモンはビタミンCを多く含んでいる」②口の中に入
れている。㊥含着。嚙着。「水を含んで、うがいをする」③事情をのみこん
で、心にとめておく。㊥考慮在内。包括在内。「上司の出張は、親の病気
見舞いも兼ねていることを含んでおく」△名含み

【含むところがある】相手に対して、うらみや怒りをひそかにいんでいる。

㊥心存芥蒂。怀恨在心。「課長は何か含むところがあるのか、夕方になる
と仕事を言いつける」

ふ 3-82

ふく・める③ 【含める】《他動一》①含むようにする。㊥包含。包括。「消費
税を含めて、価格を表示する」②事情を説明して納得させる。㊥嘱咐。叮
咛。「店員は幼児に、10円ではお菓子は買えないと、かんで含めるように言っ
た」△含ませる

ふ 3-83

ふくめん① 【覆面】《名・自動～する》①顔を、布などでおおい隠すこと。

④蒙面。盖住脸。「銀行に、覆面をした強盗が押し入った」②姓名や正体を

知られないようにすること。④匿名。隐姓埋名。「覆面で作品を発表する//

覆面座談会」 類匿名

ふ 3-84

ふくも②② 【服喪】《名・自動～する》人の死後、死者を哀悼するために祝

い事や娯楽などを控えること。④服喪。守孝。「服喪中だから、祝賀会に

は出ない」 書

ふ 3-85

ふくやく① 【服薬】《名・自動～する》薬を飲むこと。④服药。吃药。「毎朝、

朝食後に服薬する」 類服用

ふ 3-86

ふくよう① 【服用】《名・他動～する》薬を飲むこと。④服用。「胃腸薬を

服用する//服用の量を守る」 類服薬

ふ 3-87

ふくよか② 《形動》柔らかく、ふっくらとしているようす。④丰满。丰腴。

「仏像のふくよかな^{ぶつぞう}姿と表情^{すがた ひょうじょう}に、心^{こころ}がなごんだ」 名^名ふくよかさ

ふ 3-88

ふくらま・す^④ 【膨らます】《他動五》（ふくらまして）ふくれるように

する。ふくらませる。Ⓜ使膨脹。鼓起。「ほおをふくらまして怒る//期待^{おこ}に胸^{きたい むね}

をふくらます」 自^自動^動膨^{ふく}らむ 類^類膨^{ふく}らす

ふ 3-89

ふくら・む^④ 【膨らむ】《自動五》（ふくらんで）①物^{もの}が、内^{うち}からの力^{ちから}で、

外側^{そとがわ}にまるみをもって大きくなる。Ⓜ鼓起。凸起。「妊娠^{にんしんなな}7か月^{げつ}で、おなか

がだいぶふくらんできた」②考^{かんが}えや計^{けいかく}画^{おお}が、大きくなる。Ⓜ变得远大。变宏

大。「夢^{ゆめ}がふくらむ」 △名^名膨^{ふく}らみ 他^他動^動膨^{ふく}らます.膨^{ふく}らませる

ふ 3-90

ふくれあが・る^⑤ 【膨れ上がる】《自動五》（ふくれあがって）①ふくれ

て大きくなる。Ⓜ肿起来。「ハチに刺^さされて、腕^{うで}がふくれあがった」②予^よ想^{そう}を

こえて大きくなる。Ⓜ膨脹。庞大。「改^{かい}築^{ちく}費^ひは、当^{とう}初^{しよ}予^よ算^{さん}の倍^{ばい}にふくれあが
った」

ふ 3-91

ふくれっつら① 【膨れっ面】《名》^{ふへい}不平や^{ふまん}不満で、ほおをふくらませた^{かお}顔。

④**鼓起腮帮。噘嘴。**「ゲームをやめなさいと言われて、子どもはふくれっ面をした」
類^{ふまんがお}不満顔

ふ 3-92

ふく・れる① 【膨れる】《自動一》①内から外へ張りだす。盛りあがって

くる。④**鼓起。膨胀。**「注射したあとがふくれてきた」
類^{ふく}膨らむ.はれる ②

^{ふまん}不満の^{きも}気持ちを^{かお}顔に^{あらわ}表す。④**满脸怒气。一脸不高兴。**「先生にしかられて、ふくれている」
類^{むくれる}むくれる.すねる

ふ 3-93

ふくろ③ 【袋】《名》①^{ぬの}布・^{かみ}紙・^{かわ}革などでつくった入れ物。中に物を入れ

て口を閉じる。④**袋子。**「ごみを袋に入れて捨てる//ポリ袋//紙袋」②「①」

に似たもの。④**类似袋的东西。**「胃袋//戸袋」

【袋のねずみ】^{ふくろ}追いつめられて逃げる^おことができなくなった^{じょうたい}状態。④**囊中**

之鼠。瓮中之鳖。「スリは、まわりを警官にかこまれて袋のねずみだ」

ふ 3-95

ふくろこうじ④ 【袋小路】《名》①それ以上先へ進めない狭い道路。㊦死

路。死胡同。「まちがえて袋小路に入っふくろこうじ はいてしまい、バックしてもどった」類

路地. 袋道 ろじ ふくろみち ②努力しても、ものごとどりよくが進行せず、どうしようもない状態。しんこう じょうたい

㊦没有进展。一筹莫展。「交渉が袋小路に入っこうしょう ふくろこうじ はいてしまい、打開の方法が見い
だせない」だかい ほうほう み

ふ 3-96

ふくろだたき④ 【袋だたき〔袋叩き〕】《名》おおぜいで1人をたたくこ

と。みんなで1人を非難すること。㊦众人群毆一人。众矢之的。「食品の製造

日をごまかした会社は、世間から袋だたきにあっている」び かいしゃ せけん ふくろ

ふ 3-97

ふくん①② 【夫君】《名》他人の夫の尊敬語。㊦夫君。「ご夫君のご病気は

いかがですか」参ふつう「ご夫君」の形で使う。ふくん かたち つか

ふ 3-98

ふけい②① 【父兄】《名》①父や兄。㊦父亲和兄长。父兄。「父兄と相談し

て決める」対子弟 ②「児童・生徒の保護者」のすこし古い言い方。㊦“児
童・生徒の保護者”的略陈旧的說法。き してい じどう せいと ほごしゃ ふる い かた

ふ 3-99

ふけいき② 【不景気】《名・形動》①経済の状況が悪いこと。㊦不景气。

経済萧条。「不景気が続いて、倒産する企業が増えた」対好景気 類不況 ②

気にかかることがあったりして、元気がないようす。㊦无精打采。没精神。

「受験に失敗して、不景気な顔をしている」

ふ 3-100

ふけいざい② 【不経済】《名・形動》お金や時間などがむだになること。

また、そのようす。㊦不经济。浪费。「外食は高くして不経済だから、家でつ

くって食べる」対経済的.経済

ふ 4-1

ふけこ・む②③ 【老け込む】《自動五》（ふけこんで）すっかり年をとっ

たようになる。㊦见老。苍老。「父は、母を亡くしてから急に老けこんだ」

ふ 4-2

ふけつ① 【不潔】《名・形動》①汚れて、きたないこと。また、そのよう

す。㊦不干净。肮脏。「台所を不潔にしておくとも虫がわく」②道徳的でなく、

けがらわしいこと。また、そのようす。㊦不道德。不清白。「不正な手段で得

た不潔な金」 △対清潔

ふ 4-3

ふけやく ㊦ 【老け役】《名》演劇や映画などでの老人の役。また、その役を

する俳優。㊦老生。老人的演员。「若いスターが老け役をうまく演じている」

ふ 4-4

ふ・ける ㊦ 【老ける】《自動一》年をとる。また、年寄りに見える。㊦衰

老。上年纪。「空港に出迎えてくれた母は、ぐっと老けて見えた」 類老いる

⇒比較欄

ふ 4-5

ふ・ける ㊦ 【更ける】《自動一》①夜になって、かなりの時間がたつ。㊦

夜深。夜阑。「夜がふけて、広場には人通りがなくなった」②季節が深まる。

特に、秋が盛りになる。㊦（季节）深。尤指深秋。「秋もふけて、紅葉した木々

が美しい」 △他動更かす

ふ 4-6

ふけ・る② 【ふける〔耽る〕】《自動五》(ふけって) 他^たのことを忘れて、

ひと 1つのことに夢中^{むちゆう}になる。㊥入迷。耽于。「もの思い^{おも}にふけ^{わす}っていて、電車^{でんしゃ}を

の 乗り越^こした//読書^{どくしょ}にふける」 類^こひたる.凝る

ふ 4-7

ふげんじっこう①⑩ 【不言実行】《名》考^{かんが}えを他人^{たにん}に言^いわずに黙^{だま}って実行^{じっこう}

すること。㊥多做^{もくもく}少说^{まいあさこうえん}。寡言^{そうじ}多行^{そふ}。「黙々^{もくもく}と毎朝^{まいあさ}公園^{こうえん}を掃除^{そうじ}する祖父^{そふ}は、不言^{ふげん}

じっこう 実行^{ひと}の人^{ひと}だ」 書

ふ 4-8

ふこう② 【不孝】《名・形動》子^こどもが親^{おや}を大切^{たいせつ}にしないこと。㊥不孝。

不守^{びようき}孝道^{おや}。「病^か気の親^{かね}から金^{かね}をうばうとは不孝^{ふこう}な息子^{むすこ}だ//親^{おや}不孝^{ふこう}」 対^{こうこう}孝行

ふ 4-9

ふこう② 【不幸】《名・形動》①しあわせでないこと。㊥不幸。「津波^{つなみ}で親^{おや}も

いえ 家^{いえ}もなくした不^ふ幸^{こう}な子^こどもだ」 対^{こうふく}幸福^{さいわ}.幸^{しあわ}い.幸^ふせ 類^{はっこう}不^ふ幸^{しあわ}せ.薄^{はっこう}幸^{ひと} ②人^{ひと}の死^し。

㊥喪事^{りんか}。「隣家^{りんか}に不^ふ幸^{こう}があつたので、お悔^くやみ^いに行く」

【不^ふ幸^{こう}中^{ちゆう}の幸^{さいわ}い】不^ふ幸^{こう}の中^{なか}で、これだけはよかつたと思^{おも}えること。㊥不^ふ幸^{こう}

中^{だいじ}的^こ万^{ししや}幸^で。「大^{だい}事^じ故^こだが、死^し者^{しや}が死^でなかつたことが不^ふ幸^{こう}中^{ちゆう}の幸^{さいわ}いだつた」

ふ 4-11

ふごう① 【符号】《名》文字や数字以外の記号。「+」「-」「、「」「。」

など。㊦符号。记号。「読点は、文中の意味の切れめを示す符号だ」

ふ 4-12

ふごう① 【富豪】《名》大金持ち。莫大な財産を持っている人。㊦富豪。

大財主。「社長は1000億円の資産を持つ富豪だ」 類資産家

ふ 4-13

ふごう① 【符合】《名・自動～する》2つ以上のものごとがぴったり合うこ

と。㊦符合。「被害者と加害者の話が符合した」 対くいちがい

ふ 4-14

ふこうへい② 【不公平】《名・形動》人や物への考え方・扱い方が公平で

ないこと。㊦不公平。不公正。「年齢も学歴も業務も同じなのに、給料が

ちが違うのは不公平だ」 対公平 類不平等

ふ 4-15

ふごうり② 【不合理】《名・形動》道理や理屈に合わないこと。㊦不合理。

「仕事を増やして、人を増やさないのは不合理だ」 対合理.合理的 類非合理

ふ 4-16

ふこく① 【布告】《名・他動～する》^{いっばん ひと ひろ し}一般の人に広く知らせること。^{とく}特に、

^{くに ほうりつ けつていじこう こうしき こくみん たいしょうしゃ し}国が法律や決定事項を公式に国民や対象者に知らせること。㊦布告。公告。

^{かんぼう ねんきんほうかいせい ふこく}「官報やマスコミで年金法改正を布告する」

ふ 4-17

ふこころえ② 【不心得】《名・形動》^{かんが かつ こうどう ただ}考え方や行動が正しくないこと。㊦

没修养。不端正。「^{たにん ていきけん でんしゃ の}他人の定期券で電車に乗るとは、^{ふこころえ}不心得なやつだ」

ふ 4-18

ふさ② 【房】《名》①^{いと け}糸や毛などを編んだり束にしたものの^{さき}先を、ばらば

らにほどいて^{かざ}飾りにしたもの。㊦^{ぼうし}缨。穗子。「帽子についた^{ふさ}房が揺れる」②^{はな}花

や^み実がたくさんかたまってついていて、たれ^さ下がって^み見えるもの。㊦（^{はな}花朵、

^{はな}果实垂下来的）^{ふさ}一串。^{ふさ}一簇。^{ふさ}一挂。「ブドウの^{ふさ}房がたれ^さ下がっている」

ふ 4-19

ブザー① 【名】（buzzer）^{よ だ}呼び出しや^{けいほう あいず}警報の^{つか そうち}合図に使う装置。㊦^{はな}蜂鸣器。

报警器。

ふ 4-20

ふさい①② 【夫妻】《名》^{おっと つま}夫と妻。ふつう、^{ひと なまえ}人の名前につけて使い、^{つか かる}軽い

^{けい い あらわ い かた}敬意を表す言い方。㊥夫妻。夫婦。「山川先生ご夫妻をお招きする」^{ふう ふ}類夫婦

⇒^{ひ かくらん}比較欄

ふ 4-21

ふさい① 【負債】《名》^{かね もの か}お金や物を借りること。また、^か借りたもの。㊥負

債。借款。「^{た がく ふ さい かえ とうさん}多額の負債を返せず倒産した」^{しゃつきん しゃくざい}類借金. 借財

ふ 4-22

ふざい① 【不在】《名》①^{きたい}いることが期待されている^{ばしょ}場所に、いないこと。

㊥不在。不在場。「^{しゃちょう ふ ざい ゆうがた}社長は不在ですが、夕方にはもどります//^{ふ ざい しょうめい}不在証明」^類

^{る す}留守 ②^{そんざい}存在しないこと。㊥不存在。「^{こくみん ふ ざい せいじ つづ}国民不在の政治が続く」

ふ 4-23

ぶさいく② 【不細工】《名・形動》①^{つく かた へ た}作り方が下手なこと。㊥不精致。粗

糙。「^{とうげいきょうしつ ちゃわん ぶ さい く}陶芸教室でつくった茶碗は、不細工なできだった」②^{かお}顔がみにくいこ

と。㊥难看。丑。「^{ぶ さい く かお}不細工な顔だとけなされて、^{こ せい て き い なお}個性的でいいと居直った」^俗

ふ 4-24

ふさが・る① 【塞がる】《自動五》(ふさがって)① じゃまなものがつま
っていて、通じない状態になる。㊥堵塞。不畅。「くずれた土砂で道路がふ
さがる」② 開いていたものが閉じる。㊥关。闭。「疲れて目がふさがる」③
すでに使われていて、ゆとりがなくて使えない。㊥占用。占满。「病院のべ
ッドがふさがっている//手がふさがる」㊦対空く △㊧他動塞ぐ

ふ 4-25

ふさぎこ・む④ 【塞ぎ込む】《自動五》(ふさぎこんで)気分が晴れない
で、ゆううつそうにする。㊥闷闷不乐。愁眉不展。「就職試験につきつぎ
と落ちて、ふさぎこんでいる」

ふ 4-26

ふさぎのむし① 【塞ぎの虫】《名》ゆううつな気分になること。㊥心情郁
闷。心口堵得慌。「ふさぎの虫に取りつかれて、部屋にこもる」

ふ 4-27

ふさく① 【不作】《名》① 農作物のできが悪いこと。㊥歉收。收成不好。
「冷夏と水不足で、野菜は不作だ」㊦対豊作 ② 一般に作品のできが悪いこと。

㊥作品質量差。成绩不好。「今年の展覧会はいいい作品が少なく、不作だ」

ふ 4-28

ふさ・ぐ① 【塞ぐ】(ふさいで) I 《他動五》①穴などに物をつめたり、
おおったりして、通じないようにする。㊦塞住。堵住。「ネズミが開けた壁の
穴をふさぐ」㊧空ける ②開いていたものを閉じる。㊦盖住。捂住。「突然
雷が鳴って、思わず耳をふさいだ」③ある場所を占めて、いっぱいにする。

㊦占。占用。「荷物が階段をふさいでいて、通れない」㊧空ける △㊧自動塞が
る II 《自動五》気分が晴れず、沈む。㊦心情郁闷。情绪低落。「就職がな
かなか決まらず、気がふさぐ」

ふ 4-29

ふざ・ける③ 《自動一》①子どもなどが騒ぎまわる。㊦喧鬧。吵嚷。「電車の
中でふざけている子どもをしかった」②冗談を言ったり、おもしろいことを
したりする。㊦开玩笑。戏谑。「ふざけてばかりいないで、まじめに議論し
よう」③人を見下す。ばかにする。㊦愚弄。嘲弄。「そんなふざけた話があるか」△㊧名ふざけ

ふ 4-30

ぶさた①【無沙汰】《名》^{なが}長い^{あいだ}間、^{てがみ}手紙・^{でんわ}電話・^{ほうもん}訪問などで相手^{あいて}のようすを

^{たず}尋ねたりしないこと。㊥久未通信。久违。「^{おんし}恩師に^{そつぎょう}卒業以来の^{ぶさた}無沙汰をわび

る」類ご無沙汰

ふ 4-31

ふさふさ②① 《～（と）副・自動～する》^{かみ}髪や^ほ穂などが、^{あつ}たくさん集まっ

て房^{ふさ}のように下^さがっているようす。㊥成簇。簇生。「^{ひつじ}羊の^{からだ}体はふさふさし

た毛^けでおおわれている」

ふ 4-32

ぶさほう②【無作法・不作法】《名・形動》^{れいぎ}礼儀を^し知らず、^{ぎょうぎ}行儀の^{わる}悪いこ

と。㊥没有礼貌。不成体统。「^{おお}大きな^{おと}音を^た立てて^のスープを^の飲むのは、^{ぶさほう}無作法だ」

類失礼.無礼

ふ 4-33

ぶざま①①【ぶざま・無様・不様】《名・形動》^{かつこう}格好が^{わる}悪いこと。また、

そのようす。㊥不像样。不体面。「^{たい}30対1 という^まぶざまな^{かた}負け方をした//ぶざ

まに^{ころ}転ぶ」類不格好

ふ 4-34

ふさわし・い④ 【ふさわしい [相応しい]】《形》ちょうどよく合^あっている。

㊦**适合的。般配的。**「冷静^{れいせい}な京子^{きょうこ}は会議^{かいぎ}の議長^{ぎちやう}にふさわしい」名ふさわしさ

類似^{にあ}合^にわしい. 似^{にあ}つかわしい

ふ 4-35

ふし② 【節】《名》①竹^{たけ}などの茎^{くき}の区^く切^ぎりのところ。㊦**(竹子等的)节。**「竹

を節^{ふし}のところ^きで切^かって花^か瓶^{びん}にする」②木^きの幹^{みき}の、今^{いま}はないが、枝^{えだ}が出^でていた

ところ。㊦**(树干上的)节。**「この木^きは節^{ふし}がた^きくさんあ^きって切^きりにく^きい」③人^{にん}間^{げん}・

動^{どう}物^{ぶつ}の、骨^{ほね}と骨^{ほね}をつな^ぶぐ部^ぶ分^{ぶん}。㊦**(人、动物)关节。**「指^{ゆび}の節^{ふし}をのばしてか

らピ^ぴア^あノ^のをひ^ひく」類関^{かん}節^{せつ} ④区^く切^ぎりやめ^めだつ箇^か所^{しょ}・時^じ期^き。㊦**处。点。**「先^{せん}輩^{ぱい}の

話^{はなし}には納^な得^{とく}で^でき^きる節^{ふし}があ^ある//節^{ふし}目^め」⑤音^{おん}楽^{がく}の音^{おと}の高^{こう}低^{てい}によ^よってつ^つくりだ^だされ

るもの。メ^めロ^ろデ^でィ^いー。㊦**曲调。旋律。**「友^{ゆう}人^{じん}のつ^つく^くつ^つた詩^しに節^{ふし}をつ^つける」

ふ 4-36

ぶし① 【武士】《名》むかし、武^ぶ芸^{げい}によ^よって主^{しゅ}君^{くん}に仕^{つか}えて、戦^{いくさ}にた^たずさ^さわ

つた人^{ひと}。㊦**武士。**「江^え戸^ど時^じ代^{だい}は、武^ぶ士^しの世^よの中^{なか}だ^だつた//武^ぶ士^しの情^{なさ}け//武^ぶ士^し道^{どう}」

類侍^{さむらい} . 武^ぶ家^け

【^{ぶし}武士は^く食わねど^{たかようじ}高楊枝】^{ぶし}武士は^{まず}貧しくて^{しょくじ}食事ができなくても、^た食べたふりをして^{しょくご}食後のようじを使う。武士の^{つか}誇り^{ほこ}高いようすをいう。㊥^{たか}武士吃不上飯也要摆摆架子。武士不露饿相。

ふ 4-38

ぶじ[㊥] 【無事】《名・形動》^{びょうき}病氣や^{じこ}事故などの^か変わったことがないこと。また、そのようす。㊥^{へいあん}平安无事。安然无恙。「^{くに}国の^{りょうしん}両親の^{ぶじ}無事を^{いの}祈る//^{ぶじき}無事帰

こくする」^{ゆうじ}対有事 ^{へいおん}類平穩

ふ 4-39

ふしあな[㊥] 【節穴】《名》①^{いた}板などの^{ふし}節が^ぬ抜けてできた^{あな}穴。㊥^{かべいた}节孔。「^{かべいた}壁板の^{ふしあな}節穴から^{しつない}室内をのぞく」②^{もの}物を^{せいかく}正確に見る^み目がないこと。㊥^め瞎了眼。有眼无珠。「^{にせもの}偽物の^え絵を^{まんえん}50万円も^だ出して^か買うとは、^{ようこ}洋子の^め目は^{ふしあな}節穴だ」

ふ 4-40

ふしぎ④ 【不思議】《名・形動》常識^{じょうしき}ではわからないこと。また、そのよ
うす。④不可思议。奇怪。「動機^{どうき}も目的^{もくてき}もわからない不思議な事件だ」名^{ふしぎ}不思議
さ 類^{ふかしぎ}不可思议。不可解^{ふかかい}

ふ 4-41

ふしくれだ・つ⑤ 【節くれだつ】《自動五》（ふしくれだつて）①材木^{ざいもく}に節^{ふし}が
多く、でこぼこしている。④（木材）多节。「ふしくれだつた木^きを柱^{はしら}に使っ
て、自然^{しぜん}の趣^{おもむき}を出す」②手^て・足^{あし}・指^{ゆび}の筋肉^{きんにく}や骨^{ほね}が異常^{いじょう}に出ている。④骨节
突起。「祖母^{そぼ}のふしくれだつた手^ては、長年^{ながねん}の苦劳^{くろう}を物語^{ものがた}っている」

ふ 4-42

ふしぜん② 【不自然】《形動》わざとらしくて、自然^{しぜん}でないようす。④不自
然。做作。「無理^{むり}に敬語^{けいご}を使^{つか}うと、かえって不自然^{ふしぜん}になる」名^{ふしぜん}不自然さ 対^{しぜん}自然

ふ 4-43

ふしだら② 《名・形動》行動^{こうどう}に倫理感^{りんりかん}が欠^かけていること。だらしないこと。
④品行不端。不检点。「ふしだらな男^{おとこ}で、つぎつぎと別^{べつ}の女性^{じょせい}と関係^{かんけい}を持っ
ている」

ふ 4-44

ふじちやく① 【不時着】《名・自動～する》「不時着陸」の略。飛行機が
よていがい じかん ぼしょ ちやくりく
予定外の時間・場所に 着陸すること。④迫降。緊急着陸。「重慶行きの飛行
き あくてんこう ぶかん ふじちやく
機が悪天候のために、武漢に不時着した」

ふ 4-45

ふじつ①④ 【不実】《名・形動》①誠実でないこと。④不诚实。「不実な言動
こいびと しんよう うしな せいじつ ふせいじつ しんじつ
で恋人の信用を失う」 対誠実 類不誠実 ②真実でないこと。④不真实。虚
假。「公文書に不実の記載をして、罪に問われた」 書

ふ 4-46

ぶしつけ①② 【ぶしつけ〔不躰〕】《名・形動》礼儀や作法を無視した行動
をとること。④没礼貌。冒昧。「ぶしつけな質問ですが、今年おいくつです
か」 類無作法.失礼.無遠慮

ふ 4-47

ふしぶし② 【節節・節々】《名》①体のいろいろな部分の関節。④许多关
節。「慣れない農作業をして、体の節々が痛い」②いろいろな点。④各个
点。到处。「事故の原因として思い当たる節々がある」

ふ 4-48

ふしまつ② 【不始末】《名・形動》①きちんとものごとを片づけないこと。

また、そのようす。㊦不注意。不留神。「タバコの火の不始末で火事になっ

た」②他人に迷惑をかけるようなことをしてしまうこと。また、そのようす。

㊦行为不检。品行不端。「会社の金を使いこむ不始末を起こして、免職にな
った」

ふ 4-49

ふじみ① 【不死身】《名・形動》①どんなひどい打撃を受けても、死なな

い強い体。また、そのようす。㊦不死之身。铁打。「あのプロレスの選手は

不死身で、どんなになぐられても再起する」②どんな困難にあっても、つぶ

れたり、くじけたりしないこと。また、そのようす。㊦耐挫折。不屈不挠。

「この会社は不死身で、何度も倒産しかけては、生き返った」

ふ 4-50

ふしめ①③ 【伏し目】《名》うつむいて、下に目を向けること。また、そ

の目。㊦俯视。低头朝下看。「自信がなくて、伏し目になる//伏し目がち」

ふ 4-51

ふしめ③ 【節目】《名》①木や竹の節の部分。㊦**节**眼。「節目をうまく利用し

た家具」②ものごとの重大な転機となる時。㊦**转折点**。段落。「転職が人生

の大きな節目となった」

ふ 4-52

ぶしゅ① 【部首】《名》漢字を分類・配列するときの共通する形の部分。

「へん」「つくり」「かんむり」「あし」「にょう」「かまえ」「たれ」の7つがある。㊦**部首**。「『波・漢・浮』の部首は『シ』で、『宙・宿』の部首は『宀』だ」

ふ-53

ふじゆう① 【不自由】《名・形動・自動～する》自分の思うようにならな

いこと。また、そのようす。㊦**不自由**。不如意。「目の不自由な人//お金に不

自由しない気楽さ」 不自由さ 自由

ふ 4-54

ふじゅん② 【不純】《名・形動》①純粋でないこと。異質なものがまじっ

ていること。㊦**不純**。「異物が混入した不純な飲料水//不純物」 純 ②

じゆんすい きも 純粋な気持ちでないこと。㊥存心不良。「准教授になりたいという不純な

どうき きょうじゆ むすめ けっこん じゆんしん 動機で、教授の娘と結婚した」 ㊦純真

ふ 4-55

ふじゆん ㊧ 【不順】《名・形動》^{じゆんちよう}順調でないこと。また、そのようす。

㊨不顺利。不正常。「4月は雨と雪が多くて、天候が不順だった//生理不順」

ふ 4-56

ふじよ ㊩ 【扶助】《名・他動～する》^{たす}助け、^{ささ}支えること。㊪扶助。援助。

「母子家庭に毎月5万円を扶助する//生活扶助//相互扶助」 ㊫

ふ 4-57

ぶしよ ㊬ 【部署】《名》^{だんたい}団体や^{そしき}組織の中で、^{なか}それぞれの人が^{ひと}果たす^は役割や^{やくわり}場

^{しょ}所。㊭工作岗位。职守。「品物の注文を受ける部署で働いている」

ふ 4-58

ふしょう ㊮ 【不肖】《名》①^{おや}親・^し師などに^に似ないで、^{わる}できが悪いこと。㊯

不肖。没出息。「不肖の子が、父親の遺産を使い果たした//不肖の弟子」

②^{じぶん}自分のことを^{ひげ}卑下して^い言うことば。㊰不才。鄙人。「不肖私は、このた

^{かいちょう}び会長に^{にんめい}任命されました」 ㊱

ふ 4-59

ふしょう① 【負傷】《名・自動～する》けがをすること。㊦**负伤。受伤。**

「サッカーの試合で転んで負傷した」

ふ 4-60

ふじょう① 【不浄】《名・形動》①心こころが汚よごれていること。清浄せいじょうでないこ

と。㊦**不干净。脏。**「この金かねは他人たにんをだまして得た不浄ふじょうの金かねだ」対清浄せいじょう ②

「便所べんじょ」「トイレ」の古ふるい言いい方かた。ご不浄ふじょう。㊦**厕所。茅房。** △書

ふ 4-61

ぶしょう② 【無精・不精】《名・形動・自動～する》ものごとをするのが面倒めんどう

で、怠なまけること。㊦**懒惰。懒散。**「無精ぶしょうひげ//筆無精ふでぶしょう」類ものぐさ

ふ 4-62

ふしょうじ② 【不祥事】《名》よくないこと。起おこってはいけないできご

と。㊦**不祥之事。不吉之事。**「不祥事ふしょうじの責任せきにんを取とって、社長しゃちょう以下いの首脳しゆのうが辞じ

職しょくした」

ふ 4-63

ふしょうぶしょう④ 【不承不承】《副》いやだと思^{おも}いながらも、しかたなく承^{しょうち}知するようす。㊥很^{へん}不^ふ情^{じやう}愿^{げん}。勉^{めん}勉^{めん}强^{きやう}强^{きやう}。「断^{ことわ}りきれずに、会^{かい}長^{ちやう}の役^{やく}を不^ふ承^{しょう}不^ぶ承^{しょう}引^ひき受^うけた」 類^{るい}しぶしぶ

ふ4-64

ぶじょく① 【侮辱】《名・他動〜する》相^あ手^てがみじめに思^{おも}うよう^いなこ^こを言^いったり、し^したり^りす^すこと。㊥侮^ぶ辱^{じやく}。凌^{りやう}辱^{じやく}。「簡^{かん}単^{たん}だか^から、女^{おんな}にも^もで^でき^きる^るとい^いう^うのは、女^{じよ}性^{せい}に^{たい}対^{たい}する^{する}侮^ぶ辱^{じやく}だ」 類^{るい}侮^ぶ蔑^{べつ}

ふ4-65

ふしん① 【不信】《名》信^{しん}用^{よう}で^でき^きな^ない^いこ^こと。㊥不^ふ信^{しん}任^{にん}。不^ふ相^{さう}信^{しん}。「約^{やく}束^{そく}を^{まも}ら^らない^い親^{おや}に、子^こども^{ども}は^は不^ふ信^{しん}を^をい^いだ^だい^いて^てい^いる^る//不^ふ信^{しん}感^{かん}」 書^{しょ}

ふ4-66

ふしん① 【不審】《名・形動》物^{もの}や^や人^{ひと}の^のよう^{よう}す^すが^が変^{へん}で、お^おか^かしい^いと思^{おも}う^うこ^こと。ま^また、そ^その^のよう^{よう}す。㊥可^か疑^ぎ。怀^{くわい}疑^ぎ。「送^{おく}り^{ぬし}主^{しゆ}が^がわ^わか^から^らな^ない、不^ふ審^{しん}な^な小^こ包^{づつみ}が^が届^{とど}いた//不^ふ審^{しん}尋^{じん}問^{もん}」 類^{るい}疑^ぎ問^{もん}. 疑^ぎわ^わしい

ふ4-67

ふしん① 【不振】《名・形動》^{ちょうし せいせき わる}調子や成績が悪いこと。また、そのようす。

④(状況、成績)不好。不佳。^{たいちょう わる きょうぎたいかい せいせき ふしん}「体調が悪くて、競技大会の成績は不振だっ

た//^{しょくよく ふしん}食欲不振」^{ふちょう}類不調.スランプ

ふ 4-68

ふじん① 【夫人】《名》^{たにん つま さんけいご}他人の妻の尊敬語。④ 夫人。^{しゅしょう ふじん}「首相は夫人とと

もに、^{りんごく ほうもん}隣国を訪問した//^{ふじんどうはん さとう ふじん}夫人同伴//佐藤夫人」^{おく}類奥さま⇒参

ふ

ふじん① 【婦人】^{じょせい あらわ い かた ひと}女性を表す言い方の1つ。^{さいきん ねんぱい ひと}最近では年配の人をさすことが

^{おお}多い。④^{せんご にほん ふじん ちい こうじょう}婦女。女子。「戦後、日本は婦人の地位の向上をはかった//^{ふじんさんせい}婦人参政

^{けん ふじんざっし}権//婦人雑誌」^{しんし}対紳士 ^{おんな じょし じょせい ひかくらん}類女.女子.女性⇒比較欄

ふ 4-69

ふじん① 【布陣】《名・自動～する》^{じんいん はいち たたか しあい じゅんび}人員の配置など、戦いや試合の準備

をすること。④^{こうげきちゅうしん ふじん し}布阵。摆阵势。「サッカーで、攻撃中心の布陣を敷く」

ふ 4-70

ふじんうんどう④ 【婦人運動】《名》^{じょせい しゃかいてきちい こうじょう けんり かくちよう}女性の社会的地位向上、権利の拡張

^{もくてき}を目的とした^{しゃかいうんどう}社会運動。④^{じょせい}婦女运动。婦女解放运动。

ふ 4-71

ふしんじん② 【不信心】《名・形動》^{かみ ほとけ しんこう}神や仏などを信仰しないこと。ふしんじん。㊥不信神佛。没有信仰心。「^{ふ しんじん}不信心だが、^{しょうがつ}正月だけは^{じんじゃ い}神社に行く」

対^{しんじん}信心 類^{ふ しんこう}不信仰

ふ 4-72

ふしんばん①② 【不寝番】《名》^{ひとばんじゅう ね なに ちゅうい}一晩中寝ないで何かに注意していること。㊥值夜班。巡夜。「^{てん じ かいじょう}展示会場で^{ふ しんばん}不寝番をして、^{こくほう ぶつぞう まも}国宝の仏像を守る」 類^ね寝ずの番

ふ 4-73

ふしんび② 【不審火】《名》^{げんいん}原因がわからない^{か じ}火事。ふしんか。㊥^{げんいん}原因不明的^{きんじよ}火災。「^{ふ しん び}近所に不審火が^{つづ}続いて、^{ふ あん}不安だ」

ふ 4-74

ふ・す①② 【伏す〔^ふ臥す〕】《自動五》(ふして) ^{びょう き}病氣などで^ね寝る。㊥^ふ臥床。卧(病)。「^{はは やまい}母が病に^{ねん}ふして3年になる」 類^ふ伏せる

ふ 4-75

ふずい① 【不随】《名》^{からだ おも}体が思うように動かないこと。㊥^{うご}麻痹。中风。「^{はんしん}半身

不随」^{ふずい}書^{ずい}対随意

ふ 4-76

ぶすい① 【無粋・不粋】《名・形動》^{にんげんかんけい}人間関係の^{びみょう}微妙な^{こころ}心の^{うご}動きを^{りかい}理解し
ないこと。㊥^{ぶすい}不懂风趣。不风流。「^{ちち}無粋な父は、^{はは}母の^{たんじょうび}誕生日に^{はな}花も^{おく}贈らない」

^{いきすい}対粋.粋 類^{やぼ}やぼ

ふ 4-77

ぶすつと② 《副・自動～する》①^{ふきげん}不機嫌に^{だま}黙っているようす。㊥^{ぼん}闷声不响。

^い绷着脸。「^い言い争った^{あと}後、^{しまい}姉妹はぶすつとして^{くち}口もきかない」②^{するど}鋭くとが

ったものが、^{やわ}柔らかく^{あつ}厚みのあるものに^つ突きささるようす。㊥^{さけ}嗖。扑哧一声。

「ぶすつと^{ちゅうしゃ}注射をされて、『^{いた}痛い』と^{さけ}叫んだ」△^{ぶすり}類ぶすりと

ふ 4-78

ぶすぶす(と)① 《副》①^{ほのお}炎を^あ上げず、^{けむり}煙だけが^あ上がっているようす。

㊥^{ぼう}冒烟燃烧。「^びたき火の^{のこ}残り火が、^もぶすぶす燃えている」②^{とうじしゃ}当事者のいない

ところで、^{ふへいふまん}不平不満を^{こごえ}小声で言うようす。㊥^{なげ}嘟囔。咕哝。「^{どうい}同意した^{あと}後で、^{かげ}陰で

ぶすぶす^い言う」

ふ 4-79

ふすま②③ 【ふすま〔襖〕】《名》^{へや しき おしい と}部屋の仕切りや押入れの戸にする、木の

^{わく わし ぬの は}枠に和紙や布を張ったもの。からかみ。㊥**日式拉门。隔扇。**「ふすまを閉め

ても、^{となり へや こえ ぜんぶ き}隣の部屋の声は全部聞こえる//ふすま張り」^{いちまい}数1枚

ふ 4-80

ふせ②① 【布施】《名》(^{ふせ かたち れい}「お布施」の形で)お礼として僧侶に贈るお金や

^{しなもの}品物。㊥**布施。**「^{ほうじ く そうりよ}法事に来る僧侶に、^{ふせ つつ}お布施を包む」

ふ 4-81

ふせい① 【父性】《名》^{ちちおや も}父親として持っている^{せいかく}性格。㊥**父性。**「^{ひと ふせい}人には父性も

^{ぼせい そな}母性も備わっている//^{ふせいあい}父性愛」^{ぼせい}書 対母性

ふ 4-82

ふせい① 【不正】《名・形動》^{ただ}正しくないこと。^{せいぎ はん}正義に反すること。また、

そのようす。㊥**不正规。不正当。**「^{しけん たにん どうあん み}試験で、他人の答案を見るのは不正だ」^{ふせい}

ふ 4-83

ふぜい① 【風情】《名》場所や人がつくりだす雰囲気から受ける味わい。

㊦風情。情趣。「見事な生花が、祝賀会に風情をそえている//風情がある庭」

類 味わい. 情趣. 趣

ふ 4-84

ぶぜい② 【無勢】《名》人数が少ないこと。㊦人少。势单力薄。「味方が無勢

で負けた//多勢に無勢」 対多勢 類小勢

ふ 4-85

ふせいみやく② 【不整脈】《名》脈の打ち方が不規則になる状態。㊦脉

律不齊。「不整脈が脳梗塞の前兆だった」 書

ふ 4-86

ふせき② 【布石】《名》①囲碁で、対局のはじめに置く石の並べ方。㊦布

局。「布石がすんで、中盤へ進む」 ②これからのことのため、いろいろな方面

へ準備や手配をすること。㊦准备。布置。「タイ進出の布石として、まず

バンコクに駐在員を置く」 書

ふ 4-87

ふせ・ぐ② 【防ぐ】《他動五》（ふせいで）①敵が入らないように守る。

㊤防守。防御。「ゴールキーパーは体をはって、敵のシュートを防いだ」 類

防衛する ②よくないことが起こらないようにする。㊤防备。予防。「イン

フルエンザを防ぐために、予防注射をする//事故を未然に防ぐ」 類防止する

ふ 4-88

ふせつ① 【敷設】《名・他動～する》設備・装置を広い範囲に設置すること。

㊤铺设。架设。「海底にパイプラインを敷設する」

ふ 4-89

ふせつせい② 【不摂生】《名・形動》日常生活で健康に気をつけないこと。

㊤没有节制。不注意保养。「不摂生がたたって病気になった」 対摂生 類不養生

じょう
生

ふ 4-90

ふ・せる② 【伏せる】《他動一》①腹を地面につける。㊤趴下。伏下。「激し

い揺れを感じて、思わず身を伏せた」 類伏す ②表を下にして置く。㊤扣

下。「読みかけの本を伏せて、電話に出た」③下に向くようにする。㊤朝下

(看)。垂下。「^は恥^めず^ふかしくて目を伏せた」④^{かく}隠しておく。㊥^{かく}保^{かく}密。隱^{かく}藏。

「^{りつあん}立案の^{だんかい}段階だから、^{がいぶ}外部には^ふ伏せておく」

ふ 4-91

ふせ・る② 【^ふ伏せる [^ふ臥せる]】《自動五》（ふせって）^{よこ}横になる。特に、

^{びょうき}病^ね気で寝る。㊥^ふ躺^ふ下。因^ふ病^ふ卧^ふ床。「^{そぼ}祖母は^{かぜ}風邪をひいて、ふせっている」

ふ 4-92

ふせん① 【^ふ不戦】《名》^{せんそう}戦争を起^おこさないこと。^{せんそう}戦争に^{さん}参^か加しないこと。

㊥^ふ不^ふ打^ふ仗。不^ふ交^ふ戦。「^{せんぼつしゃ}戦没者の^{はか}墓の前で、^ふ不^ふ戦^ふを^{ちか}誓^ふう//^ふ不^ふ戦^ふ条^ふ約」 書

ふ 4-93

ふせん① 【^ふ付箋】《名》^{ようてん}要^{ちゅうい}点や^{てん}注^か意する点などを書いて、はりつける小^{ちい}さ

^{かみき}な紙^き切れ。㊥^ふ附^ふ箋。箋^ふ条。「^{しよるい}書類に『^{かいぎ}会^{しりょう}議の資^ふ料』と^ふ付^ふ箋をつけて^{かいらん}回^{らん}覧する」

ふ 4-94

ぶぜん① 【^ぶ無^{ぜん}然】《～たる連体・～と副》がっかりしたり、^ふ不^{まん}満に^{おも}思^{おも}ったり

して、ことばが^で出^でないようす。㊥^ぶ无^{ぜん}然。不^ぶ高^じ興。「^じ辞^{にん}任して^{せき}責^{にん}任をとれという^{とも}友

の^{ちゅうこく}忠^{こく}告を、^ぶ无^{ぜん}然として^き聞^きく//^ぶ无^{ぜん}然たる^{ひょうじょう}表^{じょう}情」 書

ふ 4-95

ぶそう① 【武装】《名・自動～する》^{たたか}戦うために^{ぶき}武器を^{そうび}装備すること。④

武装。军备。「^{ぶそう}武装した^{けいかん}警官が、^{たい}デモ^お隊を^ち追い散らした//^{ぶそうかいじょ}武装解除//^{かくぶそう}核武装」

^{ひぶそう}対非武装

ふ 4-96

ふそうおう② 【不相応】《名・形動》^{つりあ}つりあっていないこと。ふさわしく

ないこと。④不相称。不合适。「^ま真っ^か赤な^{そうぎ}Tシャツは、^ふ葬儀には^み不相応だ//身

^{ぶんふそうおう}分不相応」 ^{そうおう}対相応

ふ 4-97

ふそく① 【不足】《名・形動・自動～する》①^た足りないこと。④不足。不

够。缺乏。「^{せんじちゅう}戦時中は^{しょくりょう}食料が^{ふそく}不足して、^う飢えに^{くる}苦しんだ//^{すいみん}睡眠不足//^{れんしゅう}練習

^{ふそく}不足」 ^{かじょう}対過剰 ^{けつぼう}類欠乏⇒比較欄 ②^{ふまん}不満なこと。④不满。不平。「^{きょうそうあいて}競争相手

は大ベテランで、^{あいて}相手に^{ふそく}不足はない」 ^{ふまんぞく}類不満足

ふ 4-98

ふそく① 【不測】《名》^{まえ}前もって^{よそく}予測・^{よそう}予想できないこと。④不可预测的

事。意外。「^{うんてんちゅう}運転中の^{くるま}車が^ひ火を^ふ噴くという、^{ふそく}不測の^{じたい}事態が^お起こった」 ^{ふりよ}類不慮

ふ 4-99

ふぞく ㊦ 【付属・附属】《名・自動～する》^{どくりつ}独立していないで、おもなも

のについていること。㊦**附属**。「^{ふぞく}付属の^{こうこう}高校から、^{だいがく}大学に入る//^{ふぞくひん}付属品」注

^{いぜん}以前は「^{ふぞく}附属」を^{つか}使ったが、^{さいきん}最近は「^{ふぞく}附属」を^{おお}多く^{つか}使う。

ふ 4-100

ふぞくご ㊦ 【付属語】《名》^{にほんご}日本語の^{ぶんぽう}文法で、^{じりつご}自立語の^{あと}後につけて^{つか}使われ

ることば。^{じょし}助詞と^{じょどうし}助動詞。「^は・^が・^に」「^だ・^{らしい}・^{ようだ}」など。㊦

附属詞。対^{じりつご}自立語

ふ 5-1

ふそくふり ㊦ 【不即不離】《名・形動》^{ふた}2つのものが、^{はな}つきも^{はな}離れもしな

^{びみょう}い微妙な^{かんけい}関係にあること。㊦**不即不離**。**若即若離**。「^{りょうせいとう}両政党は、^{ほうあんしんぎ}法案審議で

^{きょうちょう}協調したり^{はんぱつ}反発したり、^{ふそくふり}不即不離の^{かんけい}関係にある」書類つかず^{はな}離れず

ふ 5-2

ふぞろい ㊦ 【ふぞろい [不揃い]】《名・形動》①^{かず}数が^た足りないこと。㊦

数量不足。「^わコーヒーカップが割れて、^{かず}数が^{おお}ふぞろいになった」②^{おお}大きさ・^{かたち}形・

品質^{ひんしつ}などが、まちまちなこと。㊦形形色色。不整齐。「大小^{だいしょう}ふぞろいのリン

ゴだが、味^{あじ}はみなよい//生徒^{せいと}の学力^{がくりよく}がふぞろいだ」

ふ 5-3

ふそん[㊦] 【不遜】《名・形動》自分^{じぶん}は他人^{たにん}より偉い^{えら}と思^{おも}って、他人^{たにん}を見下^{みくだ}し

たような態度^{たいど}をとること。㊦不遜。高傲自大。「他人^{たにん}の意見^{いけん}はどれも価値^{かち}が

ないと考^{かんが}えるのは、不遜^{ふそん}だ//不遜^{ふそん}な態度^{たいど}」対謙遜類高慢・尊大^{そんだい}

ふ 5-4

ふた[㊦] 【蓋】《名》瓶^{びん}や箱^{はこ}などの入れ物^{いもの}の口^{くち}に、上^{うえ}からかぶせるもの。㊦

盖子。「鍋^{なべ}のふた//落^おとしふた」数1枚^{いちまい}

【蓋^{ふた}を開^あける】①何か^{なに}を始^{はじ}める。㊦开始。开业。「初日^{しょにち}の舞台^{ぶたい}の蓋^{ふた}を開^あける」

類蓋明^{ふたあ}け ②予想^{よそう}した結果^{けっか}を確^{たし}かめる。㊦揭晓。「選挙^{せんきょ}結果^{けっか}は、蓋^{ふた}を開^あけ

てみるまでわからない」

ふ 5-6

ふだ① 【札】《名》①文字を書く小さな紙片や板。②（写有文字的）小紙

条、小木片。小牌子。「札に名前を書いて胸につける//荷札」②神社のお守り。

③护身符。「交通安全のお札」③かるたやランプのカード。④紙牌。「札を配

る//札をめくる」

ふ 5-7

ぶた① 【ブタ・豚】《名》家畜の一種。体が太っていて鼻が大きく足が短

い。肉は食用に、皮は皮革製品にする。②猪。「豚を飼育して市場に出す

//豚小屋//豚肉」 数 1頭. 1匹

ふ 5-8

ふたあけ① 【蓋明け】《名》ものごとの始まり。特に、長く続く興行の初日を

いう。②開幕。开端。「歌舞伎座の新年の蓋明けは1月2日だ」 類 開始. 幕開き.

まくあ
幕開け

ふ 5-9

ぶたい① 【舞台】《名》①芸術・芸能を観客に演じて見せる場。また、そ

の演技。②（演藝）舞台。「国立劇場の舞台上で日本舞踊を踊る//舞台装置//初

舞台」②手腕や能力を發揮する場。㊦用武之地。(發揮才干的)舞台。「国連を

舞台に活躍する」

ふ 5-10

ぶたいうら㊦ 【舞台裏】《名》①舞台の裏で、観客からは見えない場所。

㊦后台。幕后。「役者が、舞台裏で出番を待っている」②外部から見えない、

ものごとが行われる場所。㊦幕后。内幕。「首脳会談の間に、舞台裏では盛

んにかけひきが行われていた」△類楽屋裏

ふ 5-11

ふたいてん㊦ 【不退転】《名》強い信念を、決して曲げないこと。㊦不屈不

撓。决不改变信念。「不退転の決意で、新しい仕事に取り組む」書対退転

ふ 5-12

ふたえ㊦ 【二重】《名》2つに重なっていること・もの。㊦双层。双重。「二重

の花びら//二重まぶた」対一重

ふ 5-13

ふたおや㊦ 【二親】《名》父と母。㊦双亲。父母。「おかげさまで、二親そ

ろって元気です」対片親 類両親

ふ 5-14

ふたご① 【双子】《名》1人の母親から同時に生まれた2人の子ども。双生児。

㊦ ④ 双胎。孪生子。「双子で顔は似ているが、性格は違う」

ふ 5-15

ふたことめ⑤ 【二言め・二言目】《名》（「二言めには」の形で）最初のこ

とばの次に言うことばが決まっていること。㊦ ④ 第二句话。口头禅。「二言めに

は、『経済の活性化』と言う」

ふ 5-16

ふたしか② 【不確か】《形動》確かでないようす。㊦ ④ 不确切的。含糊的。「10

ねん まえのことで、記憶が不確かだ//不確かな情報」
対 確か. 确实 類 不确实

ふ 5-17

ふたたび① 【再び】《副》もう一度。再度。㊦ ④ 再次。又。「愚かな過ちを

ふたたび繰り返してはならない」

ふ 5-18

ふたつ③ 【二つ・2つ】《名》① 1つの次の数。2。㊦ ④ 二。2（个）。② 2歳。㊦ ④

两岁。「この子は誕生日がくると、2つになる」

【二つとない】^{ふた}1つしかなく、^{ひと}非常に^{ひじょう}価値^{かち}がある。㊤唯一。独一无二。无可

替代。「^{こくほうきゅう}国宝級^{ふた}の二つとない^{ちやわん}茶碗だ」

ふ 5-20

ふだつき㊤ 【札付き】《名》^{わる}悪いという^{ひょうばん}評判があること。㊤恶名远扬。名

声很坏。「^{ふだ}クラスで^{なま}札付きの^{もの}怠け者で、^{しゅくだい}宿題^だを出したことがない」

ふ 5-21

ふたつながら㊤㊤ 【二つながら】《副》^{りょうほう}両方の^{ふた}いずれも。二つとも。㊤两

方面都…。二者都…。「^{とみ}富と^{めいせい}名声を^{ふた}二つながら^て手^いに入れた^{じょゆう}女優」 書

ふ 5-22

ふたつへんじ㊤ 【二つ返事】《名》^{なに}何かを^{たの}頼まれて、すぐに「はい、はい」

と^{こころよ}快^{へんじ}く返事をして^ひ引き^う受けること。㊤一口答应。欣然接受。「^{めんどう}面倒な^{しごと}仕事だ

が、^{いちろう}一郎は^{ふた}二つ返事で^ひ引き^う受けてくれた」 類快諾

ふ 5-23

ふだどめ㊤ 【札止め】《名》^{げきじょう}劇場などで、^{まんいん}満員のため^{にゅうじょうけん}入場券^{はつばい}の発売^やを止め

ること。㊤（^{まんいんふだど}劇場等因满座而）^{せいきょう}停止售票。「^{まんいんふだど}満員札止めの^{せいきょう}盛況」

ふ 5-24

ふたまた① 【二股】《名》もとが1つで、先が2つに分かれていること。㊦

分叉。两叉。「二またの枝の一方を切る//道が二またに分かれている」

【二股を掛ける】一方がだめになってもいいように、もう一方の選択肢も残し

ておく。㊦脚踩两只船。观望。「二またをかけて2つの大学を受験したら、

両方合格した」

ふ 5-26

ふたり③ 【二人・2人】《名》人の数が2であること。㊦两人。㊧両人. 2名

ふ 5-27

ふたん① 【負担】《名・他動～する》仕事や義務・責任を引き受けること。

また、その仕事や責任が重すぎる。㊦承担(工作、责任)。担负。「社員の

出張費用は会社が負担する//親の介護を負担に思う」

ふ 5-28

ふだん①① 【不断】《名》①いつも続けていること。㊦不断。不间断。「不断

の努力で、水泳の記録がのびた」②決断力が弱いこと。㊦不果断。没有决

断力。「優柔不断」△書

ふ 5-29

ふだん① 【ふだん〔普段〕】《名・副》ふつうの場合。いつも。㊤平常。日常。平时。「ふだんは朝7時に起きる//ふだんの格好//ふだん着」
類 日常。日ごろ

ふ 5-30

ふち② 【ふち〔淵〕】《名》①川の水が流れないで、深くなっている所。㊤淵。水深不流之处。「川で遊んでいた子どもが淵でおぼれた」
対 瀬 ② なかなか抜けだせない最悪の状況。㊤深淵。难以摆脱的困境。「絶望の淵に追いつめられる」

ふ 5-31

ふち② 【縁】《名》①物のはし。㊤端。頭。「滑走路のふちから飛行機が飛び立った//崖っぷち」
②何かをかこむまわりの部分。㊤边。缘。框。「写真のふちを花で飾る//ふちなしのめがね//額ぶち」

ふ 5-32

ふち①② 【不治】《名》病気が治らないこと。ふじ。㊤不治（之症）。治不好的病。「不治の病にかかる」
書

ふ 5-33

ぶち 【ぶち- [打^ち-]】 《接頭》 (動詞や、動詞から変化した名詞について)

て) 意味や勢いを強めることば。㊥ (接在動詞前) 加强意义或气势, 或者表

示动作粗暴。打…。「ぶち当たる//ぶち壊し//ぶちのめす」 俗 参^{おんびん}音便の

かたち形で、「ぶっ」「ぶん」となることもある。

ふ 5-34

ぶちこわ・す ㊤㊦ 【ぶち壊す [打^ち壊す]】 《他動五》 (ぶちこわして)

①「壊す」を強めた言い方。乱暴に壊す。㊥打坏。敲碎。「ブルドーザーで突っ

こんで、塀をぶち壊す」 ②ものごとをめちゃめちゃにする。㊥弄糟。搞砸。

「舞台に酔っ払いが上がってきて、芝居をぶち壊した」 △名^{こわ}ぶち壊し

ふ 5-35

ふちど・る ㊧ 【縁取る】 《他動五》 (ふちどって) 物のまわりに縁をつけ

る。㊥镶边。绣边。「名刺を金色でふちどって、めだたせる」

ふ 5-36

プチブル ㊨ 《名》「プチブルジョア (⑦petit bourgeois)」の略。ブルジョ

アとプロレタリアの中間の階級に属する人々。中産階級。㊥中产阶级。

中间阶层。

ふ 5-37

ぶちま・ける ④① 《他動一》①容器をひっくり返して、中のものを勢いよく外へ出す。㊥翻底。傾倒一空。「ぶつかった拍子に、かばんの中の書類を

道路にぶちまけた」②包み隠さず、すべてを言う。ぶちあける。㊥傾吐。通

通説出来。「たまっていた不満を上司にぶちまけた」

ふ 5-38

ふちやく ① 【付着】《名・自動～する》しっかり付いて離れないこと。㊥黏

着。緊緊貼在上面。「貝殻に海草が付着している//付着物」 書

ふ 5-39

ふちゅうい ② 【不注意】《名・形動》注意が足りないこと。㊥不细心。粗

心大意。「運転中の不注意で大事故を起こした」

ふ 5-40

ふちょう ① 【不調】《名・形動》①調子が悪いこと。また、そのようす。

㊥状態不好。不顺利。「体が不調で、旅行をキャンセルした」 対好調.快調

類不振.スランプ.低調 ②うまくまとまらないこと。㊥谈不拢。进展不佳。

「2社の合併交渉は、たがいに社長の座をゆずらず、不調に終わった」**類**不

せいりつ
成立

ふ 5-41

ぶちょう**㊦** 【部長】《名》部のいちばん上の人。㊦部長。部门负责人。「部長

に許可をもらって、休暇を取る」

ふ 5-42

ぶちょうほう**㊦** 【不調法】《名・形動》①ものごとが上手にできず、相手に

不便な思いをさせたり、不快な気分させたりすること。㊦不周到。不周密。

「勤めはじめたころは、何かと不調法で、失敗も多かった」②酒・タバコを

飲まず、芸事などができないこと。㊦不会烟酒。不会玩乐。「不調法でお酒の

相手はできませんが、ごゆっくりどうぞ」③失敗。過ち。㊦犯错。疏忽。「合

宿中に、ねぼけて不調法をしでかした」

ふ 5-43

ふちん**㊦** 【浮沈】《名・自動～する》栄えることと衰えること。㊦盛衰。

荣枯。「企業の浮沈をかけて、新製品を売りだす」**書** **類** 浮き沈み

ふ 5-44

ふっ 【吹っ-】 《接頭》（か^{ぎょう}行・た^{ぎょう}行の音で始まる^{おん}動詞^{はじ}について）^{どうし}意味^いを^み

強^{つよ}め、勢^{いきお}いのいいようすを表すことば。㊥加强语气，或表示动作猛。「吹っ

飛^とぶ//吹^ふっ切^きれる」俗

ふ 5-45

ぶっ 【ぶっ- [打"っ-]】 《接頭》（動^{どうし}詞^{どうし}や動^{どうし}詞^{どうし}から変^{へん}化^かした名^{めい}詞^しについて）

意^い味^みや勢^{いきお}いを強^{つよ}めることば。㊥加强语气，表示动作猛。「ぶっ壊^{こわ}す//ぶっ千^ち切^ぎ

り//ぶっ放^{ばな}す」参「ぶち」の変^{へん}化^かした形^{かたち}。か^{ぎょう}行^{ぎょう}、た^{ぎょう}行^{ぎょう}、は^{ぎょう}行^{ぎょう}の音^{おん}で始^{はじ}ま

ることばにつく。また「なぐる」「投^なげる」「回^{まわ}す」などには「ぶん」がつく。

ふ 5-46

ぶつ 【-物】 《接尾》形^{かたち}のある物^{もの}。㊥表示有形的东西。「危^き険^{けん}物^{ぶつ}//生^{せい}産^{さん}物^{ぶつ}//

ゆうびんぶつ
郵便物」

ふ 5-47

ぶ・つ① 【ぶっ [打"っ]】 《他動五》（ぶ^うって）①「打^{つよ}っ」を強^いめた言^{かた}い方^{かた}。

人^{ひと}や動^{どうぶつ}物^{ぶつ}を強^{つよ}くたたく。㊥打（人或动物）。敲。击。「子^こどもをしかって、尻^{しり}を

ぶつ」②演説えんぜつなどをする。㊦**演讲。演说。**「酒さけを飲のむと、父ちちは若わかいころの自慢じまん

話を長々ながながとぶつ」俗

ふ 5-48

ふつう① 【不通】《名》交通こうつうや通信つうしんが通つうじないこと。㊦**不通。堵塞。**「吹雪ふぶきで

電車でんしゃが不通ふつうになった//音信おんしん不通ふつう」

ふ 5-49

ふつう① 【普通】I 《名・形動》①どこにもよく見みられることで、特とくに変わか

っていないこと。また、そのようす。㊦**普通。一般。平常。**「退院たいいんして、ふ

つうの生活せいかつにもどった//ふつうの人々ひとびと」②平均へいきんの水すい準じゆんであること。㊦**平均水**

准。一般。「この会社かいしゃは、給料きゅうりょうはふつうだが、休みやすみが**多い**の**が**いい」△対

特別とくべつ II 《副》いつも。たいてい。㊦**多半。日常。**「ふつう朝あさは7時じに起きおきる」

ふ 5-50

ふつうめいし④ 【普通名詞】《名》文法で、同じ種類ぶんぽうの物おなに共しゆるい通ものする名前きょうつうをなまえ

表あらわす名詞めいし。「山やま」「家いえ」「民主主義みんしゅしゅぎ」など。㊦**普通名詞。**対固有こゆうめいし名詞

ふ 5-51

ふつか① 【二日・2日】《名》①月の第2番目の日。㊥每月的第二天。二号。

②日の数が2つあること。㊥两天。两天时间。

ふ 5-52

ぶつか① 【物価】《名》物の値段。㊥物价。「石油の値段が上がると、物価も

上がる//物価高//物価指数」

ふ 5-53

ふっか・ける④ 【吹っかける】《他動一》「吹きかける」を強めた言い方。

㊥“吹きかける”的加强语气的说法。「けんかを吹っかける//高値を吹っかける」 俗

ふ 5-54

ぶっか・ける④① 【ぶっ掛ける [打]っ掛ける】《他動一》「かける」を強め

た言い方。水などを乱暴に浴びせかける。㊥(加强语气)胡乱泼(水)。「花壇

を荒らす犬に、バケツの水をぶっかけた」 俗

ふ 5-55

ふっかつ① 【復活】《名・自動～する》①一度やめたものが、また、いい

と認められること。㊥复兴。重新受到承认。复苏。「30年前の流行が復活し

て、母親のドレスを娘が喜んで着ている」②一度死んだ人が生き返ること。

㊦復活。死者復生。「キリストの復活を祝う//復活祭」**類蘇生**

ふ 5-56

ふつかよい**㊦** 【二日酔い】《名》酒を飲みすぎて酔いが次の日まで残り、気

分がよくないこと。㊦宿酔。「二日酔いで、頭が痛くて仕事ができない」

ふ 5-57

ぶつか・る**㊦** 《自動五》（ぶつかって）①強く突き当たる。㊦**碰。撞**。「無免

許運転の車が電信柱にぶつかった」②直接会って交渉する。㊦**直接談判**。

直接试试。「電話ですませないで、直接ぶつかってみるといい」③不意に直

面する。㊦**偶遇。突然碰到**。「高速道路を走っていて、交通事故の処理の場面

にぶつかった」④2つのものが重なる。㊦**（日期、時間上的）冲突。撞车**。

「子どもの運動会と出張がぶつかって、見に行けない」⑤対立する。㊦**对**

立。分歧。「修学旅行を沖縄にするか、広島にするかで、クラスの意見がぶつかっている」

ふ 5-58

ふつき**㊦** 【復帰】《名・自動～する》一時離れていたが、もとの位置や状態

にもどること。㊤**復归**。回归。「病気が治って職場に復帰した」 書

ふ 5-59

ふつきゅう ㊤ 【復旧】《名・自他動～する》壊れた物がもとの状態に直す

こと。また、直すこと。㊤**恢复原状**。修复。「洪水で流された橋が復旧した」

ふ 5-60

ぶつきょう ㊤ 【仏教】《名》世界3大宗教の1つ。紀元前5世紀の初め、釈迦

がインドで始めた。仏の教えであり、自己の存在位置を知り、自己自身が

仏になることをめざす教え。㊤**佛教**。 関連一. イスラム教・キリスト教

ふ 5-61

ぶつきらぼう ㊤ 《名・形動》話し方や態度が、愛想のないこと。また、そ

のようす。㊤**粗鲁**。生硬。「道を聞かれた警官は、ぶつきらぼうに『あっち』

と答えた」 俗 類無愛想. そっけない

ふ 5-62

ふつき・れる ㊤㊤ 【吹っ切れる】《自動一》心の中のこだわりや迷いなど

が、消えてなくなる。㊤**消失**。烟消云散。「先輩の苦労話を聞いたら、悩み

が吹っ切れた」 他動吹っ切る 俗

ふ5-63

ぶつぎを-かもす 【物議を醸す】 そのことがもとになって、言い争いやもめごとが起こる。㊦引起物議。招致社会议论。「能力のない者はやめてもらおうという、社長のことばが物議をかもしている」 書

ふ5-64

ブック① 《名》 (book) ①本。書籍。書物。㊦書籍。书。「ブックカバー//ガイドブック」②とじて表紙をつけてあるもの。㊦册子。本子。簿。「スクラップブック//スケッチブック」 △数 1冊

ふ5-65

ぶつくさ(と)① 《副》 しきりに不平や不満を言うようす。㊦发牢骚。啗啗咕咕。「はっきり断らないで、陰でぶつくさ言っている」

ふ5-66

ふっくら③ 《～(と)副・自動～する》 ふくらんでいて、柔らかそうなようす。㊦松软而鼓起状。柔软丰满状。「ふっくらとした、おいしそうなパンだ」

ふ5-67

ブックレット④ 《名》 (booklet) 小型で薄い本。小冊子。㊦小册子。

ふ 5-68

ぶつ・ける ㊦ 《他動一》①物を投げて当てる。㊦**投中**。击中。「カラスに石を

ぶつけて、追い払った」②体や物を他の物に当てる。㊦**碰上**。撞上。「転ん

で柱に頭をぶつけた」③問題点などを、厳しい態度で出す。㊦**(严肃地)**

提出(問題)。「理事者側の提案に、疑問をぶつけた」

ふ 5-69

ぶっけん ㊦ 【物件】《名》品物。物品。㊦**物件**。物品。「たくさんの売り家の

物件の中から、この家を選んで買った//証 拠物件」

ふ 5-70

ふっこ ㊦ ㊦ 【復古】《名・自他動～する》昔の状態にもどること。また、

もどすこと。㊦**復古**。「王政復古//復古調」 書

ふ 5-71

ぶっこ ㊦ 【物故】《名・自動～する》人が死ぬこと。死去。㊦**亡故**。去世。

「3年前に物故した文豪の作品を読み返している//物故者」 書 類 逝去

ふ 5-72

ふっこう① 【復興】《名・自他動～する》^{いち どおとろ}一度^{さか}衰えたものが、また^{さか}盛んになること。また、^{さか}盛んにすること。㊥^{ふしん}复兴。^{じしん はかい}重建。「地震で破壊された町の復
興を急ぐ//^{しょうめつ}消滅した^{こてんげいのう}古典芸能を^{ふっこう}復興する」^{ふっかつ}類復活.リバイバル

ふ 5-73

ふつごう② 【不都合】《名・形動》①^{つごう}都合や、^{ぐあい わる}具合が悪いこと。㊥^{ふつごう}不^{ふつごう}方便。
^{ふつごう}不^お妥。「^{ふつごう}不都合が^お起こって^{りょこう}旅行に行けなくなった//^{おく}遅れても^{ふつごう}不都合はない」^{たい}対
^{こうつごう}好^{じょうしき}都合 ②^{こうどう}常識をはずれた^{こうどう}行動をすること。^{どうり}道理に^あ合わないこと。㊥^{ふつごう}不^{ふつごう}合^{げんじゅうちゅうい}道
理。^{ふつごう}没^{ふつごう}規^{げんじゅうちゅうい}矩。「^{ふつごう}不都合をしでかして、^{げんじゅうちゅうい}嚴重注意された」^{ふらち}類^{ふらち}ふらち

ふ 5-74

ふっこく① 【復刻】《名・他動～する》^{ふる ほん ざっし}古い本や雑誌を、^{かんこう}はじめて刊行した
ときの^{ていさい}体裁・^{ないよう}内容のまま、^{いんさつ}印刷して出すこと。④**复刻**。再版。「^{めいじ じだい}明治時代の^{しんぶん}新聞
を^{ふっこく}復刻する//^{ふっこくばん}復刻版」

ふ 5-75

ぶっさん① 【物産】《名》その^{とち}土地でつくられる^{しなもの}品物。④**物产**。土产。「^{きゅうしゅう}九州
^{ちほう}地方の^{ぶっさん}物産を集めて^{あつ}販売する//^{ぶっさんてん}物産展」類産物

ふ 5-76

ぶっし① 【物資】《名》^{せいかつ}生活に必要な^{ひつよう}品物。^{しょくりょう}食糧・^{いりょう}衣料など。④**物资**。
生活必需品。「^{ひさいち}被災地へ^{せいかつ}生活に必要な^{ひつよう}物資を送る//^{おく}救援物資//^{きゅうえんぶっし}消費物資」

ふ 5-77

ぶっしつ① 【物質】《名》①^み見たりさわったりして、^{そんざい}存在していることが
わかるもの。④**物质**。「^{ぶっしつぶんめい}物質文明//^{ぶっしつよく}物質欲//^{ぶっしつしゅぎ}物質主義」対精神 ②物体をつ
くっているもとになるもの。④**物质**。「^{はつ}発がん性がある^{せい}有害な^{ゆうがい}物質」

ふ 5-78

プッシュ① 《名・他動～する》(push) ①^お押すこと。④**按**。摠。「プッシュ

ホン」②計画・提案などがうまく運ぶように賛成の意を表したり、援助したりすること。㊥推动。援助。「部長に新企画の実現をプッシュしてもらおう」

ふ 5-79

ぶっしょう ㊦ 【物証】《名》物が示す証拠。物的証拠。㊥物证。「物証が乏しい事件」

ふ 5-80

ぶつじょうそうぜん ㊦・㊦ 【物情騒然】《～たる連体・～と副》人々の心が落ちつかず、社会が騒がしくて不安定なようす。㊥社会动乱。人心騒然。「独裁

者追放の声が大きくなり、物情騒然としてきた」 書

ふ 5-81

ふっしょく ㊦ 【払拭】《名・他動～する》まったくなくなってしまうこと。㊥彻底抹掉。肃清。「懇切丁寧な説明を聞いて、心配は払拭された」 書

ふ 5-82

ぶっしんりょうめん ㊦・㊦ 【物心両面】《名》物と心の両方。㊥物质和精神两方面。「災害地の人には、物心両面からの援助が必要だ」

ふ 5-83

ぶっそう③ 【物騒】《形動》^{あぶ}危ないことが起^おこりそうなようす。㊥騒然不
安。不^ふ太^{たい}平^{へい}。「かかえていたかばんをひったかれるとは、物騒な話だ」

ふ 5-84

ぶつぞう④ 【仏像】《名》^{ちようこく}彫^え刻^えや^{かたち}絵^えによつて^{かたち}形^{かたち}づ^{かたち}く^{かたち}ら^{かたち}れた^{ほとけ}仏^{ぞう}の^{ほとけ}像^{ぞう}。㊥佛
像。「1000年前につくられた仏像を拝観する」

ふ 5-85

ぶつだ① 【仏陀】《名》^{しゃか}釈^{そんけい}迦^よを^い尊^{かた}敬^{ほとけ}して呼^よぶ^い言^{かた}い^{ほとけ}方^だ。仏。ぶつだ。㊥
佛陀。对^{ぶつだ}释^{ぼだいじゆ}迦^{ぼだいじゆ}牟^{ぼだいじゆ}尼^{ぼだいじゆ}的^{ぼだいじゆ}尊^{ぼだいじゆ}称^{ぼだいじゆ}。「仏陀は菩提樹のもとで悟りを開いた」

ふ 5-86

ぶつたい④ 【物体】《名》^{かたち}形^{かたち}があ^{かたち}つ^{かたち}て^{かたち}存^{かたち}在^{かたち}し^{かたち}て^{かたち}い^{かたち}る^{かたち}もの。㊥物^か体^か。物^か。「火
星に存在する物体を究明する」

ふ 5-87

ぶつたお・れる⑤④ 【ぶつ倒れる〔打"つ倒れる〕】《自動一》^{たお}「倒れる」
を強めた言^{つよ}い^い方^{かた}。㊥猛^{もう}地^{れん}倒^{しゆう}下^お。突^お然^お倒^お下^お。「猛練習が終わると、選手たちは

芝^{しば}生^ふにぶつ^{たお}倒^{たお}れた」 ㊥

ふ 5-88

ぶったく・る④ 《他動五》（ぶったくって）①「ひったくる」を強めた言い

方。㊦**強行奪取**。「後ろから来たバイクが、女性のかばんをぶったくって走り

去った」②ずるいやり方で、多額の金をうばう。㊦**詐欺（大額金銭）**。額外

要金。「振り込め詐欺で老夫婦から800万円もぶったくった」△**名**ぶったく
り **俗**

ふ 5-89

ぶつだん④ 【仏壇】《名》仏像や位牌を安置しておくための壇。前方が両開

きになっている。㊦**佛坛**。佛龕。「毎朝、仏壇の前にすわって経をあげる」

ふ 5-90

ふつつか② 《形動》能力や気配りが足りなくて相手が満足するように行動

できないこと。㊦**不周到**。不懂礼貌。「ふつつかな者ですが、よろしくお願

いたします」 **参**初対面の人に対する挨拶のことばとして使う。

ふ 5-91

ぶっつけほんばん④ 【ぶっつけ本番】《名》準備・練習なしにものごとを

行うこと。㊦**即兴表演**。（不排练）**上场就演**。「練習する時間がなくて、ぶ

っつけ本番でステージに立った」 **話**

ふ 5-92

ぶつつづけ①【ぶっ続け】《名》^{やす}休まずに^{ちよう じ かんつづ}長時間続けること。㊥**连续不断。**

不停。^{あさ}「朝から^{よる}夜まで、^{つづ}ぶっ続けの^{かいぎ}会議だった」話 類ぶっ通し^{とお}

ふ 5-93

ぷつつり（と）③《副》①ひもなどが^き切れるようす。㊥**带状物断开状。嘯。**

啪。嘆喟。^{ある}「歩いていたら、^{くつ}靴のひもが^きぷつつり切れた」②^{つづ}続いていたこと

が、^{とつぜん}突然、^{かんぜん}完全に^お終わるようす。㊥**一直持续的事物突然停止状。一下子。**「肺^{はい}

がんの^{はなし}話を^き聞いて、ぷつつりタバコを^や止めた」△ぷつつり

ふ 5-94

ふってい①【払底】《名・自動～する》すっかりなくなること。㊥**脱销。匱**

乏。^{しょくりよう}「食糧が^{ふってい}払底して、^{が ししや}餓死者が^で出た//^{ざいこ}在庫が^{ふってい}払底している」書

ふ 5-95

ぶつてき①【物的】《形動》^{もの}物に^{かんけい}関係するようす。㊥**物质的。物质上。**「台風^{たいふう}

が^{じょうりく}上陸したが、^{ぶつてき}物的な^{ひがい}被害は^{なかつた}なかった//^{ぶつてきしょう こ}物的証拠//^{ぶつてきえんじょ}物的援助」書 類物質的^{ぶつしつてき}

ふ 5-96

ふっと①② 《副》①口を細くして息を1回吹くようす。㊦嘆地。「ろうそ

くの火をふっと吹き消した」②「ふと」をすこし強めた言い方。㊦冷不防。

忽地。「足をとめて、あたりをふっと見まわした」

ふ 5-97

ぷっと① 《副》①急に息を吹きだすように、笑うようす。㊦嘆味一声。「い

つもまじめな先生の冗談に、思わずぷっと吹きだした」②突然腹を立ててほ

おをふくらませて、怒るようす。㊦突然鼓起嘴生气。「ぷっとふくれて、も

のもしやない」

ふ 5-98

ふっとう① 【沸騰】《名・自動～する》①水などが煮えたつこと。㊦沸騰。

（水）開。「沸騰したお湯で紅茶をいれる」②人気や世論などが沸き立つほ

ど盛んになること。㊦群情激昂。欢騰。「上級生のオリンピックでの活躍に、

がっこうない ふっとう
学校内は沸騰している」

ふ 5-99

ぶっとおし② 【ぶっ通し】《名》休まないで続けること。㊦连续不断。贯穿

始終。「朝から晩まで、ぶっ通しで働く」 話 類ぶっ続け

ふ 5-100

ふつとば・す④ 【吹っ飛ばす】《他動五》(ふつとばして)「吹き飛ばす」

を強めた言い方。㊦吹跑。一扫而光。「心配をふっ飛ばす」自動吹っ飛ば俗

ふ 6-1

ぶつとば・す④ 【ぶっ飛ばす】《他動五》(ぶつとばして)①「飛ばす」

を強めた言い方。㊦飞驰。疾驶。「高速道路を150キロでぶっ飛ばす」②強く

なぐりつける。㊦狼打。猛揍。「万引きした息子を、ぶっ飛ばした」△俗

ふ 6-2

ふつと・ぶ③ 【吹っ飛ぶ】《自動五》(ふつとんで)「吹き飛ぶ」を強め

た言い方。㊦刮跑。烟消云散。「台風で屋根がふっ飛んだ//大声で歌うと、

もやもやした気分がふっ飛ぶ」他動吹っ飛ば俗

ふ 6-3

フットボール④ 《名》(football) サッカー・ラグビー・アメリカンフット

ボールなどの総称。蹴球。㊦足球。

ふ 6-4

フットライト④ 《名》(footlights) 舞台の床の前面に取り付け、演技者を

まえ て しょうめい
前から照らす照明。㊦脚灯。脚光。

ふ6-5

フットワーク ㊦ 《名》(footwork) ①フットボール・ボクシング・ダンスな
どの足の技。㊦歩法。脚技。②組織や人の機動性。身軽さ。㊦灵活性。敏捷

性。「部長は、フットワークがいいから、すぐ現場に行く」

ふ6-6

ぶつのお ㊦ 【物納】《名・自他動～する》お金ではなく、物や不動産などで

税金を納めること。㊦以实物缴纳。「相続税を、親が住んでいた家で物納した」

書 対 金納

ふ6-

ふつふつ（と） ㊦ ㊦ 【ふつふつ（と）・沸沸（と）・沸々（と）】《副》

①湯などが沸騰しているようす。㊦咕嘟咕嘟（滾开）。「鍋の湯がふつふつ

と沸く」②水がわき出るようす。また、思いがわき出るようす。㊦滚滚（涌

出）。心潮澎湃。「星空をあおぐと、ふつふつと詩情がわいてくる」

ふ6-

ぶつぶつ I ㊦ 《～（と）副》①小さい声でつぶやくようす。㊦小声嘀咕。「祖父

は、ぶつぶつと何か言いながら新聞を読んでいる」②大きめに切るようす。

㊥切**成**大**塊**。「魚^{さかな}を、ぶつぶつと輪^わ切りにして煮る」㊦物^{もの}の表^{ひょう}面^{めん}に小^{ちい}さい粒^{つぶ}

のようなものがたくさんあるようす。㊥一**顆**顆。「にきびがぶつぶつと出^でてき

た」Ⅱ㊦《名》表^{ひょう}面^{めん}にある粒^{つぶ}のようなもの。㊥小**顆**粒。小**疙**瘩。「じんまし

んで、体^{からだ}中^{じゅう}にぶつぶつが**出**た」

ふ6-9

ぶつぶつ**こう**かん㊦ 【物物交換・物々交換】《名・自動～する》直^{ちよく}接^{せつ}物^{もの}と物

を交^{こう}換^{かん}すること。㊥物物**交**換。以物易物。「友^{とも}達^{だち}のCDと、私^{わたし}のDVDを物々交^{ぶつぶつ}換^{こう}する」

ふ6-10

ぶつめ**つ**㊦ 【仏滅】《名》㊦釈迦^{しゃか}の死^し。㊥釋迦牟尼之**死**。佛**滅**。「弟^で子^したち

は仏滅^{ぶつめつ}をなげき悲^{かな}しんだ」㊦陰陽^{おんよう}の考^{かん}え方^がで、何^{なに}をするにも縁起^{えんぎ}の悪^{わる}い日^ひ。

㊥不吉利**的**日^じ子^し。佛**滅**日^じ。「仏滅^{ぶつめつ}に結^{けつ}婚^{こん}式^{しき}をあげ**る**人^{ひと}は少^{すく}ない」対大**安**

ふ6-11

ぶつ**り**㊦ 【物**理**】《名》「物**理**学」の略。物**質**の運**動**・構**造**・熱^{ねつ}・圧**力**・電^{でん}

磁**気**・光^{ひかり}などの作用^{さよう}を研**究**する。㊥物**理**。「物**理**は、工**業**技**術**の基**礎**にな**る**」

ふ 6-12

ぷつり②③ 《～ (と) 副》⇒ぷつり「連絡がぷつりと絶えた」

ふ 6-13

ふつりあい②③ 【不釣り合い】《名・形動》つりあいがとれていないこと。

アンバランス。ⓐ不相称。不平衡。「着物にスニーカーはふつりあいだ」 類

ふ きんこう
不均衡

ふ 6-14

ぶつりゅう④ 【物流】《名》生産者と消費者を結ぶ、物の流れ。ⓐ物流。

物的流通。「物流を合理化して、品物の値段を安くする」

ふ 6-15

ぶつりりょうほう④ 【物理療法】《名》電気・熱・機械・光などの理論を応用

した治療法。ⓐ物理療法。理疗。「物理療法で、歩けるようになった」 対化

がくりょうほう
学療法

ふ 6-16

ぷつん② 《～ (と) 副》長く続いていたものが突然切れてしまうようす。

ⓐ嘖唖。突然地。「テレビの画面がぷつんと切れた」

ふ 6-17

ふで① 【筆】《名》①竹や木の先に毛の束をつけ、墨や絵の具をつけて、文字

や絵を描く道具。㊦筆。毛笔。「筆で年賀状を書く//絵筆」数1本 ②文章

や絵を描くこと。㊦写文章。绘画。「筆が進んで、原稿がはかどった」

.....「筆」の慣用表現.....

【筆がさえる】文章がすばらしい。㊦文章写得好。文笔好。「この部分は作者

の筆がさえていて、引きこまれて読んだ」

【筆が滑る】書いてはいけないことや書く必要のないことまで、つい書いて

しまう。㊦写出不该写的事。笔下疏漏。「筆がすべって、家族の秘密を書い
てしまった」

【筆が立つ】文章を書くのが上手だ。㊦擅长写文章。文笔好。「挨拶文も

報告書も、筆が立つ課長に任せる」

【筆を入れる】添削する。文字や文章や内容を直す。㊦修改文章。润色。「学生

のレポートに、筆を入れる」

【筆を置く】文章を終わりにする。また、書き終える。㊦搁笔。停笔。写完。

「連載小説を5年間書き続けたが、ここで筆を置くことにする」

【筆を折る】^{ふで お さつ か ぶんしょう か しごと}作家などが文章を書く仕事をやめる。㊥摺筆。停止文笔活动。

「^{そうさくりよく おとろ じかく ふで お}創作力の衰えを自覚して、筆を折った」

【筆を断つ】^{ふで た しごと か}仕事として書くことをやめる。㊥摺筆。不再写。「^{どくしゃ ひ}読者からの批

判を浴びて、筆を断った」

.....

ふ 6-25

ふてい㊥ 【不定】《名・形動》^き決まっていないこと。㊥不定。不^{しゅっしゃ}一定。「出社

^{じかん ふてい じ で ご ご で じゅうしょ ふてい}時間は不定で、10時に出たり、午後から出たりする//住所不定」 書

ふ 6-26

ふてい㊥ 【不貞】《名・形動》^{おっと つま うわき}夫、または妻が、浮気をする^{こと}。㊥不^{てい}貞。

有^{おっと ふてい ゆる}外^{りこん}遇。「夫の不貞が許せなくて、離婚した」 書 対^{ていそう}貞操

ふ 6-27

ふていしょう㊥ 【不定称】《名》^{ぶんぼう ひと もの こと ばしょ ほうかく とくてい}文法で、人・物・事・場所・方角などで特定できないものをさすことば。「だれ」「どれ」「どこ」など。㊥不^{てい}定称。

ふ 6-28

ブティック㊥㊥ 《名》(㊥boutique) ^{こうきゅう ようふく そうしんぐ せんもん う}高級な洋服や装身具などを専門に^う売る

^{こうりてん}小売店。㊥服^{てん}装^{てん}专^{てん}卖^{てん}店。时^{てん}装^{てん}专^{てん}卖^{てん}店。

ふ 6-29

ふてき① 【不敵】《名・形動》ものごとを恐れず、敵に対しても堂々として
ていること。また、そのようす。㊦大胆无畏。勇敢。「新人作家が不敵にも、
大作家の作品を生きた化石と批判した//大胆不敵」

ふ 6-30

ふでき① 【不出来】《名・形動》物のできや仕上がりがよくないこと。また、
そのようす。㊦做得不好。收成不好。「天候が不順で、今年の米はふできだ
った//ふできな作品」 対上出来 類できそこない

ふ 6-31

ふてきせつ② 【不適切】《形動》ぴったりあてはまらないようす。㊦不恰当。
不妥当。「不適切な発言をして、非難された」 書 対適切

ふ 6-32

ふてぎわ② 【不手際】《名・形動》やり方が完全ではなく、何か抜けてい
ること。また、そのようす。㊦笨拙。做得不精巧。「大学側は、合格者の名前を
まちがえるという不手際を犯した」

ふ 6-33

ふてくさ・れる⑤ 《自動一》^{めうえ ひと たい ふまん} 目上の人に対する不満から、^{めいれい はんこう} 命令などに反抗したり、^{なま} わざと怠けたりする。ふてくさる。㊦^{こげき} 愠気。㊦^{わべつ} 闹别扭。「^{いもうと ともだち} 妹は友達とのスキー旅行を^{りょこう きんし} 禁止されて、ふてくされた」

ふ 6-34

ふでたて③④ 【筆立て】《名》^{ひつきようぐ た い} 筆記用具を立てて入れておくもの。㊦^{えんぴつ} 笔架。㊦^{つくえ うえ ふでた} 笔筒。「^{えんぴつ} 机の上の筆立てに、鉛筆とペンがさしてある」

ふ 6-35

ふてっけい② 【不徹底】《名・形動》^{かた かんぜん} やり方が完全でなくて、^{ぜんぶ} 全部にいきわたらないこと。^{ちゅうと} 中途はんばなこと。また、そのようす。㊦^{ふてっけい} 不徹底。㊦^{はんちゆう} 半途而废。「^{れんらく ふてっけい しゅつせきしゃ すく} 連絡が不徹底で、出席者が少ない//^{ふてっけい ちょうさ} 不徹底な調査」名 不徹底さ 対 徹底

てき
的

ふ 6-36

ふてね④ 【ふて寝】《名・自動～する》^{ふまん はんこうしん あらわ ね} 不満や反抗心を表して寝ること。㊦^{きょうだい} 躺着愠気。「^{ま おとうと} 兄弟げんかで負けた弟は、^ね ふて寝している」

ふ 6-37

ふでぶしょう③ 【筆無精・筆不精】《名・形動》^{てがみ ぶんしょう か めんどう}手紙や文章を書くのを面倒

がること。㊥筆頭懶。懶于動筆。「^{ふでぶしょう ねんがじょう しちゅうみま か}筆不精で、年賀状も暑中見舞いも書か

ない」^{ふで}対筆まめ

ふ 6-38

ふてぶてし・い⑤ 《形》^{にく おも}憎らしいと思うほどずうずうしい。㊥天不怕地不

怕。死皮賴臉的。^{どろぼう いえ ひと み いなお}「泥棒は家の人に見つかって、ふてぶてしく居直った」^名

ふてぶてしさ

ふ 6-39

ふでまめ④ 【筆まめ】《名・形動》^{てがみ ぶんしょう めんどう か}手紙や文章を面倒がらずに書くこと。

また、そのようす。㊥筆頭勤。勤于筆耕。^{はは ふで まいしゅう てがみ か}「母は筆まめで、毎週手紙を書い

てよこす」^{ふでぶしょう ふでぶしょう}対筆無精・筆不精

ふ 6-40

ふと④① 《副》^{き なに ひょうし}なんの気なしに。何かの拍子に。㊥无意中。偶然。「^{む ちゅう}夢中で

^{ほん よ}本を読んでいて、^{き よなか}ふと気がつくと夜中だった」^類ふっと

ふ 6-41

ふと・い② 【太い】《形》①^{ぼう}棒やひもなどのまわりや、^{せん}線のようなものの^{はば}幅が

おお
大きい。㊤粗的。粗大的。「太い柱が家を支えている//太いズボン//太い罫線」

こえ ひく おお
②声が低くて、大きいようす。㊤粗声粗气。声音低而大。「あの先生の声は太い
ので、遠くまで聞こえる」③小さいことにこだわらず、力強いようす。㊤大

しんけい ふと ひはん へいき ふと みじか じんせい い
胆的。不拘小节。「神経が太いので、批判されても平気だ//太く短く人生を生
きる」 △名太さ 対細い

ふ 6-42

ふとう ㊤ 【不当】《名・形動》道理にはずれていて正しくないこと。また、

そのようす。㊤不合理。不相当。「社長から、すぐやめてもらうと言われた
が、不当な解雇だと抗議した」 対正当 類不法

ふ6-43

ふとう① 【埠頭】《名》乗客の乗り降りや、貨物の積み下ろしをするため

に船をつけておく場所。④碼頭。「埠頭で、船の旅に出る両親を見送った」

類 栈橋. 波止場

ふ6-44

ふどう① 【不動】《名》①動かないこと。④不動。「不動の姿勢で、訓辞を聞

く//直立不動」②他のものによって動かされないこと。④不可动摇。稳固。

「作家として不動の名声を保っている//不動の4番打者」 △書

ふ6-45

ふどう① 【不同】《名・形動》同じではないこと。そろっていないこと。④

不同。不整齐。「順序は不同で、祝電を読み上げる」 書

ふ6-46

ぶどう① 【ブドウ〔葡萄〕】《名》果物の1つ。紫色や緑色の実が房の形

になる。実は食用で、ぶどう酒やジュースなどの原料になる。④葡萄。「種

なしブドウ//干しブドウ」

ふ6-47

ふとういつ② 【不統一】《名・形動》^{とういつ}統一のないこと。まとまっていないこと。
と。㊥不統一。不一致。「各地^{かくち}から、書式^{しょしき}の不統一^{ふとういつ}な文書^{ぶんしょ}が届いた」^{とど} 対統一^{とういつ}

ふ 6-48

ふどうさん②③ 【不動産】《名》^{とち たてもの うご ざいさん}土地や建物など動か^{うご}せない財産^{ざいさん}。㊥(土地、
建築物等) 不動産。「不況^{ふきょう}で不動産^{ふどうさん}の値段^{ねだん}が下がる//不動産屋^さ」 対動産^{どうさん}

ふ 6-49

ふどうとく② 【不道德】《名・形動》^{どうとく はん}道徳に反^{はん}していること。㊥不道德。「タ
バコ^すの吸^すい殻^{がら}を道^{みち}に捨^すてるのは、不道德^{ふどうとく}な行^{こう}為^いだ」 対道徳的^{どうとくてき} 類悪徳^{あくとく}

ふ 6-50

ふどうひょう③ 【浮動票】《名》^{しじ せいとう ひと}支持^{しじ}する政党^{せいとう}も人^{ひと}もなく、だれに投票^{とうひょう}す
るか決^きめていない人^{ひと}の票^{ひょう}。㊥流动选票。「浮動票^{ふどうひょう}が選挙^{せんきょ}の結果^{けつ}を左右^{さゆう}した」

対固定票^{こていひょう}

ふ 6-51

ふとうめい② 【不透明】《名・形動》①^{とうめい}透明ではないこと。すきとおって
ないこと。㊥不透明。「外^{そと}から内部^{ないぶ}が見^みえないように、不透明^{ふとうめい}なガラスにする」

対透明^{とうめい} ②^{ぜんぼう みとお}前方^{ぜんぼう}が見^み通^{とお}せないこと。㊥未来不可预测。「景気^{けいき}が回復^{かいふく}するかどうか」

さきゆ ふとうめい
か先行き不透明だ」

ふ 6-52

ふとく① 【不徳】《名・形動》徳とくの足りないこと。また、そのようす。㊦

徳望不高。无徳。「会社かいしゃの不振ふしんは、社長しゃちょうである私わたしの不徳ふとくのせいだ」 書

ふ 6-53

ふとくてい② 【不特定】《形動》特とくに決きまっていないようす。また、決きめ

ていないようす。㊦不固定。非特定。「不特定ふとくていの人々ひとびとから寄せられた支援しえん//不

とくていたすう 特定多数」 類特定

ふ 6-54

ふところ① 【懐】《名》①服ふくや着物きものの胸むねの部分ぶぶんの内側うちがわ。㊦怀。怀抱。「懐ふところか

ら財布さいふを取りだす」②胸むねの部分ぶぶん。㊦胸口。怀里。「赤ん坊あかぼうを懐ふところにそっと抱だく」

③持もっているお金かね。㊦(金钱)腰包。囊中。「他人たにんの懐ふところをあてにする//懐

具合ぐあい//懐勘定ふところかんじょう」④まわりをかこまれた所ところ。㊦四周被围起来的やま地方。「山の

懐ふところにある温泉おんせんへ行く」⑤隠かくれている内部ないぶ。㊦(隠蔽的)内部。「敵てきの懐ふところに

もぐりこんで、情報じょうほうを集あつめる」

.....「懐ふところ」の慣用表現かんようひょうげん.....

【^{ふところ} 懐^{いた} が^{じぶん} 痛^{かね}む^で】自分のお金がたくさん出ていく。㊥**花了自己很多钱。大出血。**

「^{ゆうじん} 友人の^{けっこんしき} 結婚式が^{つづ} 続いて、^{ふところ} 懐^{いた} が^{いた} 痛^むむ」

【^{ふところ} 懐^{さび} が^も 寂^{かね}しい^{すく}】持っているお金が少なくて、^{こころぼそ} 心^{ぼそ} 細^いい。㊥**手头的钱少。紧巴**

巴。「^{きゅうりょう} 給料^{ひま} 日前^{ふところ} で、^{さむ} 懐^{さむ} が^{さび} 寂^{しい}い」 似た表現 ^{ふところ} 懐^{さむ} が^{さむ} 寒^いい

【^{ふところ} 懐^{ふか} が^{ちが} 深^{かんが}い^{はんたい}】違^{ちが}う^{かんが} 考^{はんたい} え^{たち} や^ば 反^う 対^い の^い 立^{こころ} 場^{ひろ} も^も 受^も け^も 入^も れ^も る、^{こころ} 心^{ひろ} の^も 広^も さ^も を^も 持^も っ^も て^も い^も る。

㊥**度量大。宽宏大量。**「^{たいりつこう} 対^ほ 立^い 候^き 補^き の^き 意^き 見^き も^き 聞^き いて、^{ふところ} 懐^{ふか} の^{ふか} 深^いい^{ところ} と^{ところ} こ^{ところ} ろ

を^み 見^み せ^み た^み」

【^{ふところ} 懐^{じぶん} に^{じぶん} する^{じぶん}】自^{じぶん} 分^{じぶん} の^{じぶん} も^{じぶん} の^{じぶん} に^{じぶん} す^{じぶん} る。㊥**带在怀里。腰里带上。**「^{けんしょう} 懸^あ 賞^あ に^あ 当^あ た^あ っ^あ て、

^{まんえん} 100万^{ふところ} 円^{ふところ} を^{ふところ} 懐^に に^{した} した^{した}」

【^{ふところ} 懐^こ を^こ 肥^{ふせい} や^{ほうほう} す^{りえき}】不^{りえき} 正^え な^え 方^え 法^え で^え 利^え 益^え を^え 得^え る。㊥**中饱私囊。**「^{こうきょう} 公^{じぎょう} 共^は 事^は 業^は の^は 発^は 注^は」

で^{わいろ} 賄^と 賂^と を^と 取^と っ^と て、^{ふところ} 懐^こ を^こ 肥^し や^{ふく} した^こ」 似た表現 ^し 私^{ふく} 腹^こ を^こ 肥^こ や^こ す

ふ 6-60

ふところで㊥ 【**懐手**】《名》① ^{りょうて} 両^{わふく} 手^{ふところ} を^{なか} 和^い 服^い の^い 懐^い の^い 中^い に^い 入^い れ^い て^い る^い こと。

㊥**两手揣在怀里。**「^{わふく} 和^{ろうじん} 服^{さむ} の^{ふところ} 老^{ある} 人^{ある} が、^{ふところ} 寒^{ある} そ^{ある} う^{ある} に^{ある} 懐^{ある} 手^{ある} を^{ある} し^{ある} て^{ある} 歩^{ある} いて^{ある} いる」② ^{たにん} 他^{たにん} 人^{たにん}

に^{まか} 任^{まか} せ^{まか} て^{まか} 自^{まか} 分^{まか} は^{まか} 何^{まか} も^{まか} し^{まか} ない^{まか} こと。㊥**袖手旁观。**「^{おおそうじ} 大^{いそが} 掃^{いそが} 除^{いそが} で^{いそが} み^{いそが} な^{いそが} 忙^{いそが} し^{いそが} そ^{いそが} う^{いそが} に^{いそが} 働^{はたら}

いて^み いる^み の^み に、^{しよちょう} 所^{ふところ} 長^{ふところ} は^み 懐^み 手^み を^み し^み て^み 見^み て^み いる^み」

ふ 6-61

ふとっばら④⑤ 【太っ腹】《名・形動》^{こころ ひろ}心が広く、^{おどろ}すこしのことでは驚いたり、^{おこ}怒ったりしないこと。また、そのようす。㊦^{度量}度量大。^{寛宏}寛宏大量。「社長は太っ腹だから、^{しっぱいつづ}失敗^{けんきゅう ひよう}続きの研究費用を^お惜しまず^だ出してくれた」

ふ 6-62

ふとどき② 【ふとどき・不届き】《名・形動》^{どうとく ほう はん おこな}道徳や法に反した行いをすること。また、そのようす。㊦^{違反}違反道徳或法律。^不不^像像話。「^{しんかんせん}新幹線の^{じゆうせききつ}自由席切符で^ふグリーン^{しゃ}車の^{ざせき}座席に^ふすわるとは、^{ふとどき}ふとどきな^{きやく}客だ」類不^{ふてい}逞

ふ 6-63

ふと・る② 【太る】《自動五》(ふとって) ^{からだ}体に^{にく}肉や^{しぼう}脂肪がついて、^{たいじゆう}体重が増える。㊦^胖胖。^发发^胖胖。「まるまると^{ふと}太った^{あか}赤ん坊」対やせる 類肥^こえる⇒^ひ比較^{かく}

らん
欄

ふ 6-64

ふとん④ 【布団】《名》^{ふくろ}袋にした^{ぬの}布の中に、^{なか}綿や^{わた}羽毛などを^{うもう}入れて、^い寝るときに^し敷いたり、^{つか}かけたりして使うもの。㊦^被被子。^褥褥子。「ふとんを^し敷く//ふとんをたたむ」数1枚.1組^{いちまい ひとくみ}

ふ 6-65

ふなか① 【不仲】 《名・形動》 仲なかがよくないこと。また、そのようす。㊥

不睦。不和。「親友しんゆうと、お金の貸し借りかねかかりで不仲ふなかになった」 類な仲たがい.不和ふわ

ふ 6-66

ふなづみ② 【船積み】 《名・他動～する》 船ふねに荷物にもつを積むこと。㊥装船。

往船上装货。「船積みふなづが終わると、すぐ出港しゅつこうする」 対りくあ陸揚げ

ふ 6-67

ふなで③ 【船出】 《名・自動～する》 船ふねが港みなとを出発しゅつぱつすること。㊥起航。

开船。「豪華客船ごうかきやくせんは次の港つぎの香港ホンコンへ向けて船出むした」 類しゅつこう出航.出港しゅつこう

ふ 6-68

ふなのり④ 【船乗り】 《名》 航海中こうかいちゆう、船ふねの上うへで仕事しごとをする人。㊥船員。水

手。「船乗りふなのとして、7つの海ななで働うみいている」 類せんいん船員.海員かいいん

ふ 6-69

ふなびん⑤ 【船便】 《名》 荷物にもつや郵便物ゆうびんぶつを船ふねで運ぶこと。また、その荷物にもつや

郵便物ゆうびんぶつ。㊥船运。用船邮寄。「本ほんは重おもいので、船便ふなびんで送おくる」

ふ 6-70

ふなよい① 【船酔い】《名・自動～する》^{ふね の ひと ふね ゆ}船に乗った人が船の揺れのため
^{きぶん わる}に気分が悪くなること。㊦^{うみ あ}晕船。「海が荒れると、^{ふなよ}船酔いがひどくなる」

ふ 6-71

ふなれ① 【不慣れ】《名・形動》^{けいけん すく}経験が少ないので、うまくできないこと。
また、そのようす。㊦^{そうき ふな}不习惯。不熟练。「パソコンの操作に不慣れで、エラ
一ばかり^で出る」^な対慣れ

ふ 6-72

ぶなん① 【無難】《名・形動》^{とく てん}特にいい点もないが、^{けってん}めだった欠点もない
こと。また、そのようす。㊦^{めんせつしけん ふくそう めだ}说得过去。「面接試験の服装は、目立ちすぎな
^{ぶなん}い無難なものにする」

ふ 6-73

ふにあい② 【不似合い】《名・形動》^{にあ}似合わないこと。また、そのようす。
㊦^{こがら ひと おお ぼうし ふにあ}不相称。不般配。「小柄な人に、大きな帽子は不似合いだ」^{ふっ あい}類不釣り合い

ふ 6-74

ふに-おちない 【腑に落ちない】^{なつとく}納得がいかない。㊥**纳闷儿。不能理解。**「98

^{てん}点のわたしの^{せいせき}成績がBで、^{てん}75点の^{くん}リン君がAとは^ふ腑に^お落ちない」参「腑」

^いは^{たん}胃・^{ちょう}胆・^{ないぞう}腸などの^{あらわ}内臓を^{ふる}表す^い古い^{かた}言い方。

ふ 6-75

ふにやふにや 《形動・～（と）副・自動～する》①^{やわ}柔らかくて、しまりのないようす。㊥**软乎乎。软绵绵。**「^う生まれたばかりの、^{こねこ}ふにやふにやな子猫」

②^{じしゆせい}自主性に^か欠けて、^{たよ}頼りないようす。㊥**缺乏自主性。靠不住的。**「ふにやふ

にやした^{しんにゆうしゃいん}新入社員には、^{しごと}だいじな^{まか}仕事は任せられない」話 参アクセント

は^{けいようどうし}形容動詞は②、^{ふくし}副詞・^{どうし}する動詞は①。

ふ 6-76

ふによい② 【不如意】《名・形動》①^{おも}思うようにならないこと。また、そ

のようす。㊥**不称心。不尽如人意。**「^{じかんぎ}時間切れで、^{ふによい}不如意な^{きじゆつ}記述の^{ていしゆつ}まま提出

した」②^{かね}お金が^{じゅうぶん}十分になくて^{かけい}家計が^{くる}苦しいこと。㊥**经济拮据。窘迫。**「^て手も

とが^{ふによい}不如意で、^{ひさいしゃ}被災者に^{きふ}寄付する^{かね}お金はない」

ふ 6-77

ふにん① 【不妊】《名》^{にんしん}妊娠しないこと。㊦不妊。不育。「子どもができないので、^{ふにん げんいん しら}不妊の原因を調べる//^{ふにんしょう}不妊症」

ふ 6-78

ふにん① 【赴任】《名・自動～する》^{にんめい}任命された^{とち}土地へ、^{はたら}働くために^で出かけること。㊦赴任。上任。「^{てんきん}転勤で、^{ふにん}パリへ赴任することになった」^{ちやくにん}類着任

ふ 6-79

ふにんじょう② 【不人情】《名・形動》^{にんじょう}人情がないこと。^{おも}思いやりの^{こころ}心がないこと。また、そのようす。㊦不近人情。无情。「^{ひと}けがをしている^み人を見捨^すてて^い行ってしまうとは、^{ふにんじょう}不人情なやつだ」^{はくじょう}類薄情

ふ 6-80

ふね① 【船・舟】《名》^の乗り物の^{いっしゆ}一種。^{ひと}人や物を^{もの}のせて^{みず}水の上を^{うへ}行く。㊦船。

^{ふね}舟。「^{ふね}船が^{みなと}港に入る//^{ふね}舟で^{かわ}川を^{くだ}下る」^{いっせき}数1隻. 1艘 ^{かんじ}注漢字で書くときは、

^{おお}大きいものは「^{ふね}船」、^{ちい}小さいものは「^{ふね}舟」。^た参他のことばの^{まえ}前につくと「^{ふな}船

^{たび}旅」「^{ふなに}船荷」「^{ふなの}船乗り」のように「^{ふな}ふな」と読み方が^よ変わる^{かた}ことが多い。

【^{ふね}舟を^{こぐ}こぐ】^{からだ}体を^{ぜんご}前後に^{いねむ}ゆらしながら、^{いねむ}居眠りをする。㊦打盹。打瞌睡。「つ

まらない^{こうえん}講演^{ふね}だったので、^{ふね}つい舟を^{こい}こいでしまった」

ふ 6-82

ふねん① 【不燃】《名》燃えないこと。㊦不易燃。耐燃。「ごみは不燃の物と

可燃の物に分けて出す//不燃住宅//不燃物」 書 対可燃

ふ 6-83

ふのう① 【不能】《名・形動》できないこと。能力のないこと。また、そ

のようす。㊦不能。没有能力。「復旧作業が終わるまで、電車の運行は不能

だ//再起不能」 書 類不可能

ふ 6-84

ふはい① 【腐敗】《名・自動～する》①物がくさること。㊦腐烂。腐坏。

「ごみが腐敗して、悪臭を出している」②精神が墮落し、不正や悪いことが

行われること。㊦墮落。腐朽。「利己的な政治家が増え、政治は腐敗した」

ふ 6-85

ふばいうんどう④ 【不买運動】《名》抗議の意思表示として、商品を買わ

ないように働きかけること。㊦拒买行动。不买运动。「欠陥車の多いメーカ

一に対して、不买運動を起こす」 書

ふ 6-86

ふはつ① 【不発】《名》①弾丸が発射されなかったり、発射されたものが爆発

しなかったりすること。㊦（子弹）射不出。（火药、炮弹等）不爆炸。「戦時中

の爆弾が、不発のまま地中に埋まっていた//不発弾」②おおぜいの人を動か

して何かをしようという運動が成功しないこと。㊦（活动）无果而终。告吹。

「社内の禁煙運動は、不発に終わった」

ふ 6-87

ふばらい② 【不払い】《名》代金を支払わないこと。㊦不付（款）。「電気代

の不払いで、電気を止められた//賃金の不払いを役所に訴える」

ふ 6-88

ふび① 【不備】《名・形動》必要な物がそろっていないこと。㊦不完備。

不齐全。「書類が不備で、ビザの申請ができなかった」 書 対完備 類ずさん

ふ 6-89

ふひょう① 【不評】《名》評判が悪いこと。㊦评价不高。声誉不好。「新

発売のケーキは不評で、なかなか売れない」 対好评 類悪評

【不評を買う】人からよくないという評価を受ける。㊦招致不好的评价。

「市長は、市民税を上げると発言して、市民の不評を買った」

ふ 6-91

ふびょうどう② 【不平等】《名・形動》^{びょうどう}平等ではないこと。また、そのよ

うす。㊦不平等。不公平。^{だんじょ ふびょうどう せいど}「男女が不平等な制度は、^{あらた}すぐに改めるべきだ」

対^{びょうどう}平等

ふ 6-92

ふびん① 【ふびん〔不憫〕】《名・形動》^{たす}かわいそうなこと。助けてあげ

たいと思わせること。また、そのようす。㊦^{さむ}怜悯。^{ふる}可怜。「寒さに震えてい

^{こねこ}る子猫がふびんで、^{ひろ}拾ってきた」 名ふびんさ 書

ふ 6-93

ぶひん③ 【部品】《名》^{きかい きぐ}機械や器具などをつくりあげている^{ひと ひと}1つ1つの部分。

^{ぶぶんひん}部分品。パーツ。㊦^{ぶひん と}零件。部件。「テレビの部品を取りかえたら、よく映る

ようになった//^{ぶ ひんこうかん}部品交換」

ふ 6-94

ぶふうりゅう② 【無風流・不風流】《名・形動》^{ふうりゅう}風流でないこと。^{しゅみ}趣味の

^{せかい あじ りかい}世界の味わいを理解しないこと。また、そのようす。㊦^{ぶふうりゅう}无趣味。不懂雅趣。

^{めづら ゆきげしき み}「珍しい雪景色もみず、テレビばかり^み見ているとは^{ぶふうりゅう ひと}無風流な人だ」 対^{ふうりゅう}風流

ふ 6-95

ふぶき① 【吹雪】《名》^{つよ かぜ}強い風で、^{ゆき と}雪が飛ぶように^{はげ}激しく降ること。㊦**暴**

风雪。「吹雪のため、^{まえ}前の^{くるま}車も^み見えない//^{かみふぶき}紙吹雪//^{はなふぶき}花吹雪」自動ふぶく 類風

せつ
雪

ふ 6-96

ふふく② 【不服】《名・形動》^{なつとく}納得できず、したがえないこと。㊦**不服**。

不満。「^{ちほう}地方に^{させん}左遷されたのが^{ふふく}不服で、^{かいしゃ}会社をやめた//^{ふふく}不服を^{とな}唱える」類不

まん ふへい
満.不平

ふ 6-97

ぶぶん① 【部分】《名》^{ぜんたい}全体を^な成り^た立たせる^{ようそ}要素。㊦**部分**。「この^{しょうせつ}小説は

^{さいしょ}最初の^{ぶぶん}部分がいいが、^{こうはん}後半は^{ぶぶん}つまらない//^{ぶぶん}部分^{かいとう}開通//^{ぶぶん}部分^{しょく}食/**偏食**」対^{ぜんたい}全体

ふ 6-98

ふぶんりつ② 【不文律】《名》①^{ぶんしょう}文章として^{めいき}明記されていない^{ほうりつ}法律。㊦**不**

成文法。「^{だいだい}代々の^{かいちょう}会長たちの^{おこな}行いを、^{ふぶんりつ}不文律として^{せいぶんりつ}ついでいく」対成文律

②^{くち}口には^だ出さないが、^{りょうかい}たがいに^あ了解し^{きそく}合っている**規則**。㊦**彼此默认的规则**。

「^{かいひ}会費は^{まえばら}前払いが^{ふぶんりつ}不文律になっている」

ふ 6-99

ふへい① 【不平】《名・形動》満足できなくて不愉快に思うこと。また、

そのようす。④不平。不滿意。「学生食堂は、まずくて高いと、学生たちは

不平を言う//不平不満」類不服.不満

ふ 6-100

ぶべつ① 【侮蔑】《名・他動～する》見下したような軽蔑的な態度をとる

こと。④軽蔑。蔑視。「教授に、君たちの力は小学生並みだと、侮蔑され

た」書類軽蔑.侮辱

ふ 7-1

ふへん① 【普遍】《名》すべてに共通であること。また、そのようす。④

普遍。一般。「人類愛は、普遍の考え方だ//普遍の真理//普遍性」△書対特殊

類一般

ふ 7-2

ふへん① 【不変】《名・形動》^か変わらないこと。また、そのようす。④不

変。「^{ふへん}不変の^{あい}愛を^{ちか}誓う//^{しつりょう}質量^{ふへん}不変の^{ほうそく}法則」書対可変

ふ 7-3

ふべん① 【不便】《名・形動》^{やく}役に^た立たないで^{てま}手間がかかること。④不便。

不方便。「^{いえ}家が^{えき}駅から^{とお}遠くて、^{つうきん}通勤に^{ふべん}不便だ」名不便さ対便利

ふ 7-4

ふへんてき① 【普遍的】《形動》^{ひろ}広く^{いっばん}一般に^{きょうつう}共通して、あてはまるようす。

④普遍性的。通用的。「^{がくしゃ}学者の^{しめい}使命は、^{ふへんてき}普遍的な^{しんり}真理の^{ついきゅう}追究にある」

ふ 7-5

ふぼ① 【父母】《名》^{ちち}父と^{はは}母。^{りょうしん}両親。④父母。双亲。「^{ひさ}久しぶりに^{ふぼ}父母に

^{てがみ}手紙を^か書いた//^{ふぼかい}父母会」

ふ 7-6

ふほう① 【訃報】《名》^{しぼう}死亡の^し知らせ。④讣告。讣闻。「^{こうこうじだい}高校時代の^{せんせい}先生の

^{ふほう}訃報が^{とど}届いた」書類悲報

ふ 7-7

ふほう① 【不法】《名・形動》^{ほう まも}法を守っていないこと。また、そのようす。

Ⓜ**非法。违法。**「^{ふほう}不法にごみ^すを捨てると^{ばつ}罰せられる//^{ふほうしんにゆう}不法侵入//^{ふほうしゅうろう}不法就労/

非法就业」^{いほう}書類**違法**

ふ 7-8

ふほんい② 【不本意】《名・形動》^{じぶん きぼう ちが}自分の希望と違って^{ふまん きも}不満な気持ち。Ⓜ

非本意。不是甘心情愿。「^{ふほんい}不本意だが、^{けつてい}決定にしたがう//^{ふほんい けつか}不本意な結果」^対

^{ほんい}本意

ふ 7-9

ふま・える③ 【踏まえる】《他動一》^{うご}①動かないように強く^{つよ}踏んで^た立つ。

Ⓜ**用力踩。踏。**「^{かぜ つよ}風の強い山頂^{さんちょう}に、^{りょうあし}しっかり両足を^ふ踏まえて^た立つ」②ある事

^{じつ かんが}実や考^{かた}え方をよりどころにする。Ⓜ**根据。立足于…。**「^{しょうひ どうこう}消費の動向を^ふ踏ま

えて、^{せいさんちょうせい}生産調整をする」

ふ 7-10

ふまじめ② 【不真面目】《形動》まじめでないようす。Ⓜ**不认真。不诚实。**

「いつも^{ちこく}遅刻する、^{がくせい}ふまじめな学生だ」^名ふまじめさ^対まじめ

ふ 7-11

ふまん② 【不満】《名・形動》満足できないこと。㊦**不满。不満足。**「今の

会社は、給料が安いのが不満だ//欲求不満」対満足 類不平.不服.不満足

ふ 7-12

ふみえ② 【踏み絵】《名》①江戸時代、キリスト教信者でないことを証明

するために踏ませた、マリア像やキリスト像。また、それらの像を踏ませる
こと。㊦**踩圣像。江戸时代，为证明不是天主教徒，让人用脚踏的刻有圣母玛**

利亚、耶稣像的木板（铜板）。②人の忠誠心を確かめる材料。㊦检验思想****

的手段。「部長は、改革案を踏み絵にして部下の真意をさぐる」

ふ 7-13

ふみき・る③ 【踏み切る】《自動五》(ふみきって) ①跳躍競技で、高く・

遠くに跳ぶために、足先に力を入れて踏む。㊦**弹跳。起跳。**「右足で勢い

よく踏みきって跳んだ」②思いきって、行動を起こす。㊦**毅然决然。果断行**

事。「首相は、世論の反対の中を、増税実施に踏みきった」△名踏み切り

ふ 7-14

ふみこ・む③ 【踏み込む】(ふみこんで) I 《自動五》①容易に出られな

いような場所に入りこむ。㊦**踩入。陷入。**「沼地に踏みこんで、出られなく

なった」②断りなしに、他人の家に入る。㊥**闯入。擅自进入。**「刑事は、犯人

の隠れ家に踏みこんだ」③ものごとの深いところまで考える。㊥**深思熟慮。**

「営業成績を上げるために、踏みこんだ目標を立てる」△**名**踏み込み II

《他動五》十分に踏む。㊥**用力睬。**「山道を、アクセルを強く踏みこんで走る」**名**踏み込み

ふ 7-15

ふみし・める**㊥**【踏み締める】《他動一》①力を入れて踏む。㊥**使劲睬。**

用力踏。「10年ぶりに降りたった祖国の土を踏みしめた」②踏んでかためる。

㊥**踏平。睬结实。**「庭に若木を植えて、根元をしっかりと踏みしめた」

ふ 7-16

ふみだい**㊥**【踏み台】《名》①高い所にある物を取ったり、高い所に上が

ったりするために使う台。㊥**脚凳。梯凳。**「踏み台に乗って、棚の上の箱を取

る」②目的のために、そのときだけ利用するもの。㊥(为达到某种目的的)

跳板。踏脚石。「部下を踏み台にして昇進した」**類**足がかり

ふ 7-17

ふみたお・す④ 【踏み倒す】《他動五》(ふみたおして)①足で踏んで倒す。

㊦踩倒。踏翻。「花壇のキクを、無残にも犬が踏み倒した」②借金や代金を

支払わないままにしてしまう。㊦赖账。欠账不还。「次郎は借金を踏み倒し

たまま、もどってこない」類借り倒す

ふ 7-18

ふみつ・ける④ 【踏みつける・踏み付ける】《他動一》①強く踏んで押さ

えつける。㊦踩住。踏住。「満員電車で足を踏みつけられた」②人の立場・気持

ち・能力などを傷つけるやり方をする。㊦轻视。践踏。「教師は、生徒の才能

を踏みつけて、能力をのばす機会をうばった」

ふ 7-19

ふみとどま・る⑤ 【踏みとどまる〔踏み止まる〕】《自動五》(ふみとど

まって)①足に力を入れて止まる。㊦踩住。站稳。「大関は土俵ぎわで必死

に踏みとどまった」②他の人が去った状況の中で、がんばってそのままい

る。㊦坚持到最后。留下来。「戦火がせまる町に、記者は最後まで踏みとど

まった」③やろうと思ったことを、がまんする。㊦忍住不做。打消念头。「出

資を誘われたが、危ないと思って踏みとどまった」

ふ 7-20

ふみなら・す④ 【踏みならす〔踏み均す〕】《他動五》(ふみならして)土を踏んで、平らにする。㊦踏平。踩平。「試合の前にグラウンドを踏みならす」

ふ 7-21

ふみにじ・る④ 【踏みにじる】《他動五》(ふみにじって)①足で踏みつけて、めっちゃめっちゃにする。㊦踩坏。踏毁。「犬が走り回って、花壇の花を踏みにじた」②人の名誉や気持ち、規則などを無視して傷つける。㊦蹂躪。辜負。「忠告を無視するのは、先輩の好意を踏みにじるものだ」

ふ 7-22

ふみはず・す④ 【踏み外す】《他動五》(ふみはずして)①踏む場所をまちがえる。踏みそこなう。㊦踩空。失脚。「階段を踏みはずして、下まで落ちた」②よくない行為をする。㊦走上邪路。干不正经的事。「麻薬の密輸団に入って、人の道を踏みはずした」

ふ 7-23

ふみまよ・う④ 【踏み迷う】《自動五》(ふみまよって)①道に迷う。㊦迷路。「下山の途中で日が暮れて、山道に踏み迷った」②よくないことをす

る。㊦誤入歧途。走上邪路。「悪の道に踏み迷った弟を、ようやく連れもどした」

ふ 7-24

ふみん㊦ 【不眠】《名》眠らないこと。眠れないこと。㊦不眠。失眠。「仕事
が忙しく、不眠の日が続いた//不眠不休//不眠症/失眠症」 書

ふ 7-25

ふ・む㊦ 【踏む】《他動五》(ふんで) ①足を上からおろして、下にある
ものを押さえつける。㊦踩。踏。「アクセルを踏んで坂道をのぼる」②実際に

おこな けいけん 行 う。経験する。㊦実践。经验。「吉之助は6歳で歌舞伎の初舞台を踏んだ
//場数を踏む」③ものごとを決められた順序で行う。㊦(按順序) 办理。

履行。「正式の手続きを踏んで、申しこむ」④見当をつける。㊦予測。估计。

「工期は、3か月と踏んでいる」⑤(「韻を踏む」の形で) 同じ韻を使う。

㊦押韻。「五言絶句では1句と2句、4句が韻を踏む」

ふ 7-26

ふむき① 【不向き】《名・形動》^あ合っていないこと。^{てき}適していないこと。

㊦不^こ合^{ぎら}適。不^{ひと}相^{ほいくし}称。「子ども^ふ嫌^むいの人に、保育士は不向きだ」対向^むき 類不^ふ適^{てき}当。

^ふ不^{てき}適

ふ 7-27

ふめい① 【不明】《名・形動》①はっきりわからないこと。また、そのよ

うす。㊦不^か詳^じ。不^{げんいん}明。「火事の原因は不明だ//意識不明」類不^ふ明^{めい}瞭 ②才^い能^{しき}

がないこと。^{さき}先^よを^ち読^ちむ^{から}力がないこと。㊦无^は能^{んだん}。没^あ有^{やま}判断力。「判断を誤っ

^ふ不^{めい}明をわびる」

ふ 7-28

ふめいよ② 【不名誉】《名・形動》^{めい}名^よ誉^{きず}を傷つけること。また、そのよう

す。㊦不^{れん}体^{ばい}面。丢^ふ脸。「20連敗という不名誉な記録を残した」対名^{めい}誉

ふ 7-29

ふめつ① 【不滅】《名》いつまでも、なくならないこと。㊦不^ふ滅。不^{めい}朽。

「太陽や星の光は不滅だ//不滅の名曲」類不^ふ朽^{きゆう}

ふ 7-30

ふめんぼく② 【不面目】《名・形動》^{たいめん めんぼく うしな}体面や面目を失うこと。また、その
ようす。ふめんもく。㊥丢脸。没面子。「不面目にも、^{ふめんぼく}小学生相手の^{しょうがくせいあいて}碁で^ご負け
た」^{ふめいよ}類不名誉

ふ 7-31

ふもう① 【不毛】《名・形動》①その^{とち}土地に^{さくもつ}作物が^{そだ}育たないこと。また、
そのようす。㊥不毛。不长庄稼。「不毛な^{とち}土地を開拓する」^{ひよく}対肥沃 ②^{せい}成果が
ないようす。㊥没成果。无收获。「戦争中^{せんそうちゆう}は^{ひょうげん}表現の^{じゆう}自由がなく、^{さっか}作家にと
って^{ふもう}不毛の^{じだい}時代だった」△書

ふ 7-32

ふもと③ 【麓】《名》^{やま}山の^{した}下のほう。㊥山麓。山脚下。「^{ふもと}麓まで^いバスで行っ
て、そこから^{のぼ}登りはじめる」^{いただき}対頂.頂上

ふ 7-33

ぶもん①② 【部門】《名》^{ぜんたい}全体をある^{きじゆん}基準で^わ分けた、それぞれの^{ぶぶん}部分。㊥
^え部門。部类。「^{てんらんかい}絵の^{あぶらえ}展覧会で、^{ぶもん}油絵の部門で^{にゆうしょう}入賞した//^{せいがく}コンクールの^{せいがく}声楽
部門」^{ぶもん}類^{ほうめん}方面.分野

ふ 7-34

ふもんに-ふす 【不問に付す】^{もんだい}問題はあるが、^{なに}何もなかったことにする。㊥

不予追究。置之不理。「^{ふか}部下のミス^{ふもん}を不問^ふに付す」

ふ 7-35

ふやか・す㊦ 《他動五》(ふやかして) ^{もの}かたい物を^{みず}水につけて、^{やわ}柔らかく

する。㊥泡軟。泡漲。「^{まめ}豆は^{みず}水につけて、ふやかしてから^に煮る」自動ふやける

ふ 7-36

ふや・ける㊦ 《自動一》①^{みず}水につかって、^{やわ}柔らかくふくらむ。㊥发軟。发

漲。「^{なが}長い^{じかん}時間^{はい}プールに入っていたら、^{てあし}手足がふやけた」他動ふやかす ②^{きも}気持

ちがゆるんで、だらしなくなる。㊥懒散。没志气。「^{こま}困ったときは^{おや}親が^{たす}助け

てくれるとは、ふやけた^{かんが}考えだ」

ふ 7-37

ふや・す㊦ 【殖やす】《他動五》(ふやして) ①^{ざいさん}財産を^{おお}多くする。㊥(財

産)増加。「^{ちよきん}貯金をふやして、^{こうにゆう}マンション^{そな}購入に備える」②^い生き物^{もの}が多くな

るようにする。㊥(使生物)数量増加。繁殖。「^{ほかく}捕獲を^{せいげん}制限してクジラをふ

やす」自動殖える対減らす

ふ 7-38

ふや・す② 【増やす】《他動五》(ふやして) 数・量が多くなるようにする。㊦増加。増添。「社員の数を10人増やす」 自動増える 対減らす 類増す

ふ 7-39

ふゆ② 【冬】《名》四季の1つ。秋の次に来る、1年でいちばん寒い季節。日本では12・1・2月ごろに当たる。㊦冬季。冬天。 関連春.夏.秋.—

ふ 7-40

ふゆう① 【富裕】《名・形動》財産がたくさんあって生活が豊かなこと。また、そのようす。㊦富裕。富有。「富裕な人々に高額の寄付を頼む//富裕層」 対貧困.貧苦 類裕福

ふ 7-41

ふゆかい② 【不愉快】《名・形動》いやな気持ちで楽しくないこと。おもしろくないこと。また、そのようす。㊦不愉快。不高兴。「あなたのせいで負けたと言われて、不愉快だった」 対愉快 類不快

ふ 7-42

ふゆがれ① 【冬枯れ】《名》①冬になって草木が枯れること。また、その寒々

とした景色。㊥冬天的凄凉景色。草木萧瑟。「冬枯れの山は、さびしく厳し

い」②2月ごろの、人々の購買意欲が落ちて商店に客が来ない状態。㊥冬

天的淡季。冬季淡月。「冬枯れで、店内は閑散としている」対夏枯れ

ふ 7-43

ふゆきとどき④② 【不行き届き】《名・形動》注意・世話が十分でない

こと。また、そのようす。㊥不周到。不细心。「看護が不行き届きで、病人が

不満を訴える//監督不行き届き」類不注意.手落ち

ふ 7-44

ふゆごもり③ 【冬ごもり・冬籠もり】《名・自動～する》人や動物が冬の間、

活動を止めて、家・穴・巣の中で過ごすこと。㊥冬眠。蛰伏。「クマが冬ご

もりから出てきた」

ふ 7-45

ふゆやすみ③ 【冬休み】《名》学校・会社などの、正月をはさんだ年末・

年始の休み。㊥寒假。「冬休みには家族でスキーに行く」関連一.春休み.夏休

み

ふ 7-46

ふゆやま① 【冬山】《名》①木々が枯れた、さびしい冬の山。㊦冬季的荒
 山。「枯れた冬山に、夕日が当たる」②冬に登山する山。㊦冬季登山。冬季
 登山的山。「冬山に登るには、完全な装備が必要だ」△対夏山

ふ 7-47

ふよう① 【扶養】《名・他動～する》助けて生活の面倒を見ること。㊦扶
 养。贍养。「子どもと、親を扶養する//扶養家族」書

ふ 7-48

ふよう① 【浮揚】《名・自他動～する》浮かびあがること。浮かびあがら
 せること。㊦(使) 漂浮。(使) 浮上来。「気球が浮揚する//景気を浮揚す
 る」書 類浮上

ふ 7-49

ふよう① 【不用】《名・形動》使わないこと。また、そのようす。㊦不用。
 没有用。「不用の衣類を、リサイクルに回す//不用品」対入用.入り用 類不

よう
要

ふ 7-50

ふよう① 【不要】《名・形動》いらぬこと。また、そのようす。不必要。^{ふ ひつよう}

①不需要。没有必要。「不要な装飾は省いて簡素にする」^{ふよう そうしよく はぶ かんそ} 対必要 ^{ひつよう} 類不用^{ふよう}

ふ 7-51

ぶよう① 【舞踊】《名》音楽に合わせて手足や体を動かして、感情と意思^{おんがく あ てあし からだ うご かんじよう いし}

を表現する芸能。①舞蹈。跳舞。「沖縄の舞踊は、はなやかで優雅だ//民族舞^{ひょうげん げいのう おきなわ ぶよう ゆうが 民族舞}

踊」^{よう} 類踊り舞⇒比較欄^{おど まい ひかくらん}

ふ 7-52

ふようい② 【不用意】《名・形動》①準備のないこと。また、そのようす。^{じゆんび}

①没有准备。「突然の客に、不用意であわてた」②配慮のない行動・ことば。^{とつぜん きやく ふようい はいりよ こうどう}

また、そのようす。①不慎。欠考虑。「不用意な発言で人を傷つける」^{ふようい はつげん ひと きず} 類うかつ

ふ 7-53

ふようじょう② 【不養生】《名・形動》健康に注意しないこと。また、そ^{けんこう ちゆうい}

のようす。①忽略健康。不注意保养。「夜ふかし、深酒などの不養生が病気^{よ ふかざけ ふようじょう びようき}

の原因だ//医者の不養生」^{げんいん いしゃ ふようじょう} 対養生 ^{ようじょう} 類不摂生^{ふせつせい}

ふ 7-54

ぶようじん② 【不用心】《名・形動》^{ちゅうい けいかい た}注意や警戒が足りないようす。㊥警

惕性不高。不^{まど}小心^あ。「窓^ねを開けて寝るのは、不用心^{ぶようじん}だ」対用心^{ようじん}

ふ 7-55

ふようふきゅう①・① 【不要不急】《名》^{ひつよう}必要もないし、^{いそ}急いでもないこと。

㊥不^へ急需^や。「部屋^{せま}が狭いので、不要不急^{ふようふきゅう}の物^{もの}は買^かわない」

ふ 7-56

ぶよぶよ 《形動・～(と)副・自動～する》^{やわ}柔らかくてしまりがなく、ふ

くらんでいるようす。㊥^{はたら}胖乎乎^た。软乎乎。「働かないで食^たべてばかりいたら、

ぶよぶよに^{ふと}太った」話 参アクセントは形容動詞は①、副詞・する動詞は①。

ふ 7-57

フライ① 《名》(fry) ^{にく さかな やさい}肉・魚・野菜に、^{こむぎこ たまご}小麦粉・卵・^こパン粉をつけて^{あぶら}油で

^あ揚げること。また、^あ揚げたもの。㊥油炸(食品)。「えびフライ」

ふ 7-58

ブライダル② 【ブライダル-】《接頭》(bridal) ^{けっこんしき}結婚式の。㊥^{けっこんしき}婚礼的。与

^{さんぎょう}婚礼相关的。「ブライダル産業」

ふ 7-59

フライト① 《名》 (flight) 航空機こうくうきの飛行ひこう。㊦飛行。班机。

ふ 7-60

プライド① 《名》 (pride) 誇りほこ。自尊心じそんしん。㊦自尊心。自豪感。

ふ 7-61

プライバシー② 《名》 (privacy) 個人こじんの私生活しせいかつに関するかんこと。㊦私生活。
个人的秘密。

ふ 7-62

フライパン① 《名》 (frying pan) 焼やいたり、いためたりするときつかに使う、
底そこが浅あさくて平たいらな、柄えのついた鍋なべ。㊦煎锅。平底有柄的锅。

ふ 7-63

プライベート④② 《形動》 (private) 私してき的な。㊦私人的。个人的。対パ
ブリック

ふ 7-64

フライング① 《名・自動～する》 (flying) 陸上りくじょう競ぎやう技ぎ・競ぎやう泳えいなどで合あ図ずの
前まえにスタートしてしまうこと。㊦抢跑。抢跳。

ふ 7-65

ブラインド① 《名》 (blind) 日差しや人目を避けるために、窓に取りつけたおおい。㊥百页窗。卷式遮帘。

ふ 7-66

ブラインドタッチ⑥ 《名》 (blind touch) キーボードを見ないで、文字を打つこと。㊥(不看键盘按键) 盲打。

ふ 7-67

ブラウス② 《名》 (blouse) 女性用の薄地の上着。㊥女式衬衫。罩衫。数

いちまい
1枚

ふ 7-68

プラカード③ 《名》 (placard) デモなどで行進するときに持つ、訴えた
いことを大きく書いた紙や板。㊥标语牌。

ふ 7-69

ぶらく① 【部落】《名》①農村や漁村で、民家が何軒かかたまっている所。

㊥小村落。「部落の人はみな顔見知りだ」②「被差別部落」の略。㊥“被差

別部落”的简称。被歧视部落。参②は差別語だから、使ってはいけない。

ふ 7-70

プラグ①② 《名》 (plug) 電気コードの先端につけて電気器具と電気を接続させるもの。㊦电线插头。

ふ 7-71

プラザ② 《名》 (plaza) 広場。市場。㊦公共广场。市场。「ショッピングプラザ」

ふ 7-72

ぶらさが・る② 【ぶら下がる】《自動五》(ぶらさがって) ①ぶらりと揺れるようにさがる。㊦吊垂。悬。「軒下に、ちょうちんがぶらさがっている」

②今にも手に入りそうな状態にある。㊦眼看到手。伸手可得。「目の前に部

長のポストがぶらさがっている」 △他動ぶら下げる

ふ 7-73

ふ 7-74

ブラシ① 《名》 (brush) 柄に毛を植えつけた道具。髪をととのえたり、ほこりを取ったりするときを使う。㊦刷子。「歯ブラシ」

ふ 7-75

ブラジャー② 《名》 (brassiere) 女性の下着。乳房を包み、胸の形をととのえるもの。㊦胸罩。乳罩。数1枚

ふ 7-76

プラス④① (plus) I 《名・他動～する》^た足すこと。^{くわ}加えること。㊦加。

加上。「5 プラス 3 は 8」^対マイナス II 《名》①0 より^{おお}大きい^{かず}数。^{せい}正。記号は

「+」。㊦正数。大于零的数。②^{ぶつり}物理で、^{でんきよく}電極の^{ようきよく}陽極を^{あらわ}表す。記号は「+」。

㊦阳极。电的正极。③^た足りること。黒字。㊦盈余。盈利。④^{りえき}利益。㊦有利。

有好处。△^対マイナス

ふ 7-77

プラスチック④ 《名》(plastics) ^{せきゆ}石油などから^{かがくてき}化学的に^{ごうせい}合成される^{ぶつしつ}物質。

^{ごうせいじゆし}合成樹脂。プラスチック。㊦^{ようき}塑料。合成树脂。「プラスチック容器」

ふ 7-78

フラストレーション⑤ 《名》(frustration) ^{よつきゅう}欲求^{ふまん}不満。㊦欲求不満。挫折感。

ふ 7-79

ブラスバンド④ 《名》(brass band) ^{きんかんがつき}金管楽器を^{ちゆうしん}中心とした^{がくだん}楽団。^{すいそうがくだん}吹奏楽団。

㊦铜管乐队。

ふ 7-80

ふらち①② 【ふらち〔不埒〕】 《名・形動》^{どうり}道理にはずれたり、^{ほう はん}法に反したりすること。また、その^{おこな}行い・^{ひと}人・ようす。㊥不道德。违法的行为。「遺跡から出た^{で いぶつ う}遺物を売って、^{おお}大もうけするとは^{ふらち}不埒なやつだ」^{ふつごう}類不都合

ふ 7-81

プラチナ② 《名》 (㊦platina) ^{きんぞくげん そ ひと}金属元素の1つ。^{はっきん き ぎょう}白金。記号は「Pt」。㊥白金。铂金。

ふ 7-82

ふらつく① 《自動五》 (ふらついて) ①^{あし}足もとがふらふらする。㊥摇晃。蹒跚。「^{こうねつ つづ}高熱が続いたせいで、^{ある}歩くとふらつく」^な名ふらつき ②^{きも}気持ちや^{たい}態度が^{ゆ うご}揺れ動く。㊥犹豫不决。踌躇。「^{きゅうりょう}給料のいい^{かいしゃ}会社から、^{てんしょく さそ}転職を誘われて、ふらついている」③^{もくてき}目的もなく^{ある}歩きまわる。㊥蹒跚。闲逛。「^{まいばんおそ}毎晩遅くまで、^{さか ば}盛り場をふらつく」^な類ぶらつく

比較 ふらつく・ぶらつく

2語とも目的もなく歩きまわること。

ふらつくは行き場がなくて、歩きまわるときに使う。

ぶらつくはゆとりがあって、ぶらぶら歩きまわるときに使われる。

◆家出をして、夜の街をあてもなくふらつく/知らない町をふらつく

◆ほろ酔い気分で、桜の咲く公園をぶらつく/デパートをぶらつく

ふ 7-83

ぶらつ・く① 《自動五》(ぶらついて) 目的もなく、のんびり歩きまわる。

㊤信歩而行。闲逛。「日曜日に、皇居周辺をぶらついた」 類 ぶらつく ⇒ 比較

らん
欄

ふ 7-84

ブラック② 《名》(black) ①黒い色。黒。㊤黒色。黒。「ブラックペッパー」②ミルクや砂糖を入れないコーヒー。㊤黒咖啡。③闇のこと。また、正体がわからないこと。㊤非法。难以判明面目。「ブラックマネー」

ふ 7-85

ブラックユーモア⑤ 《名》(black humor) おかしさの中に不安・不吉・残酷さ・不気味さを感じるユーモア。㊤黒色幽默。

ふ 7-86

ブラックリスト⑤ 《名》(blacklist) 注意が必要な人物の、名前や住所などを書いた名簿。㊤黒名单。

ふ 7-87

フラッシュ② 《名》 (flash) ①暗い^{くら}所^{ところ}で写真^{しゃしん}をとるときに発^{はっ}する、瞬間^{しゅんかんてき}的な強い^{つよ}光^{ひかり}。㊥ (照相^{しやうしや}时的) 闪光灯。②映画^{えいが}やテレビ^{てれび}などの瞬間^{しゅんかんてき}的な場面^{ばめん}。

また、短い^{みじか}速報^{そくほう}。㊥ (电影^{えいぎや}、电视^{ていし}等的) 瞬间^{しゅんかんてき}場面^{ばめん}。「ニュースフラッシュ」

ふ 7-88

プラットホーム⑤ 《名》 (platform) 駅^{えき}で列車^{れつしや}が止^とまり、乗^{じやうきやく}客^のが乗^おり降^りりする場所^{ばしよ}。㊥ 月台^{げつだい}。站台^{ざいたい}。

ふ 7-89

ふらふら① I 《～ (と) 副・自動～する》①頭^{あたま}や体^{からだ}が揺^ゆれるようす。また、そのように感^{かん}じるようす。㊥ 摇摇^{ゆゆ}晃^{がう}晃^{がう}。晕^{うん}晕^{うん}乎^ふ乎^ふ。踉^{りやう}跄^{かう}。「二日^{ふつ}酔^かいで頭^{あたま}がふらふらする」②考^{かんが}えや態^{たい}度^どがはつきり決^きまらず、変^かわりやすいようす。

㊥ (态度^{たいど}、想^{しんがく}法^{しやうしやく}) 摇^ゆ摆^{ばい}不^ふ定^{てい}。动^き摇^{ぎやう}。「進^{しんがく}学^{がく}か就^{しゆうしやく}職^{しやく}か決^きめられなくて、ふら

ふらしている」II 《～ (と) 副》よく考^{かんが}えずに行^{こうどう}動^{どう}してしまいうようす。㊥ 考^{かう}

虑^{りょ}不^ふ周^{しゆ}。稀^{さそ}里^り糊^こ涂^と。「誘^{さそ}われると、つい、ふらふらと飲^のみに行^いってしまいう」

ふ 7-90

ぶらぶら① 《～ (と) 副・自動～する》①すこし重^{おも}い物^{もの}が下^さがって揺^ゆれ動^{うご}く

ようす。㊥ 晃^{こう}动^{どう}。下^こ垂^す而^{こし}摇^{あし}晃^{あし}。「子^こどもが椅^{いす}子^{こし}に腰^{あし}かかて、足^{あし}をぶらぶらさ

せている」②目的もなくゆっくり歩くようす。㊤闲逛。蹒跚。「恋人と公園を

ぶらぶら散歩する」③病氣などで決まった仕事をしなかつたり、怠けたりし

て過ごすようす。㊤无所事事。游手好闲。「病後はしばらく家で、ぶらぶら

と過ごす」

ふ 7-91

ふらりと②③ 《副》特に目的もなく行動するようす。㊤无目的地。信歩。

「ふらりと立ち寄った古本屋で、掘り出し物に出合った」 類ふらっと

ふ 7-92

ぶらりと②③ 《副》①すこし重いものが下がっているようす。㊤悬垂状。

摇摇晃晃地。「乗り手のいないぶらんこが、ぶらりと下がっている」 類ぶら

んと ②目的もなく出かけたり、訪ねたりするようす。㊤无目的地。闲逛。

「出張先で、時間があるときは街をぶらりと歩く」 類ぶらっと

ふ 7-93

フラワー② 《名》(flower) 花。㊤花。花朵。「ドライフラワー」

ふ 7-94

プラン① 《名》(plan) 計画。案。㊤计划。方案。「介護プラン」 类企画

ふ 7-95

ブランク② 《名》 (blank) ①何も書かれていない部分。㊥空白。空欄。②

仕事や勉強などから遠ざかって、何もできなかった期間。㊥空闲时期。△

類空白

ふ 9-96

ぶらんこ①② 《名》 遊具の1つ。上からつった2本の綱の間に横木を渡し、

それに乗って前後に動かす遊具。㊥秋千。「子どもがぶらんこをこいでいる」

ふ 7-97

プランター②③ 《名》 (planter) 植物を育てるための長方形の容器。㊥

花盆。類植木鉢

ふ 7-98

ブランド④ 《名》 (brand) 有名なデザイナーや会社の名前やマーク。㊥品

牌。名牌。「ブランド品」類商標・銘柄

ふ 7-99

プラント④② 《名》 (plant) 工場設備・機械装置の一式。㊥成套装置。

成套设备。「プラント輸出」

ふ 8-4

フリーザー② 《名》 (freezer) 冷凍装置。冷蔵庫の冷凍室。㊦冷凍机。冰箱里的冷冻室。

ふ 8-5

フリース②③ 《名》 (fleece) ポリエステルなどを原料にして、表面を柔らかく仕上げた繊維素材。軽量で保温性が高い。㊦摇粒绒。抓绒。

ふ 8-6

フリーター②③ 《名》 (和製語free+㊦Arbeiter) 定職につかずアルバイトで生計を立てている人。㊦自由职业者。打工族。「定職につけなくて、フリーターを続けている」

ふ 8-7

フリーダイヤル④ 《名》 (和製英語 free+dial) 商品の注文や問い合わせなどに使われる、受信者が通話料を払う電話サービス。㊦免费电话。「フリーダイヤルを使って商品を注文する」

ふ 8-8

フリーパス④ 《名》 (free pass) ①無料・無条件で自由に出入りができること。②(免费、无条件地)自由出入。③無料乗車券。無料入場券。
④免费车票。免费入场券。

ふ 8-9

ブリーフ② 《名》 (briefs) 体にぴったりした男性用のパンツ。③短内裤。

ふ 8-10

ふりえき② 【不利益】 《名・形動》 利益にならないこと。また、そのようす。③不利。損失。「円安だと輸入は不利益になる」 対利益 類不利.損

ふ 8-11

ふりかえ① 《名》 ①【振り替え】 あるものを他のものと取りかえること。

②【振替】 直接、お金を動かさずに、帳簿の上での移しかえによって支払うこと。③转账。「郵便振替」 △他動振り替える

④【振替】 直接、お金を動かさずに、帳簿の上での移しかえによって支払うこと。③转账。「郵便振替」 △他動振り替える

④【振替】 直接、お金を動かさずに、帳簿の上での移しかえによって支払うこと。③转账。「郵便振替」 △他動振り替える

ふ 8-12

ぶりかえ・す①③ 【ぶり返す】 《自動五》 (ぶりかえして) いいほうに向か

っていた天候や健康状態などが、もとの悪い状態にもどる。④(旧病)复

発。(好转的状况又) 回复原状。「^{なお}治りかけていた^{かぜ}風邪が^{かえ}ぶり返した//^{さむ}寒さが^{かえ}ぶり返す」

ふ 8-13

ふりかえ・る③ 【振り返る】《他動五》(ふりかえって) ① ^{あたま}頭を^{まわ}回して^{うし}後ろを見る。㊦ **回头看。向后看。**「^{なまえ}名前を^よ呼ばれたので、^{うし}後ろを^ふ振り返った」 ② ^{すぎ}過ぎた^{ひび}日々を^{おも}思い返す。㊦ **回顾。回忆过去。**「^{がくせい}学生時代を^ふ振り返ると、^{かえ}なつかしきでいっばいだ」

ふ 8-14

ふりかか・る④ 【降りかかる・降り掛かる】《自動五》(ふりかかって) ① ^ふ降ってきて、^{からだ}体にかかる。㊦ **落到身上。**「^{しょうぼうし}消防士に、^ひ火の^こ粉が^ふ降りかかる」 ② ^{とつぜん}突然、^{よくない}よくないことが^み身におよぶ。㊦ **(灾难、不幸等) 降临。**「^{りょうしん}両親と^{おとうと}弟が^{つなみ}津波で^{なが}流されるという、^{だいさいなん}大災難が^ふ降りかかった」

ふ 8-15

ふりか・ける④ 【振りかける・振り掛ける】《他動一》^{うえ}上から^{ぱらぱら}ぱらと^{まいて}まいてかける。㊦ **撒上。**「^{ラーメン}ラーメンに、^{こしょう}こしょうを^ふ振りかけて^た食べる」

ふ 8-16

ふりかざ・す④ 【振りかざす】《他動五》(振りかざして)①勢いよく、

頭の上に振り上げてかまえる。㊦抡起。在头顶上挥舞。「侵入した強盗に、

バットを振りかざして追い返した」②主義や主張を、強く押し出す。㊦宣扬

(主義、主張)。标榜。「若者たちは、自由と正義を振りかざして独裁者と闘った」

ふ 8-17

ふりがな①③ 【ふりがな・振り仮名】《名》漢字の読み方を示すために、

わきや上下に書く小さなかな。㊦注音假名。「漢字を書いて、その上にふり

がなをふる」類読み仮名.ルビ

ふ 8-18

ふりき・る③ 【振り切る】《他動五》(ふりきって)①ついているものを無理

に放す。㊦挣开。摆脱。「子どもがしがみつくのを振りきって出かける」②人

が頼むことや、ひきとめることをきっぱり断る。㊦干脆地拒绝。「一杯やろ

うという誘いを振りきって帰った」③追う人を追いつかせない。㊦甩开。拉

下。「警察の追跡を振りきって逃げた」自動振り切れる

ふ 8-19

ふりき・れる④ 【振り切れる】《自動一》はかりの針が、回りすぎて目盛り
の外へ出る。㊦（計量的指针）逸出刻度之外。「放射能が強すぎて、測定器の
針が振り切れた」 他動振り切る

ふ 8-20

ふりこ・む③ 【振り込む】《他動五》（ふりこんで）振替口座・預金口座な
どに金を払いこむ。㊦存入。「娘の銀行口座に学費を振りこむ」 名振り込み。
振り込み
振込

ふ 8-21

ふりこめさぎ⑤ 【振り込め詐欺】《名》電話や手紙などで相手をだまし、金銭
の振り込みを要求する犯罪行為。㊦转账欺诈。「『おじいちゃん、会社のお
金を電車に忘れてしまったから助けて』と言われて、急いで300万円振りこん
だら、振り込め詐欺だった」

ふ 8-22

ふりこ・める④④ 【降りこめる〔降り籠める〕】《他動一》雨や雪が降っ
て、外に出られなくする。㊦（因有雨雪等）不能出门。闷在家里。「吹雪に降り
こめられて、2日間山小屋に避難していた」

ふ 8-23

ふりしき・る④① 【降りしきる】《自動五》（ふりしきって）^{さか}盛んに^ふ降る。

㊥下个不停。雨雪霏霏。「朝^{あさ}から雪^{ゆき}が降りしきって、外^{そと}に出^でられない」

ふ 8-24

ふりしぼ・る④ 【振り絞る】《他動五》（ふりしぼって）しぼるようにし

て、出^だせるかぎりの声^{こえ}・力^{ちから}・涙^{なみだ}などを出^だす。㊥声嘶力竭。用力挤出。「力^{ちから}を

振りしぼって、道^{みち}に倒^{たお}れていた木^きをわきへのけた」

ふ 8-25

ふりそそ・ぐ④① 【降り注ぐ】《自動五》（ふりそそいで）^{にっこう}日光や^{あめ}雨など

が降りかかる。㊥洒下。「春^{はる}雨^{さめ}が木^き々^ぎの新^{しん}芽^めに降りそそぐ」

ふ 8-26

ふりだし① 【振り出し】《名》①^{てがた}手形や^{かわせ}為替を^{はっこう}発行すること。㊥开出。「小切^{こぎつ}

手^ての振り出し先^{ふだ}は、信用^{しんよう}できる会社^{かいしゃ}だ//振出人^{ふりだしにん}」他動振り出す ②ものごと

の出発点^{しゅつぱつてん}。㊥出发点。开端。「計^{けい}画^{かく}を振り出しにもどす」③^{しゅつぱつ}すごろくの出発

点^{てん}。㊥双六游戏的出发点。「さいころを振^ふって、振り出しから進^{すす}む」対上^あが

り

ふ 8-27

ふりつけ④ 【振りつけ・振り付け】《名》舞台での動き・踊りなどを、演じる人に教えること。また、教える人。㊦教给演员舞蹈动作的人。「新作のミュージカルの振り付けを担当する」 他動振り付ける

ふ 8-28

ふりはら・う④ 【振り払う】《他動五》（ふりはらって）勢いよく払いのける。㊦抖落。掸去。「涙を振り払って、新しい道を歩きはじめる」

ふ 8-29

プリペイドカード⑥ 《名》（prepaid card）代金前払いの磁気カード。払った金額分だけ電話代や切符代として使える。㊦预付卡。充值卡。

ふ 8-30

ふりほど・く④ 【振りほどく】《他動五》（ふりほどいて）結んであるものなどを、振ってとく。㊦。挣开（绳索等）。解开。「犬は、ひもを振りほどいて逃げた」。

ふ 8-31

ふりま・く③ 【振りまく〔振り撒く〕】 《他動五》（ふりまいて）あちこちにまきちらす。㊦。到处撒。到处散布。「笑顔^{えがお}を振りまく//香水^{こうすい}を振りまく」

ふ 8-32

ふりまわ・す④③ 【振り回す】《他動五》(ふりまわして)①腕や手に持った物を、ぐるぐる回す。㊦抡动。挥舞。「酔っ払いがバットを振りまわして暴れている」②むやみに使う。乱用する。みせびらかす。㊦濫用。随便使用。

「警察は権力を振りまわして、デモを規制した」③(受身の形で)人を思うままに動かす。㊦摆布。折腾。「子どもに振りまわされて、読書もできない」

ふ 8-33

ふりむ・く③ 【振り向く】(ふりむいて)Ⅰ《他動五》後ろを向く。㊦回頭。「人ごみで名前を呼ばれて、後ろを振り向いた」他動振り向ける 類振り返る Ⅱ《自動五》(否定の形で)注意を向けない。㊦(用于否定形)理睬。关注。「最近は、被災者への募金を訴えても、だれも振り向かない」

ふ 8-34

ふりよ① 【不慮】《名》予期しないこと、思いがけないこと。㊦不測。意外。「不慮の事故で半身不随になった//不慮の死」書 類不測.意外 参悪いできごとについていう。

ふ 8-35

ふりょう① 【不漁】《名》^{さかな}魚のとれる^{りょう}量が^{すく}少ないこと。㊥**捕鱼量少**。「海が

^あ荒れて不^{ふりょう}漁^{ふりょう}だった//不^{ふりょう}漁^{さかな}で魚^{ねだん}の値段^あが上がった」対大漁・豊漁

ふ 8-36

ふりょう① 【不良】《名・形動》①^{しつ}質や^{じょうたい}状態がよくないようす。㊥**不好**。

坏。「体^{たいちよう}調^{ふりょう}が不良^{きようぎかい}で、競^{けっせき}技^{ふりょうひん}会^{りようこう}は欠^{あくじ}席^{はたら}する//不良^{ふりょう}品^{ふりょう}」対良^{りようこう}好^{あくじ} ②悪^{はたら}事^{はたら}を働

くこと。また、そのよう^{ひと}な人。㊥**做坏事**。品^{ふりょう}行^{ふりょう}不^{ふりょう}端^{ふりょう} (的^{ふりょう}人^{ふりょう})。「不良^{ふりょう}少^{ふりょう}年^{ふりょう}」

類非^ひ行^{こう}

ふ 8-37

ふりよく① 【浮力】《名》^{えきたい}液体・^{きたい}気^{なか}体^{ぶつたい}の中^{たい}にある物^{ぶつたい}体^{ぶつたい}に対して、その物^{ぶつたい}体^{ぶつたい}を

^お押^あし上^{はたら}げよ^{ちから}うと働^{みず}く^う力^{ふりよく}。㊥**浮力**。「水^{みず}に浮^うくのは、浮^{ふりよく}力^{ふりよく}があるからだ」

ふ 8-38

ぶりよく① 【武力】《名》^{ぶき}武器^{つか}を使^{ぐん}った^じ軍^じ事^じ上^{ちから}の力。㊥**武力**。「武^{ぶりよく}力^{ぶりよく}で

^{りんごく}隣^{あつりよく}国^{あつりよく}に圧^{ぶりよく}力^{ぶりよく}を^{ぶりよく}か^{ぶりよく}け^{ぶりよく}る//武^{ぶりよく}力^{ぶりよく}行^{ぶりよく}使^{ぶりよく}」類軍^{ぐん}事^じ力^{じりよく}・戦^{せん}力^{りよく}・兵^{へい}力^{りよく}

ふ 8-39

フリル① 《名》(frill)^{ようふく}洋^{よう}服^{ふく}のえり・そ^{ぬの}で^{ぬの}など^{ぬの}につ^{ぬの}いて^{ぬの}いる、レ^{ぬの}ース^{ぬの}や布^{ぬの}で

^{こま}細^{ふちかざ}かく^{ふちかざ}ひだ^{ふちかざ}をと^{ふちかざ}った^{ふちかざ}縁^{ふちかざ}飾^{ふちかざ}り。㊥(服^{ふちかざ}装^{ふちかざ})**褶^{ふちかざ}边^{ふちかざ}**。饰^{ふちかざ}边^{ふちかざ}。

ふ 8-40

ふりわ・ける④ 【振り分ける】《他動一》①半分に分ける。㊦分成两份。

分开。「家事を2人の息子に振り分ける」②配分する。㊦分配。「予算を各部の

定員数に応じて振り分ける」△名振り分け

ふ 8-41

ふりん① 【不倫】《名・自動～する》道徳的ではないこと。特に、結婚し

ている人が、配偶者以外の異性と性的関係を持つこと。㊦不道徳。违背人伦。

「妻子ある准教授と研究生との不倫が発覚した」類浮気

ふ 8-42

プリンス② 《名》(prince) ①王子。皇太子。㊦王子。皇太子。対プリン

セス ②特定の組織の中の、若くて将来を期待される男子。㊦新貴。新星。

「政界のプリンス」

ふ 8-43

プリンセス② 【名】(princess) 王女。㊦公主。皇女。対プリンス

ふ 8-44

プリンター①② 《名》 (printer) ①印刷装置。印刷受信機。㊦打印机。印刷机。②写真の焼き付け機。㊦印相机。△数1台

ふ 8-45

プリント① 《名・他動～する》 (print) ①印刷すること。また、印刷したもの。㊦印刷。印刷品。数1枚. 1部 ②布に模様をかいた紙を当てて染めること。また、その染めたもの。㊦印染。印花(布)。③写真や映画のフィルムを焼きつけること。また、その焼きつけたもの。㊦用底片冲印。冲印出的相片。数1枚

ふ 8-46

ふる I ①【古】《名》(「お古」の形で)⇒お古 「学生時代は姉のお古ばかり着ていた」 II 【古-】《接頭》古い。㊦旧的。老的。「古道具//古新聞」

ふ 8-47

ふ・る① 【降る】《自動五》(ふって) 雨や雪などが、空から落ちてくる。㊦下。降下。「小雨が降る//雪が降ってきた」名降り

【降ってわいたよう】まったく思いがけないようす。㊦意想不到的。突如其来的。「降ってわいたような受賞に、飛び上がるほど喜んだ」

ふ 8-49

ふ・る① 【振る】《他動五》(ふって)①固定した部分を中心にして、また、手に持ったりして、もう一方のはしを動かす。㊦揺。揮。摆。「犬がしっぽを振る//手を振る」②手を動かして、まき散らす。㊦撒。散布。「野菜に軽く塩を振る」③割り当てる。㊦分派。分配。「司会役を、洋子に振る」④手に入っていたものや、入るはずのものを捨てる。㊦失去。丢掉。「汚職がばれて、大臣の椅子を振った//人生を棒に振る」⑤わきに小さくそえる。㊦注上(读音等)。「漢字にルビを振る」⑥それを嫌って相手にしないようにする。

㊦拒绝。谢绝。「しつこい店員を振って、店を出た」 話 △名振り

ふ 8-50

フル① 《名・形動》(full)①限度いっぱいであること。また、そのようす。㊦充分。最大限度。「フルスピード」②全部そろっていること。㊦整个。全部。「フルコース」

ふ 8-51

ぶる 【-ぶる】《接尾》(名詞、形容詞・形容動詞の語幹について、五段動詞

をつくる) いかにもそれであるかのように見せたり、行動したりする。㊤装

作…的样子。摆…架子。「偉ぶって、人を見下す//上品ぶる//大人ぶる」

ふ 8-52

ふる・い② 【古い】《形》①長い時間がたっている。㊤古。旧。老。「千年以

上前に建てられた古い寺を保存する//古いつきあい」②考え方などが、時代

後れた。㊤陈旧。落后。「女性は子どもを生むべきだというのは、古い考え

方だ//頭が古い」③以前の型や式であるようす。㊤老式。旧式。「携帯やパ

ソコンは、すぐ古くなる」△古さ 対新しい

ふ 8-53

ふるいおこ・す⑤ 【奮い起こす】《他動五》(ふるいおこして)気力・勇氣

などを引きだす。㊤振奋。激发。「勇氣をふるい起こして、セクハラを裁判所

に訴えた」

ふ 8-54

ふるいおと・す⑤ 【ふるい落とす】《他動五》(ふるいおとして) 条件や

基準きじゆんに合わないものを、取り除く。④淘汰。筛选。「就職希望者しゅうしょくきぼうしゃを、まず

筆記試験ひっきしけんでふるい落とす」

ふ 8-55

ふるいた・つ④ 【奮い立つ】《自動五》(ふるいたって) 勇気ゆうきが出て、張り

切る。④奋起。振奋。「頂上ちやうじやうを目前もくぜんに見て、登山者とざんしゃたちはふるい立った」

ふ 8-56

ふる・う① 【振るう】(ふるって) I 《自動五》力ちからがわき出てくる。勢いきおい

が盛さかんになる。④兴旺。兴盛。「成績せいせきがふるわない」II 《他動五》① 勢いきおいよ

く、大きく振り動かす。④(用力猛地)挥动。「ナイフを振るって賊ぞくを追い払おはら

った」②持っている力ちからを發揮はつきする。④充分发挥「インフルエンザが猛威もういをふ

るう//腕うでをふるって、ごちそうをつくる//熱弁ねつべんをふるう」

ふ 8-57

ふる・う① 【奮う】《他動五》(ふるって) 気力きりよくや勇気ゆうきをわき立たせる。

④振奋。鼓起(勇气)。「ふるって応募おうぼしてください//勇気ゆうきをふるう」

ふ 8-58

ブルー② (blue) I 《名》 ^{あお}青^{いろ}い色。^{あお}青。㊥藍色。藍。「ブルージーンズ」
II 《形動》ゆううつな。㊥**忧郁**。「ブルーマンデー」

ふ 8-59

ブルーカラー④ 《名》 (blue-collar) ^{こうじょう}工場などの^{せいさんげんば}生産現場で^{はたら}働く^{ろうどうしゃ}労働者。
㊥**藍領工人**。体力労働者。対ホワイトカラー

ふ 8-60

フルーツ② 《名》 (fruit) ^{くだもの}果物。㊥**水果**。「フルーツサラダ」

ふ 8-61

フルート② 《名》 (flute) ^{かんがつき}管楽器の^{いっしゆ}一種。^{きんぞくせい}金属製の^{よこぶえ}横笛。㊥**长笛**。

ふ 8-62

ふるえあがる⑤ 【震え上がる】《自動五》 (ふるえあがって) ^{さむ}寒さや^{おそ}恐ろ
しさで、^{からだ}体が^{ふる}ひどく震える。㊥**战栗**。打顫。「^の乗る^{よてい}予定だった^{ひこうき}飛行機が^お落ち
たと聞いて^き震えあがった//^{さむ}寒さに^{ふる}震えあがる」

ふ 8-63

ふる・える① 【震える】《自動一》①細かく揺れ動く。㊦顫動。抖动。「飛行

機の爆音で、窓ガラスが震える」②病氣・恐怖・寒さなどで、体がこきざ

みに動く。㊦发抖。哆嗦。「緊張して声が震える」△名震え

ふ 8-64

フルかいてん③ 【フル回転】《名・自動～する》能力の限界まで力を使う

こと。㊦全速运转。「いいアイデアはないかと頭をフル回転させる」

ふ 8-65

ふるがお① 【古顔】《名》古くからいて仲間ではよく知られている人。㊦老

手。资深人士。「古顔の先輩に、会の由来を聞く」対新顔 類古株.古手

ふ 8-66

ふるかぶ① 【古株】《名》①古くなった木の株。㊦草木的残株。「放置さ

れた古株から新芽が出てきた」②古くからいて、経験を積んだ人。㊦老手。

经验老到的人。「工場の古株に、機械の操作を教わる」俗 類古顔.古手

ふ 8-67

ふるぎ①③ 【古着】《名》着て古くなった衣類。㊦旧衣服。「古着をリサ

イクルに出す」

ふ 8-68

ふるきず② 【古傷】《名》①過去に受けた傷。㊤旧傷。老傷。「冬になると、3年前の交通事故の古傷が痛む」②過去に犯した過ちや罪。㊤過去の錯誤。過去の罪行。「非行少年の話 を聞くと、自分の古傷にふれられる気がする」

ふ 8-69

ふるく① 【古く】《名・副》昔。以前。㊤以前。昔日。「この学校の創立は、古く 18世紀にさかのぼる//古くからの友人」

ふ 8-70

ふるくさ・い④ 【古くさい・古臭い】《形》古くなって、価値がない。㊤陈旧的。陈腐的。「古くさいブローチだが、祖母の形見で手放せない//古くさい思想」
名 古くささ 類 古めかしい

ふ 8-71

フルコース③ 《名》(full course) 西洋料理で、前菜に始まり、肉料理・魚料理をへてデザートで終わる正式の料理。㊤(西餐的)盛餐。全套餐式。

ふ 8-72

プルサーマル③ 《名》 (和製英語 plutonium + thermal use) ウランにプルトニウムを加えた燃料を軽水炉 (=thermal reactor) で燃やすこと。㊤

核燃料循環使用。 ㊤日本の高速増殖炉のトラブルが続いて、和製英語ではあるが、プルサーマルが有名になり、国際的に通用するようになった。

ふ 8-73

ふるさと② 【ふるさと〔古里・故郷〕】 《名》 生まれ育った土地。㊤故郷。

老家。「ふるさとの山や川がなつかしい」 ㊤故郷

ふ 8-74

ブルジョア① 《名》 (㊤bourgeois) ①資本家階級の人。㊤资产阶级者。㊤

プロレタリア ②金持ち。㊤有钱人。财主。㊤

ふ 8-75

ふるす①② 【古巣】 《名》 ①もとの巣。古い巣。㊤旧窩。原来的窩。「春に

なると、ツバメが古巣にもどってくる」 ②前にいた所。㊤故居。旧宅。「転勤

で大阪と福岡の支社で働いた後、古巣の東京本社にもどった」

ふ 8-76

フルスピード④ 《名》 (full speed) 全速力。最高速度。④全速。最高速度。

ふ 8-77

フルタイム③④ 《名》 (full-time) ①正規の勤務時間の全部を勤務すること。常勤。④整班儿。全班儿。対パートタイム ②24時間いつでもサービスなどを行うこと。④全天营业。

ふ 8-78

ふるって④ 【奮って】《副》自分から進んで、積極的に行うようす。④积极地。主动地。「カラオケ大会にふるって、ご参加ください」

ふ 8-79

ブルドーザー③ 《名》 (bulldozer) 土を掘ったり、地面を平らにしたりする土木機械。④推土机。

ふ 8-80

プルトニウム④ 《名》 (plutonium) 人工的につくられた放射性元素の1つ。原爆の材料。記号は「Pu」④钚。

ふ 8-81

フルネーム③ 《名》 (full name) 姓と名のそろった、正式名。㊦全名。

ふ 8-82

ふる・びる③ 【古びる】《自動一》^{ふる}古い^{かん}感じになる。㊦变古旧。陈旧。「床の間に、古びた軸がかかっている」

ふ 8-83

ぶるぶる (と) ① 《副》^{さむ}寒さや^{おそ}恐ろしさで、^{からだ}体が^{ふる}こきざみに震えるようす。

㊦发抖。哆嗦。「寒い夜、ぶるぶる震えながらバスを待つ」

ふ 8-84

ふるぼ・ける④ 【古ぼける】《自動一》^{ふる}古くなって、^{いろ}色が^{うす}薄くなったり、きたなくなったりする。㊦变旧。褪色。「本棚から、古ぼけた日記帳が出てきた」

ふ 8-85

ふるほん⑤ 【古本】《名》^よ読んでいらなくなった^{ほん}本。㊦旧书。「古本を処分す

る//古本屋」^{ふるほん}対^や新本^{しんほん}類^{こしょ}古書

ふ 8-86

ふるま・う ③ 【ふるまう・振る舞う】(ふるまって) I 《自動五》人の前で、

行動する。㊤当众举动。行动。「勝手気ままにふるまう//行儀よくふるまう」

II 《他動五》人にごちそうする。客をもてなす。㊤请客。款待。「教師は、

生徒たちに手作りの料理をふるまった」 △名 振る舞い

ふ 8-87

ふるめかし・い ⑤ 【古めかしい】《形》いかにも古い感じがする。古風だ。

㊤古风的。古色古香的。「祖父の手紙は毛筆で書かれていて、文章も古めか

しい//古めかしい建物」 名 古めかしさ 類 古くさい

ふ 8-88

ふるわ・せる ① 【震わせる】《他動一》震えるようにする。震わす。㊤使

发抖。使颤着。「子どもは寒さで、全身をぶるぶる震わせている」 自動 震え

る

ふ 8-89

プレ 【プレ-】《接頭》(pre) ~の前。~以前。㊤...之前。从前。「プレ

スクール」 対 ポスト-

ふ 8-90

ふれあい② 【触れ合い】《名》^{ひと ひと ところ こうりゆう}人と人の心の交流。㊦**接触**。「市場は、観光

^{きやく とち ひと}客と土地の人のふれあいの場だ」 自動^{ふ あ}触れ合う

ふ 8-91

ぶれい①② 【無礼】《名・形動》^{しつれい}失礼なこと。㊦**无礼**。**失礼**。「最後まで話を

^き聞かないで電話を切るとは、^{ぶれい ひと}無礼な人だ//^{ぶれい はたら}無礼を働く//^{ぶれいもの}無礼者」 類^{ひれい}非礼

ふ 8-92

プレー② (play) I 《名・自動～する》^{あそ}①遊ぶこと。^{あそ}遊び。㊦**玩**。**玩耍**。

「プレーボーイ/**花花公子**。**浪蕩公子**//プレールーム」^{きょうぎ}②競技をすること。

また、その^{きょうぎ}競技。㊦**競技**。**比赛**。「ファインプレー」△プレイII《名》^{えんげき}演劇。

^{えんそう}演奏。プレイ。㊦**表演技艺**。**演奏**。

ふ 8-93

ブレーキ② 《名》 (brake) ^{くるま かいてん うご と そうち せいどうき}車の回転や動きを止める装置。**制動機**。㊦**制**

动器。**闸**。「急^{きゅう}ブレーキを踏む^ふ」

【ブレーキになる】ものごとの^{しんこう と}進行を止める^{そんざい}じやまな存在になる。㊦**成为物**

进展的障碍。「卓球^{たつきゅう}の試合^{しあい}は、痛めた^{いた}手首^{てくび}がブレーキになって^{たいはい}大敗した」

ふ 8-95

プレート① 《名》 (plate) ①板。金属板。看板。②板。金属板。牌子。「ホ
ットプレート」②野球の「塁」。③(棒球) 塁。投手板。「ホームプレート」

ふ 8-96

プレーヤー 《名》 (player) ①②競技をする人。③运动员。选手。「テニ
スプレーヤー」②②演奏者。演技者。③演员。演奏者。「ジャズプレーヤー」
③②③レコード・CD・DVD などの再生装置。④电唱机。

ふ 8-97

ブレイン② 《名》 (brain) ①頭脳。②头脑。最重要的部分。③国家・企業・
個人の相談相手として重要な問題の解決に当たる人やグループ。④顾问团。
智囊团。「首相のブレイン」

ふ 8-98

プレーン② 《名・形動》 (plain) ①飾らないようす。②朴素。素净。③味な
どをつけないようす。④平淡。「プレーンヨーグルト//プレーンオムレツ」

ふ 8-99

ふれこみ① 【ふれこみ・触れ込み】《名》^{ひと もの りてん}人・物の利点を、^{あいて}相手に^{じっさいいじょう}実際以上

に^{いんしょう}印象づけるためのことば。^{まえせんでん}前宣伝。㊥**事先宣揚。预先宣传。**「英語もパソ

コンもできるというふれこみで、^{にゅうしゃ}入社した」**他動**^ふ触れ込む

ふ 8-100

ブレザー② 《名》(blazer) スポーツやレジャーなどで着る^き背広型^{せびろがた}の上着^{うわぎ}。

ブレザーコート。㊥**(作为便服的) 西装夹克。**

ふ 9-1

プレス①② 《名・他動～する》(press) ①^お押し^{かたち}て^{もよう}形や模様をつくること、

また、その^{きかい}機械。㊥**圧。按。**「プレス^{かこう}加工」②アイロンをかけること。㊥**熨。**

燙。③^{しんぶん}新聞・^{いんさつぶつ}印刷物・^{しゅつばんぶつ}出版物。また、^{しんぶんしゃ}新聞社・^{ほうどうきかん}報道機関。㊥**印刷品。新聞界。报纸。**「プレスコード」

ふ 9-2

ブレスレット② 《名》(bracelet) ^{うでわ}腕輪。手首にはめる^{てくび}アクセサリー。㊥

手鐲。钏。

ふ 9-3

プレゼント② 《名・他動～する》(present) ^{おく}贈り物^{もの}をすること。また、^{おく}贈り

^{もの}物。㊥**礼物。赠送。**「お^{たんじょうび}誕生日のプレゼント」

ふ 9-4

プレッシャー②① 《名》 (pressure) ^{あつりよく} 圧力。 ^{とく} 特に、 ^{せいしんてき} 精神的な ^{あっぱくかん} 圧迫感。 ㊦ 圧力。

ふ 9-5

フレッシュ② 《形動》 (fresh) ^{しんせん} 新鮮なようす。 ㊦ 新鮮。 清新。「フレッシュジュース」

ふ 9-6

プレハブ① 《名》 (prefab) 「prefabricated house」の略。工場^{りやく こうじょう}で生産^{せいさん}された部品^{ぶひん}を、現場^{げんば}で組み立て^{く た}てる家の建て方^{いえ た かた}。また、その建物^{たてもの}。㊥**预制装配化**。

工厂预制。「プレハブの家^{いえ}は、1か月^{いっ げつ}で完成^{かんせい}した//プレハブ住宅^{じゅうたく}」

ふ 9-7

ふ・れる① 【振れる】《自動一》①揺れ動く。㊥**摇晃。晃动**。「放射能測定器^{ほうしゃのうそくていき}の針^{はり}が振れる」②正しい方向^{ただ ほうこう}からずれる。㊥**偏向。方向偏了**。「磁石^{じしゃく}の針^{はり}が3度^どふれている」

ふ 9-8

ふ・れる① 【触れる】 I 《自動一》①人やものがちよつと当たる。接触^{せつしょく}する。㊥**触。碰触**。「恋人^{こいびと}の髪^{かみ}にそつとふれる」 **類触る⇒比較欄** ②目・耳・心^{こころ}で感じる。㊥**(眼、耳、心)感觉。感受**。「旅先^{たびさき}では、目^めにふれるものすべて^めが珍^{めづら}しい」③あることを問題^{もんだい}として話す。㊥**言及。提到**。「講師^{こうし}の話^{はなし}は、いよいよ核心^{かくしん}にふれてきた」④規則^{きそく}などに反^{はん}する。逆^{さか}らう。㊥**触犯。冒犯**。「お金^{かね}で投票^{とうひょう}を頼^{たの}むのは法^{ほう}にふれる行為^{こうい}だ」 **△名触れ** II 《他動一》人や

ものにちょっと当てる。㊦碰。触。摸。「手をふれたら、やけどするほど熱い」

名 触れ

ふ 9-9

ぶ・れる ㊦ 《自動一》 写真^{しゃしん}を写すときにカメラが動く。㊦（照相時相机）

摆动。晃动。「車^{くるま}の窓^{まど}から撮^とった写真^{しゃしん}は、ぶれてぼやけている」 名 ぶれ

ふ 9-10

フレンチ ㊦ 《名》（French）フランス風^{ふう}。フランス料理^{りょうり}。㊦法式。法国式。
「フレンチトースト」

ふ 9-11

ブレンド ㊦ 《名・他動～する》（blend）食べ物・飲み物^{たもの}で、違^{ちが}った品^{ひん}種^{しゆ}の
物^{もの}をまぜあわせること。また、まぜあわせた物^{もの}。㊦混合。換和。「ブレンド
コーヒー」 対 ストレート

ふ 9-12

ふろ ㊦㊧ 【風呂】 《名》 体^{からだ}を洗^{あら}ったり、温^{あたた}めたりするための湯^ゆ。また、
それを沸^わかす設^{せつ}備^び。㊦洗澡。浴盆。洗澡设备。「風呂に入ると、体^{からだ}が温^{あたた}ま
る//風呂場」

ふ 9-13

プロ① 《名》「プロフェッショナル(professional)」の略。知識や技術をもち、それを職業とする人。㊥**专家。专业人士。**「サッカー部の先輩は、今はプロとして活躍している」**対**アマ.アマチュア.ノンプロ **類**くろうと.専門家

ふ 9-14

フロアー② 《名》(floor) ①床。㊥**地面。地板。**②階。㊥**层。楼面。**③会場。また、会場にいる人。㊥**会场。会场里的人。**「講師に対して、フロアーから鋭い質問が出た」

ふ 9-15

ふろうしょとく④ 【不労所得】《名》仕事をしないで得る収入。利子・配当金・家賃など。㊥**不劳而获的收入。**「家を貸して、不労所得で生活する」**対**勤労所得

ふ 9-16

ブロークン② 《形動》(broken) 発音や文法などが正確でないようす。㊥**不合语法。蹩脚。**

ふ 9-17

ブローチ② 《名》 (brooch) 衣服のえりや胸につけるアクセサリー。㊥別針。饰針。

ふ 9-18

ふろく① 【付録】 《名》 ①本文の後に付いている参考のための資料。㊥附录。 「この辞書には、地図や歴史年表などの付録が付いている」 ②雑誌などについているおまけのもの。㊥(雑誌、报纸等的) 附送品。 「幼児雑誌の12月号の付録は、かるただった」 △㊥对本誌. 本紙

ふ 9-19

ブログ① 《名》 (blog←web +log) ウェブ上のウェブページのURLとともに、覚え書きや論評などを加えて、記録しているサイトの一種。㊥博客。 「ブログで、部活の練習日記を公開する」

ふ 9-20

プログラマー④③ 《名》 (programmer) コンピューターのプログラムをつくる人。㊥程序编制员。程序员。

ふ 9-21

プログラミング④ 《名・他動～する》 (programming) コンピューターを動かすプログラムをつくること。㊥(计算机) 编程。

ふ 9-22

プログラム③ (program) I 《名》①映画・音楽・演劇などの催しで、出演

者やその内容などを書いたもの。㊦節目単。㊦数1枚・1冊 ㊦予定。計画。

㊦計画。方案。II 《名・他動～する》コンピューターが読み取れる手順・方式

を指示したもの。また、それをつくること。㊦(計算機)程序。编程序。

ふ 9-23

プロジェクト②③ 《名》(project) 計画。㊦规划。计划。

ふ 9-24

ふろしき① 【風呂敷】《名》物を包んだり、持ち歩いたりするための四角い

ぬの布。㊦包袱(皮)。用于包东西的方形布。「風呂敷に、お菓子の箱を包んで持つ

ていく//風呂敷包み」㊦数1枚

ふ 9-25

プロセス② 《名》(process) ①過程。㊦过程。②手続き。手順。㊦手続。

工序。

ふ 9-26

プロダクション③ 《名》 (production) ①生産。製作。㊥生産。製造。「マ

スプロダクション」②映画・テレビ番組などの制作をする会社。㊥制片厂。

制作公司。③芸能人・タレントなどをかかえて、興行・制作会社に派遣する

会社。㊥演出公司。「芸能プロダクション」 △プロ

ふ 9-27

ブロック② (block) I 《名》 ①市街地などの区画。㊥街区。地段。「2ブ

ロック先の銀行」②コンクリートを四角く切ったもの。コンクリートブロッ

ク。㊥混凝土块。II 《名・他動～する》 球技で、体で相手の攻撃を止めよう

とすること。㊥(球技)拦网。阻挡。「味方のかたいブロックで、相手に得点を

ゆる
許さなかった」

ふ 9-28

プロテスタント③ 《名》 (Protestant) キリスト教の1つの派。16世紀の

宗教改革で、ローマカトリック教会にプロテスト (protest=抗議) して分離

した。㊥新教。耶稣教。対カトリック

ふ 9-29

プロデューサー③ 《名》 (producer) ^{えい が}映画・^{ばんぐみ}テレビ・^{き かくりつあん}ラジオ番組の企画立案から^{こうかい}公開までを^{たんとう}担当する人。㊥ (电影的) 制片人。 (电视、广播节目等的) 制作人。

ふ 9-30

プロパンガス⑤ 《名》 (propane gas) ^{てんねん}天然ガスや^{せきゆ}石油に^{ふく}含まれる^{むしよく}無色^{むしゆう}無臭のガス。^{かていよう}家庭用の^{ねんりよう}燃料に^{つか}使われる。LPG。㊥ 丙烷气。液化石油气。

ふ 9-31

プロフィール③ 《名》 (profile) ①^{よこがお}横顔。また、その^{りんかく}輪郭。㊥ 侧面像。侧影。②^{じんぶつしょうかい}人物紹介。^{そくめん}側面からの^{じんぶつぞう}人物像。㊥ 人物简介。小传。

ふ 9-32

プロペラ①③ 《名》 (propeller) ^{はつでんき}発電機で^{かいてん}回転させて、^{ひこうき}飛行機・^{ふね}船などを^{うご}動かす^{すいしんりょく}推進力を^う生みだす^{はね}羽根。㊥ 螺旋桨。推进器。「プロペラ機」

ふ 9-33

プロポーズ③ 《名・自動～する》 (propose) ^{あいて}相手に^{けっこん}結婚して^いほしいと言うこと。㊥ 求婚。類 求婚

ふ 9-34

プロレス① 《名》「プロフェッショナルレスリング (professional wrestling) 」
の略。客を集めて見世物として行^{りやく きゃく あつ み せもの おこな}うレスリング。㊦**職業摔跤**。「父^{ちち}はテレビでプロレスを見て興奮^{み こうふん}している」

ふ 9-35

プロレタリア④ 《名》 (㊦Proletarier) 財産^{ざいさん も}を持たず、労働力^{ろうどうりょく}を資本家^{しほんか}に
売^うって生活^{せいかつ}する賃金労働者^{ちんぎんろうどうしゃ}。㊦**无产阶级**。无产者。㊧ブルジョア

ふ 9-36

フロンティア② 《名》 (frontier) ①国境^{こっきょう}地方^{ちほう}。㊦**边境**。新开拓地。②学問^{がくもん}
や知識^{ちしき}の最前線^{さいぜんせん}。㊦**(学问、知识的) 尖端**。

ふ 9-37

フロンティアスピリット⑦ 《名》 (frontier spirit) 未知^{みち}のものに挑戦^{ちょうせん}す
る冒険心^{ぼうけんしん}。開拓者精神^{かいたくしゃせいしん}。㊦**开拓者精神**。

ふ 9-38

フロント① 《名》 (front) ①正面^{しょうめん}。前面^{ぜんめん}。㊦**正面**。前面。「フロントドア」
②「フロントデスク (front desk) 」の略。ホテルなどの正面^{しょうめん}の受付^{うけつけ}。㊦
总服务台。

ふ 9-39

フロントガラス⑤ 《名》 (和製英語 front+glass) 車の前面についているガラス。㊥挡风玻璃。

ふ 9-40

ふわ① 【不和】 《名》 仲が悪いこと。㊥不和睦。关系不好。「夫は、妻と

自分の母との不和に頭を痛めている」 類不仲

ふ 9-41

ふわり② 【不渡り】 《名》 手形や小切手を持っている人が、支払期日に

お金を受け取ることができないこと。㊥(支票、票据等)拒付。空头。「会社は

取引先の不渡りのために倒産した//不渡り手形」

ふ 9-42

ふわふわ I ① 《～(と)副・自動～する》①軽い物が浮いて、ゆっくり動い

ているようす。㊥轻飘飘。「白いヤナギの種がふわふわと飛んでいる」②気持

ちが落ちつかないようす。㊥心情浮躁。「就職が決まってうれしくて、ふ

わふわした気分だ」 II ② 《名・形動》柔らかく、ふくらんでいるようす。㊥

暄腾腾。松软软。「ふわふわの羽ぶとんで寝る//ふわふわのセーター」

ふ 9-43

ふわらいどう① 【付和雷同】《名・自動～する》^{じぶん}自分でしっかりと^{かんが}考えずに、^{たにん いけん さんせい}他人の意見に賛成し、したがうこと。㊥^{じゆん}随声附和。追随他人。「^{しゃちょう}社長が^{かいがい しんしゆつ}海外に進出したいと言ったら、^{かんぶぜんいん}幹部全員が^{ふわらいどう}付和雷同した」

ふ 9-44

ふん① 【分】《名・接尾》①^{じかん}時間・^{じこく たんい}時刻の^{いっぶん}単位。1分は1時間の60分の1。㊥（^{じかん}时间的単位）分。「^{ふんきゆうけい}5分休憩する//^{じ ふん}3時15分」②^{けいど}経度・^{いど たんい}緯度の^ど単位。1度の60分の1。㊥（^{けいど}经度、^{いど}纬度的単位）分。「^{ほくい}北緯36度5分//^{とうけい}東経135度9分」

ふ 9-45

ふん① 【ふん〔糞〕】《名》^{どうぶつ}動物の^{こけい}固形の^{はいしゆつぶつ}排出物。㊥^{だいべん}大便。糞。「^{どうろ}道路に^{いぬ}犬のふんが^お落ちている」^{だいべん}類大便。くそ

ふ 9-46

ふん①① 《感》①^{どうはい}同輩・^{めした}目下の人に対して、^{ひと}軽く^{たい}返事をするとき、^{かる}発する^{へんじ}ことば。㊥（^{たい}对同輩、^{かろ}下级^{へんじ}轻微^{はつ}应答^{はつ}时^{はつ}用语）^{はつ}嗯。哦。「ふん、ふん、そうか//ふん、なるほど」②^{あいて}相手の^{はな}話した^{ふまん}ことについて、^{けいし}不^{きも}満や^{きも}軽^{きも}視^{きも}などの^{きも}気^{きも}持^{きも}ちを表す。㊥（^{あいらわ}对于^{あいらわ}对方的^{あいらわ}话^{あいらわ}表示^{あいらわ}不^{あいらわ}满^{あいらわ}或^{あいらわ}轻^{あいらわ}视）^{あいらわ}哼。哦。「ふん、それだけ？//ふん、そんなこと、ほっておけ」△^{あいらわ}俗

ふ 9-47

ぶん I ①【分】《名》①分けて割り当てられたもの。㊦分摊的部分。份儿。

「後輩が、わたしの分の掃除もやってくれた//取り分」②全体の中の一部。

㊦整体中的一部分。「収入が増えた分は貯金する」③ものごとの程度。㊦

程度。情况。様子。「だいぶよくなったから、この分では退院も近いだろう

//分相応」II【-分】《接尾》①物の成分。㊦成分。「アルコール分//栄養分」

②それに相当する仮の身分。㊦身分。资格。「兄貴分//親分」

ふ 9-48

ぶん ①【文】《名》①文字で、まとまった考えや気持ちを書き表したも

の。文章。㊦文章。文。句子。「軽妙な文を書く作家だ//報告の文を書く」

②ひとつのまとまった内容を表す、ひとつ続きのことば。「2つの文を接続詞

でつなぐ//受身の文//命令文」

ふ 9-49

ぶん 【ぶん- [打]ん-】《接頭》(動詞について)勢いよくするようすを

表すことば。㊦用于加强语气。「ぶんなぐる//ぶん投げる」

ふ 9-50

ふんいき③ 【雰囲気】《名》^{ひと ばしょ しぜん で}人や場所から自然に出てくる独特な気分。④

氛围。气氛。「なごやかな^{ふん い き}雰囲気//家庭的な^{かていてき}雰囲気」 類^{くう き}ムード.空気

ふ 9-51

ふんえん④ 【噴煙】《名》^{かざん ふん か こう}火山の噴火口から^ふ噴き出す^{けわり}煙。④^{やま}噴烟。「山の

^{ちようじよう}頂上^{くろ}に黒い^{ふんえん}噴煙^みが見える」 書

ふ 9-52

ぶんえん④ 【分煙】《名》タバコ^{がい}の害^{ふせ}を防ぐため、また^す吸^{ひと}わない^{めいわく}人の迷惑に

ならないように、タバコ^すを吸^{ばしょ}える^{じかん}場所や時間^{げんてい}を限定すること。④^{ぶんえん}分離的吸烟

区。「^{こうきよう}公共^ばの場^{しよくば}や職^{ぶんえん}場^{てつてい}での分煙を徹底する」

ふ 9-53

ふんか④ 【噴火】《名・自動～する》^{かざん}火山が^{ばくはつ}爆発して、^{ようがん}溶岩・^{かざんばい}火山灰など

を^ふ噴き出すこと。④^{かざん}噴火。「^{ふん か}火山の噴火で、^{たいりよう}大量^{かざんばい}の火山灰が^ふ降^{ふん か こう}った//噴火口」

ふ 9-54

ぶんか① 【文化】《名》①^よ世^{なか}の中^{しんぼ}が^{ひとびと}進^{せいかつ}歩^{べんり}して、人々の生活が便利になるこ

と。④^{ぶんか}文化。文明。「^{ぶんか}文化^{せいかつ}生活」②^{がくもん}学問^{げいじゆつ}や芸術^{ひと}など、人^{なが}が^{じかん}長い時間をかけて

つくりだしたもの。また、人に知恵や知識を伝えたり、感動させたりするも

の。㊦文化。「自国の文化も他国の文化も、同じように尊い//文化交流//古

代文化」 △文明

ふ 9-55

ぶんか① 【文科】《名》数学・自然科学系以外の人文科学・社会科学など

の学科。㊦文科。「人間の心理に興味があって、文科に進んだ//文科系」 対

理科

ふ 9-56

ふんがい① 【憤慨】《名・自動～する》不正や不当な扱いに対してひどく

怒ること。㊦憤慨。憤怒。「教師の差別的な扱いに憤慨して、校長に訴え

た」 類憤激.いきどおり

ふ 9-57

ぶんかい① 【分解】《名・自他動～する》①物が部分に分かれること。ま

た、分けること。㊦拆开。拆卸。「時計を分解して部品を取りかえる//空中

分解」 類解体 ②化合物が2種類以上の物質に分かれること。また、分ける

こと。㊦分解。裂化。「水を分解すると酸素と水素になる//電気分解」 対合成

ふ 9-58

ぶんかいさん④ 【文化遺産】《名》過去から現在まで歴史的に伝えられてきた、^{がくもん げいじゅつ どうとく しゅうきょう そうしやう} 学問・芸術・道徳・宗教などの総称。㊦**文化遺産**。「^{し ぜんさいがい せんそう} 自然災害や戦争から**文化遺産**を守る//ユネスコの世界**文化遺産**」

ふ 9-59

ぶんがく① 【文学】《名》①^{し そう かんじやう ひやうげん げいじゅつ} 思想や感情を、ことばによって表現した芸術的な作品。^{てき さくひん しょうせつ ずいひつ し} 小説・随筆・詩など。㊦**文学**。**文艺**。「^{ぶんがく じんせい かんが} 文学をとおして人生を考える//^{ぶんがくさくひん こてんぶんがく} 文学作品//^{ぶんげい} 古典文学」**類文芸** ②「①」について^{けんきゅう がくもん} 研究する学問。㊦**文学**。**文艺学**。「^{せんこう ぶんがく きやうみ ぶんがくにゆうもん} 専攻はドイツの文学で、ゲーテに興味がある//文学入門」
③^{がくもん しゅうきやうがく てつがく しんり がく ぶんげいがく げんごがく そうしやう} 学問で、宗教学・哲学・心理学・文芸学・言語学などの総称。㊦**文科**。
文学。「^{しぜんかがく ぶんがく ほうめん む ぶんがくぶ ぶんがくはくし} 自然科学よりも文学の方面に向いている//文学部//文学博士」

ふ 9-60

ぶんかくんしょう④ 【文化勲章】《名》^{ぶんか はってん ひと あた} 文化の発展につくした人に与えられる^{くんしょう まいねん がつみつ か ぶんか ひ じゅよ} 勲章。毎年11月3日の文化の日に授与される。㊦**文化勲章**。于**毎年11月3日**的**文化节**颁发。「^{ことし ぶんかくんしょう にほんが か てつがくしゃ けんちくか じゅ} 今年の文化勲章は、日本画家・哲学者・建築家が受^{しょう}章した」

ふ 9-61

ぶんかさい③ 【文化祭】《名》^{だいがく こうこう ちゅうがく}大学・高校・中学などで、^{がくせい せいと ちゅうしん}学生・生徒が中心
になって、^{がくしゅう}学習や^{かつどう}クラブ活動の^{せい か}成果を^{はっぴょう}発表する^{ぎょうじ}行事。^{てんじ}展示・^{こうえん}講演・^{おんがく}音楽・

^{えんげき}演劇・^{もぎてん}模擬店など^{たさい}多彩。④**文化节。文化活動节日。**「^{ぶんかさい}文化祭で^{えんげき}演劇を^{はっぴょう}発表す
る」^{がくえんさい}類 学園祭

ふ 9-62

ぶんかざい③ 【文化財】《名》①^{ぶんか}文化によって^う生みだされた、^{かち}価値のある^{もの}物。

④**文化遗产。文化财产。**「この^{はし}橋は^{ねんまえ}600年前の^{けんぞう}建造で、^{まち}町の^{ほこ}誇る^{ぶんかざい}文化財だ」②

^{ぶんかざいほごほう}文化財保護法で^{ほご}保護の^{たいしょう}対象になっているもの。④**文物。文物保护法的保护对**

象物。「^{なら}奈良・^{きょうと}京都の^{てら}寺には、^{おお}多くの^{ぶんかざい}文化財がある//^{むけいぶんかざい}無形文化財//^{じゅうようぶんか}重要文化

^{ざい}財」

ふ 9-63

ぶんかじん③ 【文化人】《名》^{ぶんかてききょうよう}文化的教養を^み身につけている^{ひと}人。④**有教养**

的人。知识分子。「^{しちょう}市長は、^{しせい}市政は^{こと}もちろんのこと、^{こてんげいのう}古典芸能にもくわしい

^{ぶんかじん}文化人だ」^{ちしきじん}類 知識人.インテリ

ふ 9-64

ぶんかだいかくめい ㊦ 【文化大革命】 1966年5月に始まり 1976年10月に

しゅうそく ちゅうかじんみんきょうわこく だいきぼ しそう せいじとうそう
終息した 中華人民共和国の大規模な思想、政治闘争。㊦文化大革命。

ふ 9-65

ふんき ㊦ 【奮起】 《名・自動～する》 勇気を出してがんばろうと思ふこと。

㊦奮起。振作。「入試に失敗した娘に、翌年の奮起を促した」

ふ 9-66

ぶんき ㊦㊧ 【分岐】 《名・自動～する》 道や鉄道が別々の方向に分かれる

こと。㊦（道路）分岔。「分岐点」

ふ 9-67

ふんきゅう ㊦ 【紛糾】 《名・自動～する》 問題が起こったり、混乱したり

して、ものごとが決まらないこと。㊦糾紛。争議。「議長の選出をめぐつ

て、会議は紛糾した」 類混乱

ふ 9-68

ぶんきょう ㊦ 【文教】 《名》 学問・教育や文化に関すること。㊦文教。文

化和教育。「文教政策//文教地区//文教予算」 書

ふ 9-69

ぶんぎょう① 【分業】《名・自動～する》^{ひと}1つの仕事を^{しごと}複数の人間が^{ふくすう}分け
てすること。④分業。分工。「車は分業^{くるま ぶんぎょう}でつくられている」 書

ふ 9-70

ぶんきよくか① 【分極化】《名・自動～する》^{せいほんたい}正反対の^{たち}立場に^わ分かれるこ
と。④極化。「経済優先^{けいざいゆうせん}の政策^{せいさく}の結果^{けっか}、富裕層^{ふゆうそう}と貧困層^{ひんこんそう}の分極化^{ぶんきよくか}が進んだ」
書

ふ 9-71

ふんぎり① 【踏ん切り】《名》^{おも}思いきって^{けっしん}決心すること。④決心。決断。「なが
つきあっている恋人^{こいびと}だが、結婚^{けっこん}する踏ん切り^ふがつかない」 類決断

ふ 9-72

ぶんけい① 【文系】《名》^{ぶんか}文科の^{けいとう}系統。また、その^{がっか}学科。④文科。「歴史が
好きだから、大学^{だいがく}は文系^{ぶんけい}へ進むつもりだ」 対理系 類文科系

ふ 9-73

ぶんけい① 【文型】《名》^{ぶん}文の^{かた}いろいろな型。④句型。「依頼^{いらい}の文型^{ぶんけい}を覚え
る//受身^{うけみ}の文型^{ぶんけい}は、動詞^{どうし}に『れる』か『られる』をつけてつくる」

ふ 9-74

ぶんげい ㊦㊧ 【文芸】《名》①ことばによって表現する芸術。詩、小説など。㊦**文艺**。「日本の文芸は、古くから中国の影響を受けてきた」類文学

㊧**学問と芸術**。㊦**文艺**。**学問与艺术**。「西欧は、14～16世紀に文芸を復興し、人間らしい生き方を取りもどした」

ふ 9-75

ぶんげいふっこう ㊥ 【文芸復興】《名》14世紀にイタリアに起こり、ヨーロッパ全体に広がった学問・芸術・文化上の革新運動。ルネッサンス。㊥**(14～16世紀欧洲的) 文艺复兴**。

ふ 9-76

ふんげき ㊦ 【憤激】《名・自動～する》激しく怒ること。㊦**激憤**。**怒火中烧**。「デモを排除する警官隊に、参加者は憤激して抗議した」書類憤慨

ふ 9-77

ぶんけん ㊦ 【文献】《名》知りたいことを知るのに役立つ記録や印刷物。

㊦**文献**。「茶道の歴史を調べるため、文献をさがす//参考文献//文献学」類

しりょう
資料

ふ 9-78

ぶんこ① 【文庫】《名》①書籍しよせきのコレクション。㊦**文库。藏书。**「学級**文庫**」

②安価あんかで簡単かんたんに持ち歩けるも小型本あるのシリーズ。㊦**丛书。袖珍本。**「岩波**文庫**//

ぶんこほん
文庫本」

ふ 9-79

ぶんご① 【文語】《名》日本にほんの古典こてんのことば。おもに、平安時代へいあんじだいのことば

を基本きほんにしている。㊦**文言。**「『竹取物語』は文語で書かれている//**文語文法**」

こうご
対口語

ふ 9-80

ぶんごう① 【文豪】《名》非常ひじょうにすぐれた文学者ぶんがくしゃ。特に、小説家とく。㊦**文**

豪。「ロシアの**文豪**トルストイの作品さくひんを愛読あいどくしている」

ふ 9-81

ふんこつさいしん① 【粉骨碎身】《名・自動～する》目的達成もくてきたつせいのために力ちからの

限り努力かぎすること。㊦**粉身碎骨。**「被災地ひさいちの復興ふっこうのために、**粉骨碎身**する」

書 似た表現み身を粉こにする

ふ 9-82

ふんさい① 【粉碎】《名・他動～する》①細かく粉のように砕くこと。④

粉碎。「製材した残りの木を粉碎する」②相手に圧倒的に勝つこと。相手を完全に負かすこと。④徹底打垮。「選挙で、ライバルを粉碎した」

ふ 9-83

ぶんさい① 【文才】《名》文章を書く才能。④文才。文学上の才能。「高校

時代から文才が認められて、18歳で新人賞を受賞した」類筆才

ふ 9-84

ぶんさん① 【分散】《名・自他動～する》①1つのものをいくつかに分ける

こと。また、いくつかに分かれること。④分散。散开。「人口集中を避けるため、都市機能を分散させる」対集中

ふ 9-85

ぶんし① 【分子】《名》①物質の化学的性質を持った、いちばん小さい粒

子。④（物理、化学）分子。「分子は原子の集合体だ//分子量//分子式」

②数学で、分数の横線の上にある数・式。割られる数。④（数学）分子。「2/5

は、分子の2を分母の5で割った値を表す」対分母 ③集団の中の一部の

ひと 人。㊤**組成部分。成員。**「^{ていあん}提案を^{しじ}支持する^{ぶんし}分子を、^{まえ}前もって^{あつ}集めておく//^{きけん}危険

^{ぶんし}分子//^{ふまんぶんし}不満分子」

ふ 9-86

ぶんし ㊤ **【文士】**《名》^{ぶんげいさくひん}文芸作品を^か書く^{ひと}人。小説家・詩人など。㊤**文士。**

文人。「^{ぶんし}文士にとって、^{いのち}ことばは命だ」 類^{さつ か}作家

ふ 9-87

ふんしつ ㊤ **【紛失】**《名・自他動～する》^{もの}物がなくなる^{こと}こと。また、^{もの}物を

なくす^{こと}こと。㊤**遺失。丢失。**「パスポートを^{ふんしつ}紛失してあわてた//^{ふんしつぶつ}紛失物」 類

^{いしつ}遺失

ふ 9-88

ふんしゃ ㊤ **【噴射】**《名・他動～する》^{えきたい}液体や^{きたい}気体を、^{ちい}小さい^{くち}口から^{つよ}強く^ふ噴

きださせる^{こと}こと。㊤**噴射。噴出。**「ロケットがガスを^{ふんしゃ}噴射して^{たいき}大気に^と飛びた

つ」 類^{ふんしゅつ}噴出

ふ 9-89

ふんしゅつ① 【噴出】《名・自他動～する》勢いきおいよく噴ふき出すこと。また、噴ふき出ること。㊥噴出。射出。「ホースから水みずが噴出ふんしゅつする//不満ふまんが噴出ふんしゅつする」
類噴射ふんしゃ

ふ 9-90

ぶんしょ① 【文書】《名》文字で書き表あらわしたものの。書類しよるい。㊥文件。文书。
「協きょうぎ議ぎの結果けつを文書ぶんしょに残のこす//機密きみつ文書ぶんしょ」
類書面しよめん

ふ 9-91

ぶんしょう① 【文章】《名》いくつかの文ぶんがつながって、全体ぜんたいとして書き手かての考かんがえ・感かんじょう情じょうを表あらわしているもの。文ぶん。㊥文章。 「洋子ようこの文ぶん章しょうは、情じょう景けいを
よく描びょう写しゃしていてわかりやすい//簡潔かんけつな文ぶん章しょう」

ふ 9-92

ぶんしょう① 【分掌】《名・他動～する》仕事しごとをわけてその一部いちぶを受け持もつこと。㊥分ぶん担たん（工こう作さく）。分ぶん掌しょう。「4月がつから職しよく務むの分ぶん掌しょうがか変わった」
書類分ぶん担たん

ふ 9-93

ぶんじょう① 【分乗】《名・自動～する》^{ひと}1つのグループが^わ分かれて^の乗り物^{もの}に乗ること。㊤分乗。分別乗坐。「10人が3台の^{にん}車^{だい}に分乗して、スキーに行く」

ふ 9-94

ぶんじょう① 【分譲】《名・他動～する》^{とち}土地・^{いえ}家・マンションなどを、^わ分けて個別に^{こべつ}売ること。㊤分譲。分譲。分譲。「不動産会社が、^ふ郊外^{どうさんがいしゃ}の^{こうがい}林^{はやし}を^{じゅう}住宅地として分譲した//分譲マンション」

ふ 9-95

ぶんしょうご① 【文章語】《名》^{ぶんしょう}文章^かを書くときに^{つか}使うことば。「黎明」^{れいめい}「^{ひょうぼう}標榜」など。㊤书面語。「この辞書で、^{じしょ}文章語^{ぶんしょうご}は^{しめ}書^{はな}で示している」^{はな}対話^しことば ^か類書きことば. ^{ぶんご}文語

ふ 9-96

ふんしょく① 【粉飾】《名・他動～する》^{じっさい}実際より^{りっぽ}立派^みに見せようと^{ひょうめん}表面^を飾ること。㊤粉飾。虚飾。「^{じじつ}事実^{ふんしょく}を粉飾して、^{きじ}おおげさな^か記事^{ふんしょく}を書く//粉飾決算」

ふ 9-97

ふんじん① 【奮迅】《名》高揚した気分こうよう きぶん いきおで勢いきおよく行動こうどうすること。㊥**猛然**

奋起。「一郎はシュートを3回も決めて、奮迅ふんじんの働はたらきをした//獅子奮迅し し ふんじん」 書

ふ 9-98

ふんじん① 【粉じん〔粉塵〕】《名》粉こなのような細こまかいちり。㊥**粉尘。尘**

埃。「空気中くう き ちゆうの粉塵ふんじんが、肺はいに悪影あくえい響きやうを及およぼす」 書

ふ 9-99

ぶんしん① 【分身】《名》1つの体ひと からだから、分わかれて生しょうじたもの。㊥**分身。**

分出来的身体。「心血しんけつを注そそいでつくった作品さくひんは、わたしの分身ぶんしんだ」

ふ 9-100

ふんすい① 【噴水】《名》公園などにある、水みずが高たかく噴ふき出でるようにした設せつ

備び。また、その水みず。㊥**噴泉。噴水池。**「公園こうえんの噴水ふんすいのそばで夕涼ゆうすずみをする」

ふ 10-1

ぶんすう③ 【分数】《名》数学で、割わる数かずa と、割わられる数かずb を b/a と表あらわ

たもの。㊥**(数学)分数。**「10パーセントを分数ぶんすうで表あらわすと $1/10$ となる」

ふ 10-2

ふん・する③ 【ふんする〔扮する〕】《自動する》演劇で、劇中のある人物の姿になる。㊤扮演（角色）。「秋の公演の演劇で、国王にふんする」

ふ 10-3

ぶんせき④ 【文責】《名》書いた文章の内容・表現についての責任。㊤

文責。「文責は編集者にある」 書

ふ 10-4

ぶんせき④ 【分析】《名・他動～する》ものごとを単純な要素に分けて整理し、その構成を調べること。㊤分析。化验。「大気の成分を分析して、汚染の

原因を調べる」 対総合

ふ 10-5

ぶんせつ④ 【文節】《名》文法で、文章を意味と発音から不自然でない程度に区切った最小単位。㊤文節。句節。词節。「文節で切ると『わたしは／8時に／家を／出ます』となる」

ふ 10-6

ふんせん① 【奮戦】《名・自動～する》^{ちから}力をふるって^{たたか}戦うこと。㊦奮戦。

奮力作戦。「選挙戦では新人候補が、ベテラン候補を相手に奮戦している」類

ふんとう かんとう
奮闘.敢闘

ふ 10-7

ふんぜん① 【憤然】《～たる連体・～と副》ひどく^{はら}腹を^た立てるようす。㊦憤

然。「自国を侮辱されて、外交官は憤然と席を立った//憤然たる表情」書

ふ 10-8

ふんぜん① 【奮然】《～たる連体・～と副》^{ゆうき}勇氣・^{きりよく}氣力をふるい^お起こすよう

す。㊦奮然。「全学生が一致団結して、奮然と学長の暴言に抗議した」書

ふ 10-9

ふんそう① 【ふん装〔扮装〕】《名・自動～する》^{ふくそう}服装・^{かみがた}髪型・^{けしょう}化粧など

によって自分以外のものになること。㊦化粧（成别人的様子）。改装。「武士

のふん装をして^{そう}仮装^{かそうぎょうれつ}行列に^{さんか}参加する」類仮装.変装

ふ 10-10

ふんそう⑩ 【紛争】《名・自動～する》ものごとがもつれて、争うこと。

④紛争。纠纷。「国連が国家間の紛争を解決する//民族紛争」類争い.トラブル.もめごと

ふ 10-11

ぶんそうおう① 【分相応】《名・形動》身分・能力・地位などに合っていること。また、そのようす。

④符合乎身分。与身分相称。「中学生には1か

月2000円くらいの小遣いが分相応だ」対分不相応

ふ 10-12

ふんぞりかえ・る⑤ 【ふんぞり返る・踏ん反り返る】《自動五》(ふんぞりかえって)

いばって上体を後ろへ反らす姿勢になる。④(傲慢地把身体)

向后仰。向后靠。「社長はふんぞり返って椅子にすわっている」類そっく

り返る

ふ 10-13

ぶんたい⑩ 【文体】《名》①文章の形式。文語体、口語体、「です・ます」

体など。④文体。「『我輩は猫である。名前はまだない』は「である」体の文体

だ//話しことばの文体」②文章に表れている、書く人の表現のしかたの特

徴。④风格。「漢語を多用した、かたい文体の文章」

ふ 10-14

ふんだく・る④ 《他動五》 (ふんだくって) ①乱暴^{らんぼう}にうばいとる。④強奪。

夺取。「バイクの男^{おとこ}が、女性^{じょせい}のバッグをふんだくって逃げた」②法外^{ほうがい}な高い

料金^{りょうきん}をとる。④詐取^{さく}钱财^や。「昨夜^{さくや}のバーでは、ビール^{ほん}2本で、1万円^{まんえん}もふんだ

くられた」 △俗

ふ 10-15

ふん-だり-けっ-たり 【踏んだり蹴ったり】 《連語》 続^{つづ}けて、不幸^{ふこう}やひどい

目^めにあうようす。④禍不^{くま}单行^{だんぎょう}。连连^{れんれん}倒霉^{たうまい}。「車^{くるま}にはねられて入院^{にゅういん}している間^{あいだ}

に空き巣^{あきす}に入^{はい}られて、まったく踏^ふんだり蹴^けったりだ」 似た表現泣^なきつ面^{つら}に蜂^{はち}

ふ 10-16

ぶんたん④ 【分担】 《名・他動～する》 仕事^{しごと}や責任^{せきにん}をいくつかに分^わけて受^うけ

持^もつこと。④分^{ぶん}担^{たん}。「発表^{はつひょうかい}会^{かい}の分^{ぶん}担^{たん}を決^きめた//会^{かい}場^{じょう}の飾^{かざ}りつけを分^{ぶん}担^{たん}する」

類分掌 . 手^て分^わけ

ふ 10-17

ぶんだん④ 【文壇】 《名》 文学^{ぶんがく}にたずさわる人^{ひと}たちの社会^{しゃかい}。④文^{ぶん}坛^{だん}。文^{ぶん}艺^ぎ

界^{かい}。「洋子^{ようこ}は新人^{しんじん}賞^{しょう}を受^{じゆ}賞^{しょう}して、文^{ぶん}坛^{だん}にデビュ^びュ^うした」

ふ 10-18

ぶんだん① 【分断】《名・他動～する》^{ひと}1つのものを断ち切^たって、別々^{べつべつ}に
すること。④分裂。分割。「崖^{がけ}がくずれて道路^{どうろ}が分断^{ぶんだん}された」 書 類 寸断^{すんだん}

ふ 10-19

ふんだんに①① 《副》あまるほど、たくさんあるようす。④大量。過多。
「新鮮^{しんせん}な材料^{ざいりょう}をふんだんに使^{つか}って、おいしい料理^{りょうり}をつくる」

ふ 10-20

ぶんつう① 【文通】《名・自動～する》手紙^{てがみ}を出^でしたり、もらったりする
こと。④书信往来。互通书信。「武漢^{ぶかん}の少女^{しょうじょ}と文通^{ぶんつう}を始^{はじ}めた//文通^{ぶんつう}がとだえ
る」 類 音信.通信^{おんしん つうしん}

ふ 10-21

ふんづ・ける④ 【踏んづける・踏ん付ける】《他動一》「踏^ふみつける」を強^{つよ}め
た言い方。④踩住。踏住。「満員電車^{まんいんでんしゃ}で足^{あし}をふんづけられて痛^{いた}かった」 話

ふ 10-22

ふんど① 【憤怒】《名》⇒憤怒 「いわれなき差別^{さべつ}に憤怒^{ふんど}する」

ふ 10-23

ふんと①① 《副・自動～する》①一瞬強^{いっしゅんつよ}いにおいがするようす。④**气味儿**

冲鼻。刺鼻。「工場^{こうじょう}廃水^{はいすい}の悪臭^{あくしゅう}が、ふんと鼻^{はな}をつく」②ちょっと怒^{おこ}った顔^{かお}を

するようす。④**生气地。**「京子^{きょうこ}はからかわれて、ふんとして出^でて行^いった」

ふ 10-24

ふんとう④ 【奮闘】《名・自動～する》力^{ちから}いっぱい戦^{たたか}うこと。④**奋斗。**

奋战。「選手^{せんしゅぜんいん}全員^{ふんとう}が奮闘^{ゆうしゅう}して優勝^{こぐんふんとう}できた//孤軍^{けんとう}奮闘^{かんとう}」類健闘.敢闘

ふ 10-25

ぶんとう④ 【文頭】《名》文章^{ぶんしょう}の初^{はじ}めの部分^{ぶぶん}。④**文章的开头部分。开篇。**

「手紙^{てがみ}の文頭^{ぶんとう}には季節^{きせつ}のことばを書^かく」対文末^{ぶんまつ}

ふ 10-26

ふんどし④ 【ふんどし〔褌〕】《名》①男性^{だんせい}が陰部^{いんぶ}を隠^{かく}すためにつける細長^{ほそなが}

い帯^{おび}。④**（男子的）兜裆布。**「祖父^{そふ}は、ふんどしで泳^{およ}ぐ」②力士^{りきし}が腰^{こし}につけ

る厚手^{あつで}の帯^{おび}。まわし。④**（相扑）兜裆布。**「ふんどしを、きつくしめる」

【褌^{ふんどし}を締^しめてかかる】気持^{きもち}ちを引^ひきしめて、緊張^{きんちよう}してもものごとにとりかか

る。④**下定决心干。**「会議^{かいぎ}が難航^{なんこう}しそうだから、褌^{ふんどし}をしめてかかる」

ふ 10-28

ぶんど・る③ 【分捕る】《他動五》(ぶんどって)①戦場で、敵の武器や領地をうばい取る。④繳获。占领。「ゲリラは、夜襲で政府軍の陣地をぶんどった」②他人のものを強引にうばい取る。④強奪。「かばんを、後ろから来た男にぶんどられた」

ふ 10-29

ぶんなぐ・る④ 【ぶん殴る】《他動五》(ぶんなぐって)「殴る」を強めた言い方。④猛揍。用力打。「妹をいじめた男の子をぶんなぐってやった」
話

ふ 10-30

ふんぬ① 【憤怒】《名》激しく怒ること。ふんど。④憤怒。「山門の仁王像には、憤怒の表情が表われている」書 類 憤激

ふ 10-31

ぶんばい④ 【分配】《名・他動～する》分けて配ること。④分配。分給。「被災地の人々に、食料と衣料品を分配する」類 配分

ふ 10-32

ふんぱつ① 【奮発】《名・自動～する》^{おも}思いきって、^{かね おお だ}お金を多く出すこと。

㊥一狼心豁出钱来。「お正月は^{しょうがつ ふんぱつ}奮発して、^{かぞく}家族でハワイへ行こう」^{きば}類気張る

ふ 10-33

ふんば・る③ 【ふんばる・踏ん張る】《自動五》(ふんばって)①^{ひら りょう}開いた両

^{あし ちから い}足に力を入れて、^{たお}倒れないようにする。㊥又开双脚使劲站住。「バスが^ゆ揺れ

ても^{たお}倒れないように、ふんばって立つ」②^ま負けないようにとがんばる。㊥**堅**

持。顶住。「^{きび たたか}厳しい戦いだったが、^{さいご}最後までふんばった」△^{ふ ば}名踏ん張り

ふ 10-34

ふんぱんもの① 【噴飯もの】《名》^た食べている^{はん}ご飯を^ふ噴きだしてしまうほ

ど、ばかばかしくておかしいこと。㊥可笑之极的事。「^{ちゅうがくせい さくぶんていど}中学生の作文程度な

のに、^{あくたがわしょう じゅしょう}芥川賞を受賞できそう、とは^{ふんぱん}噴飯ものだ」^書書

ふ 10-35

ぶんぴつ① 【文筆】《名》^{ふで と}筆を取って^{ぶんしょう か}文章を書くこと。㊥写文章。著述。

「^{かいしゃいん}会社員をやめて、^{ぶんぴつ た けっしん}文筆で立つ決心をした//^{ぶんぴつぎょう}文筆業」^書書

ふ 10-36

ぶんびつ① 【分泌】《名・他動～する》^{せいめいかつどう ひつよう ぶっしつ さいぼう}生命活動に必要な物質を細胞がつ

くりだし、^{さいぼうがい だ}細胞外に出すこと。ぶんび。㊦分泌。「^{いへき いさん ぶんびつ}胃壁から胃酸を分泌して、

^{た もの しょうか}食べた物を消化する//^{ぶんびつえき}分泌液//^{ぶんびつぶつ}分泌物」

ふ 10-37

ぶんぷ ㊦㊧ 【分布】《名・自動～する》あちこちに広がっていること。㊦

分布。「山地に分布する少数民族を調査する//方言の分布を地図に示す」

ふ 10-38

ぶんぶん (と) ㊦ 《副》飛行機や虫などが飛ぶ音を表す。また、そのよう

な音を立てるようす。㊦嗡嗡。轰轰。「ハチが花を求めて、ぶんぶん飛び回る」

ふ 10-39

ぶんぶん ㊦ 《～ (と) 副・自動～する》㊦強いにおいがするようす。㊦气

味儿扑鼻。冲鼻。「姉は着飾って、香水をぶんぶんとにおわせて出かけた」

㊦非常に腹を立てているようす。㊦怒气冲冲。气呼呼。「デートに15分遅れ

たら、京子はぶんぶん怒っていた」

ふ 10-40

ぶんべつ ㊦㊧ 【分別】《名・他動～する》ものごとのよしあしを正しく判断

すること。また、その能力。㊦辨别。判断力。「分別を働かせ、慎重に判断

して行動する//分別がつく//分別盛り/通晓事理的年齢」 ㊦無分別 ㊦類思慮

ふ 10-41

ぶんべつ① 【分別】《名・他動～する》種類ごとに分けること。㊦区分。

区别。「資料を、保存用と廃棄用に分別する//ごみの分別収集」類類別.区

わ
分け

ふ 10-42

ふんべつくさ・い⑥ 【分別くさい・分別臭い】《形》いかにも分別があり

そうなようす。㊦貌似通晓人情世故的。冠冕堂皇的。「20歳の青年が、世の中

は金次第だと分別くさく言う//分別くさい説教」

ふ 10-43

ぶんべん① 【分べん〔分娩〕】《名・他動～する》子どもを生むこと。出産。

㊦分娩。「妻の分娩に立ち会う//無痛分娩」

ふ 10-44

ぶんぼ① 【分母】《名》数学で、分数の横線の下にある数・式。割るほう

の数・式。㊦（数学）分母。「3/10の分母は10だ」対分子

ふ 10-45

ぶんぼう① 【文法】《名》ことばの使い方の規則。文章の構成法。㊦语法。

文法。「どのことばにも文法がある//文法を研究する//日本語の文法」

ふ 10-46

ぶんぼうぐ③ 【文房具】《名》ものを書くときに使うもの。紙・ノート・ペン・鉛筆・消しゴムなど。文具。㊤文具。「机の引き出しに、文房具を入れておく」

ふ 10-47

ふんまつ④ 【粉末】《名》粉。㊤粉末。「コーヒー豆をひいて、粉末にする」 書

ふ 10-48

ぶんまつ④ 【文末】《名》文章の終わりの部分。また、文の終わりの部分。㊤文章末尾部分。文末。「母の手紙の文末は、いつも『体に気をつけて』で終わる//文末の助詞は、『ね』『よ』『か』などだ//文末表現」 書 対文頭

ふ 10-49

ふんまん④ 【憤まん〔憤懣〕】《名》腹が立ってどうにもがまんできないこと。また、その気持ち。㊤憤懣。「国民の憤懣は暴動へと発展した//憤懣やるかたない」 書 類憤怒

ふ 10-50

ぶんみやく ㊦ 【文脈】《名》^{ぶんしょう なか ぶん}文章の中の文や、^{ごく}語句のつながり方や、^{かた}対応

^{かんけい}関係。㊦**文脈**。上下文的联系。「^{ぶんみやく}文脈から^{ひっしや}筆者の^{いと}意図を^{はんだん}判断する」

ふ 10-51

ぶんみん ㊦ 【文民】《名》^{しよくぎょうぐんじん}職業軍人ではない人。㊦**非军人**。一般平民。

^{けんぽう}「^{ないかくそうりだいじん}憲法は、^{こくむだいじん}内閣総理大臣や^{ぶんみん}国务大臣には文民がつくと、^{きてい}規定している」 書 対

^{ぐんじん}
軍人

ふ 10-52

ぶんみんとうせい ㊥ 【文民統制】《名》^{しよくぎょうぐんじん}職業軍人が^{しき}指揮する^{ぐんたい}軍隊は、^{せいふ}政府

^{ぶんみん}の文民の^{とうせい}統制の下に^{もと}置かれなければならないという^お近代国家の^{きんだいこつか}原則。シビリアンコントロール。㊦**文官控制**。文官統治。 書

ふ 10-53

ぶんめい ㊦ 【文明】《名》^{ちしき}知識や^{ぎじゆつ}技術が^{すす}進み、^{せいしんてき}精神的・^{ぶつしつてき}物質的な^{ぶんか}文化に^{めぐ}恵ま

^{せいかつ}れ、^{ゆた}生活が豊かになること。㊦**文明**。「^{ぶんめいかい}文明開化//^{げんだいぶんめい}現代文明//^{ぶんめいびよう}文明病」 類文

か
化

ふ 10-54

ぶんめいの-りき 【文明の利器】文明によって生みだされた便利な機械や道具。

㊥**文明的利器**。「パソコンという文明の利器も、使い方を誤ると凶器になる」

ふ 10-55

ぶんめいかいか ㊥ 【文明開化】《名》明治政府が260年の鎖国をとき、外国

の進んだ文明や制度を取り入れたこと。㊥**文明开化**。「文明開化によって日本

の近代化が始まった」

ふ 10-56

ぶんめん ㊥㊦ 【文面】《名》文章、特に、手紙の内容。㊥**字面**。（文章尤

其是书信的）内容。「文面から、洋子の悩みがひしひしと伝わってくる」

ふ 10-57

ぶんや ㊥ 【分野】《名》ものごとの全体を、ある基準で分けた1つの部分。

㊥**領域**。范围。「遺伝子工学は、まだ歴史の浅い分野だ」 ㊥**類**方面.部門

ふ 10-58

ぶんらく ① 【文楽】《名》浄瑠璃じょうるりに合わせて、人形にんぎょうを操あやつって演えんじる芝居しばい。

㊥（日本一种戏剧）文乐。「文楽の人形にんぎょうのしぐさは、人形にんぎょうであることを忘れ
るほど、生きい生きいしている」

ふ 10-59

ぶんり ② 【分離】《名・自他動～する》分かれ、離れること。分け離わすこ
と。㊥分离。分开。「水みずに油あぶらを入れても、とけずに分離ぶんりしてしまう」 類ゆうり遊離

ふ 10-60

ぶんりつ ③ 【分立】《名・自他動～する》別々べつべつに分わかれて独立どくりつすること。
また、分わけて独立どくりつさせること。㊥分立。分别设立。「三権分立さんけんぶんりつ」 書

ふ 10-61

ぶんりょう ④ 【分量】《名》重おもさ・体積たいせき・数かず・仕事しごとなど、分わけることので
きるものりょうの量。㊥分量。重量。数量。「調味料ちょうみりょうの分量ぶんりょうをはかる」 類りょうすう量.数

りょう
量

ふ 10-62

ぶんるい ⑤ 【分類】《名・他動～する》種類しゅるいによって分わけること。㊥分类。

「単語たんごを品詞別ひんしべつに分類ぶんるいする//植物しょくぶつの分類ぶんるい//分類学ぶんるいがく」 類くぶんるいべつ区分.類別

ふ 10-63

ふんれい① 【奮励】《名・自動～する》^{ゆう き}勇気をふるい^お起こしてがんばること。④^{ふんれい}勤奮。奮力。勉力。「^{ふんれい}奮励^{どりよく}努力」 書 類^{せいれい}精励

ふ 10-64

ぶんれい① 【文例】《名》^{ぶんしょう}文章の^{れい}例・^{みほん}見本。例文。④^{ぶんれい}文例。例文。「^たた^くく^{さん}さんの^{ぶんれい}文例をあげながら、^ご語の^{つか}使い方を^{かた}説明する」

ふ 10-65

ぶんれつ① 【分裂】《名・自動～する》^{ひと}1つのものが、いくつかに^わ分かれること。また、その^{じょうたい}状態。④^{ぶんれつ}分裂。裂开。「^{しゅうきょう}宗教と^{みんぞく}民族の^{ちが}違いによって、^{こっ}こ^か国家が^{ぶんれつ}分裂した」 対^{とういつ}統一・^{とうごう}統合 類^{ぶんり}分離

ふ 10-66

ふんわり③ 《～（と）副・自動～する》①^{かる}軽いものが^う浮かんだり、^{ひじょう}非常に^{うご}ゆっくり動いたりするようす。④^{かる}轻飘飘地。缓缓漂浮状。「^{そら}空に^{しろ}白い^{くも}雲がふんわりと^う浮かんでいる」②^{やわ}柔らかく、ふくらんでいるようす。④^{まつ}松软状。蓬松貌。「^ひ日に^ほ干して、ふんわりしたふとんに^ね寝る」

